

第三十二	銀行條例中改正法律案	(政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)	會 議
第三十三	貯蓄銀行條例中改正法律案	(政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)	會 議
第三十四	日本勸業銀行法中改正法律案	(政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)	會 議
第三十五	農工銀行法中改正法律案	(政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)	會 議
第三十六	北海道拓殖銀行法中改正法律案	(政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)	會 議
第三十七	日本興業銀行法中改正法律案	(政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)	會 議
第三十八	著作権法中改正法律案	(衆議院提出)	第一讀會	會 議
第三十九	麥酒稅法中改正法律案	(衆議院提出)	第一讀會	會 議
第四十	官吏更員處罰ニ關スル法律案	(衆議院提出)	第一讀會	會 議
第四十一	奈良市上水道工事費國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第四十二	山形市上水道工事費國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第四十三	福岡市上水道工事費國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第四十四	熊本市上水道工事費國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第四十五	鹿兒島市上水道工事費國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第四十六	傷病軍人國費診療ニ關スル請願		第一讀會	會 議
第四十七	廢兵救濟ニ關スル請願		第一讀會	會 議
第四十八	島根縣邑智郡日和村ニ郵便局設置ノ請願		第一讀會	會 議
第四十九	佐香郵便局ニ電信並電話事務開始ノ請願		第一讀會	會 議
第五十	帝國在郷軍人會國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第五十一	仙臺市上水道工事費國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第五十二	廣島市上水道工事費國庫補助ノ請願		第一讀會	會 議
第五十三	東京府北多摩郡調布町ニ區裁判所出張所設置ノ請願		第一讀會	會 議
第五十四	山口縣大島郡安下庄町ニ區裁判所出張所設置ノ請願		第一讀會	會 議
第五十五	軍人恩給法中扶助料改正ノ請願		第一讀會	會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

一昨十九日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正九年勅令第五十二號(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

郵便貯金法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

賠償金特別會計法案

大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算超過支外ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支外ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正八年法律第十二號中改正法律案

大正八年法律第十二號中改正法律案

公立學校職員年功加俸國庫補助法案

貨幣法中改正法律案

成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

明治二十九年法律第十三號中改正法律案

昨二十日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

大正八年法律第九號中改正法律案外一件特別委員會

委員長 男爵毛利 五郎君 副委員長 大谷 嘉兵衛君

公有林野官行造林法案特別委員會

委員長 伯爵吉 井 幸 藏君 副委員長 高橋 琢也君

帝國鐵道電力株式會社法案特別委員會

委員長 侯爵佐佐木 行 忠君 副委員長 岡野 敬次郎君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

銀行條例中改正法律案可決報告書

貯蓄銀行條例中改正法律案可決報告書

日本勸業銀行法中改正法律案可決報告書

農工銀行法中改正法律案可決報告書

北海道拓殖銀行法中改正法律案可決報告書

日本興業銀行法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正九年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

臨時軍事費豫算追加案(第一號)

大正九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

大正九年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第三號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

關稅法中改正法律案

明治四十三年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案

關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル

法律案

内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル法律案

朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル

法律案

戰時海上再保險法廢止法律案

獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案

現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

官吏吏員處罰ニ關スル法律案

麥酒稅法中改正法律案

著作權法中改正法律案

本日第八部ニ於テ決算委員島定治郎君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果中島

永元君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス

〔山脇玄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 山脇君ハ……

○山脇玄君 議事ノ進行ニ付キマシテ總理大臣ニ伺ヒタイコトガアルノデア

リマス、總理大臣ハ御出席ニナッテ居リマスカ

○議長(公爵德川家達君) 總理大臣ハ出席シテ居リマセヌ

○山脇玄君 ソレデハドウゾ御出席ヲ願ヒタウゴザイマス御出席ニナリマシ

タラ一言伺ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ニ移ルト議長ハ宣告イタシマシタ以上

ハ、如何ナル問題デアルカ存ジマセヌガ、議事日程ノ變更ニナラウト考ヘマ

ス、總理大臣ハ唯今出席セラレマセヌカラ、出席セラレマシタ後ニ願ヒタク

存ジマス

○山脇玄君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、男爵高平小五郎君請暇ノ件、此請暇ハ

病氣ニ付會期中デゴザイマス、許可ヲイタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 日程第二、請願委員長報告、請願委員長蜂須賀侯爵

〔侯爵蜂須賀正詔君 是ヨリ請願委員會ノ御報告ヲイタシマス、正副委員長

ノ選舉ヲ七月ノ七日ニイタシマシタ、又同日恆例ニ依リマシテ分科ヲ四箇ニ分チマシタ、其第一第三第四ノ分科ノ主査選舉ヲ同日行ヒマシタ、第二分科

ノ主査ノ選舉ハ七月ノ九日ニ行ヒマシタ、請願委員會總會ヲ其後二回開キマシテ、分科會ハ六回開會イタシマシタ、請願文書表報告二回請願委員會ノ特別報告一回、請願書受領件數ハ百八十四件、二百六十二通、此連署人員三万七千九百五十八名、是ヨリ審査ノ經過及び結果ヲ御報告イタシマス、請願文書表掲載件數百五件、百十五通、此中デ院議ニ付スベシト議決イタシタルガ

二十一件、二十一通、院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシマシタノガ四件四通、審査未了ニ屬シマスモノガ八十件、九十通、請願文書表ニ未ダ掲載イタシマセヌ件數ガ七十九件、ソレガ百四十七通デゴザイマス、是ハ大正九年七月二十日午後五時締切デゴザイマス、此段御報告イタシマス

○議長（公爵徳川家達君） 諸君ニ御説リイタシマス、日程第三ヨリ第七マテハ一括シテ議題トシ説明ヲ煩ハシタイト考ヘマス、御異存ゴザイマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 日程第三、大正九年度歲入歲出總豫算追加案

案特第二號、日程第六、大正九年度歲入歲出總豫算追加案第二號、臨時軍事費豫算追加案第二號、大正九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案特第三號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號、審査期限ヲ定ムルノ件、高橋大藏大臣

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕
(第二號)大正九年度歲入歲出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

（第一號）臨時軍事費豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

（特第二號）大正九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

（特第三號）大正九年度特別會計歲入歲出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

（追第一號）豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（男爵高橋是清君） 唯今議題トナリマシタル諸案ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲイタシマス、茲ニ提出イタシマシタル追加豫算第二號ニ掲ゲマシタル金額ハ歲入歲出各八百五十餘万圓デアリマシテ、其歲出追加要求額中ノ主要ナルモノハ豫備金ノ増加六百万圓、國勢院廳舍新營費四十萬圓、及ビ京都帝國大學農學部創設費八十万圓等デゴザリマス、豫備金ノ本年度豫算額ハ、第一豫備金三百萬圓、第二豫備金五百万圓、計八百万圓デアリマスルガ、年度初頭以來豫算超過、若クハ豫算外ノ支出ニ多大ヲ要シマシタノデ、現在ニ

於キマシテハ第一豫備金ノ殘額ハ百六十四万圓、第二豫備金ノ殘額ハ五十四万圓ニ過ギマセヌノデゴザイマス、然ル所、今度傳染病豫防検査諸費、獸疫費、諸拂戻金等ニ於キマシテ少ナカラザル豫算ノ不足ヲ生ズルノ虞ガゴザイマス、又國際聯盟會議ニ關シマスル事項、其他避クベカラザル支出ガアリマシテ、今日尙ホ其金額等ヲ確定シ難キ件ガゴザリマスルノデ、已ムヲ得ズ第一、第二豫備金共相當是ガ豫算ヲ要求シテ置クノ必要ヲ感ジマシタノデゴザイマス、是等ノ支出追加額ニ對シマスル財源トイタシマシテハ、稅關ニ於キマスル特許手數料ト料金改正ニ依リ收入増、ソレガ二十九万圓餘、京都帝國大學農學部創設ニ伴ヒマスル獻納金八十万圓、及ビ前年度剩餘金七百四十萬圓ヲ計上イタシタノデゴザイマス、次ハ臨時軍事費追加第二號ニ掛カリマス金額ハ三千三百餘万圓デゴザリマス、是ハ薩哈甌州占領ニ伴ヒマスル經費デゴザリマス、本年度内ニ支出ヲ要スル金額ヲ見積リマシテ要求イタシタ次第デゴザイマス、又特別會計追加第二號ハ、朝鮮總督府以下臺灣、關東、樺太等ニ於ケル追加豫算デゴザイマシテ、何レモ目下至急ニ迫マレル經費デゴザイマス、又特別會計追加第三號、是ハ今回新ニ設ケマス所ノ賠償金特別會計ノ豫算デゴザイマス、是ハ此次ノ日程即チ日程第八ノ特別會計法案ト關聯スルモノデゴザイマシテ、特別會計特設ノ必要ニ付キマシテ、右法案ニ付テ説明ヲ致ス考デアリマス、次ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關シマスル件ハ、南滿洲鐵道株式會社ノ資本増加ニ伴ヒマシテ、政府ノ持株ニ對シマスル配當割合ヲ變更スル必要ガ生ジタノデゴザイマス、尙ホ同社ノ事業發展ニ伴ヒマシテ、政府ガ元利保證ヲ致スコトヲ要スル社債募集額ヲ增加イタス必要ガアルノデゴザイマス、以上何レモ至急要求ノ必要アルモノデゴザイマスカラシテ、御審議ノ上速ニ御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、目賀田男爵

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 先日大藏大臣ハ本員ニ追加豫算ニ對スル前例ヲ教示セラレマシタ、尙ホ本員ノ疑ヲ増加イタシタルコトモゴザイマシテ、當時發言ノ順序ヲ得マセヌカラ、此追加豫算ノ提出ト共ニ、大凡追加豫算ニ對スル政府ノ方針ヲ一應伺ツテ置キタイト存ジマス、度々御煩ハシウゴザイマスガ、後日ノ例ニモナリマスカラ、今一應大藏大臣ニ於テ御説明ヲ願ヒタイノデア

リマス、現行ノ會計法第五條第二項ハ、是ハ衆議院ガ提出シテ改正ヲ求メタノデアリマス、衆議院ノ提出ニ係ルノデアリマス、現ニ大藏大臣ハ既ニ前例ヲ以テ本員ニ示サレル位デゴザイマスカラ、定メテ御存ジノコト、存ジマス、衆議院議員若クハ望月衆議院議員等ノ主唱ニ係ル、其趣意ハ濫ニ追加豫算ヲ提出スル時ニハ、財政ノ全體ヲ通ジテ年度内ノ財政計畫ヲ案シズルコトガ出来ナイ、故ニ第二項ヲ以テ制限ヲ加ヘルト云フ趣意デゴザイマス、其當時ノ立法ノ精神トシテ、政府ト提出者トノ質問應答ニ依リマスト、提出者ノ趣意ハ會計法ノ精神ハ濫ニ追加豫算ヲ提出スルモノデナイ、豫算編成ノ當初豫見スベカラザル場合、事故ヨリ生ズル場合或ハ天變地異ヨリ生ズル場合等デアル、又第一第二豫備金ヨリ支出スル性質ノ如キモノデアル、斯ウ云フ風ニ應答ニナシテ居リマス、而シテ尙ホ政府委員ト是等ト應答シテ、先づ第一第二豫備金、若クハ第二豫備金支出ノ性質ト同様デアル、何レモ其邊ニ付テ此提出ガ成立シタ譯デ政府ハ敢テ之ヲ必要ト見マセヌデアリマシタガ、別ニ害モ無イコトデアッテ、至極好イコトデアルダラウ、現行ノ當時ノ法律ノ精神ガ豫備金、若クハ第二豫備金支出ノ性質ト同様デアル、何レモ其邊ニ付テ此提出ガ成立シタ譯デ政府ハ敢テ之ヲ必要ト見マセヌデアリマシタガ、別ニ害モ無イコトデアッテ、至極好イコトデアルダラウ、現行ノ當時ノ法律ノ精神ガ其通りデアルカラ追加ハ要ラヌヤウデアルガ、追加ガアッテモ差支ナイト云フノデ、政府ハ同意ヲ致シタノデアリマス、依ツテ一應伺ツテ置キマスガ、十六議會ニ於テ衆議院ガ改正ヲ加ヘタル其精神ハ、今ニ尊重セラレテ居ルカドウカ、又政府ハ矢張リ其衆議院ノ提出ノ理由ニ同意セラレテ居ル其精神ヲ維持セラル、カ否ヤ、此二點ヲ御示シテ願ヒマス

○國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今日賀田男爵ノ御質問ノ第一ハ御同感デアリマス、追加豫算ナルモノハ濫リニ提出スベカラザルモノデアルト云フコトハ御同感デアリマス、第二ノ理由ニ至リマシテハ、唯今私ハ實ハ初メテ承ハッタノデ、其時ノ衆議院ノ提出ノ趣意ト云フモノヲ詳カニ致シマセヌケレドモ、大體唯今ソコデ御述ベニナッタ事柄ニ付テハ、差支ナイ尤ナル次第ト斯ウ考ヘテ居リマス、唯此コトハ當時ノ提出ノ理由ハ、討議ノ次第ヲ能ク玩味シテ見マセヌト云フト、一カラ十マデ總テ其當時ノ理由ニ對シテ、私ガ同意ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトハ、能ク其時ノ文書ヲ調べテ見マセヌト云フト明言ハ出來マセヌケレドモ、大體唯今御話ニナッタヤウナ趣意デアレバ、至極矢張リ同感デアリマス、是ダケ御答ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 山脇玄君

○山脇玄君 總理大臣ハ御出席ニナツテ居ラレマスカ
○議長(公爵徳川家達君) 總理大臣ハ出席シテ居ラレマス

〔山脇玄君演壇ニ登ル〕

實ハ我慢ニ我慢ヲシテ今日マデ耐ヘテ居リマシタガ、ツイ勘忍袋ノ緒ガ切レ
マシタカラ、ドウシテモ今日ハ出テ總理大臣ノ御趣意ヲ伺ハネバ居ラレナク
ナツタノデアリマス、申スマデモアリマセヌ、今期ノ議會ハ解散後ノ臨時議
會デアリマシテ、會期モ短ク、黒鐵ノ鎔ケルバカリノ炎暑デアル、行政廳ノ
休暇ヲシテ居ル際ニ、議案ノ提出ハ雨後ノ筈ノ如クニ出ルハ出ルハ、實ニド
ウモ非常ナモノデアル、私ハ隨分長ク當院ノ末席ヲ汚シテ居リマスガ、是程
澤山ノ議案ノ出タコトハ通常議會ニモ未ダ曾テ見ナイ所デアリマス、ドウシ
テモ私ハ總理大臣ガ斯クモ追加豫算、增稅議案、電氣法案、其他重要ナル多
クノ議案ヲ此際ニ御提出ニナルト云フコトニ付テハ、何カ其間ニ御趣意ガナ
クテハナラスト信ズルノデアリマス、或ハ現内閣ハ國民多數ノ援助ヲ有スル
内閣デアル、絕對多數ヲ有シテ居ル内閣デアル、國民多數ノ意思ニ依ッテ成ル
議案デアリマスカラ、貴族院ハ之ニ對シテ彼是レ異議ヲ言フベキモノニ非ズ、
露骨ニ申セバ、盲從スベキモノデアル、現ニ衆議院ハ宜イ、衆議院ハマルデ
鵜呑ミニシテ本院へ此重大ナ議案ヲ廻シテ來ルノデアリマス、ドウシテモ我
々ノ見ル所デハ總理大臣ハ斯カル御趣意デ提案ナサレタト推斷スルホカ途ガ
無イノデアリマス、成ルホド此御趣意デアリマスナラバ、一應ハ理由ガアル
ト私モ考ヘルノデアリマス、國民多數ノ意思デアツテ見レバ、ソレニ反抗スル
コトハ出來ナイ、ドウシテモソレニ服從セネバナラヌ、今日ノ議會制度ハ不
十分ナガラ左様ニ組織サレテ居ルノデアル、茲ニ困リマシタコトハ、我國ニ
ハマダ兩院制度ト云フモノガ置カレテアル、衆議院一院制度デナイ、衆議院
ト政府トノ間ニ貴族院ト云フ保守的ノ機關ガ設ケラレテ、ソレデ兩者ノ極端
ニ走ルノヲ防グ形式デアル、私ハ別ニ兩院制度ヲ固守スル論者デアリマセヌ、
今日ハ文明諸國ニ於テモ一院制度ヲ主張スル者ガアツテ、私共モ場合ニ依ッテ
ハ改正シタイ論者デハアルケレドモ、今日兩院制度ガアル以上ハ貴族院ヲ無
視スル譯ニハ行キマセヌ、極ク簡單デアリマス私ノ疑ハ其處ニアル、御承知
アリマス通り、今ヨリ十二三年前ニ斯ウ云フヤウナ貴族院ヲ盲從セシメムト

セシ場合ガ英國ニモアリマシタ、今ノ總理大臣ガ養老年金ヲ實施スル爲ニ、
増稅案ヲ再三提出セラレタルモ貴族院ハソレニ盲從服從シナカツタ、ソコデ
止ムヲ得ズ貴族院ノ權限ヲ制限スル法律ヲ通過サセタ例ガアリマス、一國ノ
政治家カラ申セバ、兩院制度ハ不自由極ル制度デアルカモ知レナイ、文明諸
國ニ於テハ今ヤ一院制度ヲ主張スル論者ガナカナカ多クナリ、私モ亦強チ之
ヲ排斥スルモノデナイ、又民本主義ヲ貫徹スル上カラ考ヘテモ、一院制度モ
別ニ惡イコトハナカラウト思フケレドモ、兩院制度ヲ此儘ニシテ置キナガラ、
貴族院ヲ無視スルヤウナ取扱ヒヲスルト云フコトハ決シテ許スベキコトデナ
イ、果シテ斯カル趣意デアルヤ否ヤ、一應承ハラナケレバナラナクナツタノデ
アル、私ハ感冒デ臥セツテ居リマシタガ、ドウシテモ出テ來ル議案ノ數ヲ見
テ、ジットシテ居ラレマセヌ、今日ハ病ヲ押シテ出マシタノデ、ドウカ總理
大臣ニ承ハリタイノデアリマス、御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 山脇君ノ御質問ニ御答ヲ致シ、且ツ序ナガラ所見ヲ述
ベテ置キタイノデ、今回ノ議會ニ數多ノ議案ヲ提出シタト云フコトハ、無論
貴族院ヲ無視シタ譯デナイノデアリマス、元來議會ノ設ケラレマシタ當初ヨ
リ、今日ニ到ルマデノ經過ヲ考ヘテ見マスルノニ、二十七八年三十年頃マデ
ノ豫算ハ御承知ノ通リ僅ニ八千万圓位ナ歲入デアリマシタ、其間ニモ中々議
論ヲ費シタノデアリマスガ、如何セム當時ノ財政ハ僅カ八千万圓位ナモノデ
アリマシタ、ソレガ段々國力ノ增進ニ伴ヒ國費ヲ要スルコトガ多クナリ、今
日ハ十億ヲ越ス豫算ト相成ツテ居リマス、故ニ財政ノ一面カラ申シマスト、
議會開設當初ノ如キ單純ナモノニ參ラヌノデアリマス、從ツテ豫算ニ關スル案
ガ通常會ト臨時會ト何レヲ問ハズ多クナルコトハ、私ノ辯明ヲ俟タヌデ御承
知デアリマス、又國家ノ進運ハ一日トシテ其進歩ヲ止メナイノデアリマス、
是モ議會開設當初ヨリ今日マデノ經過ヲ見マスルニ、如何ニモ數多ノ法律ヲ
提出スルニ相成ルノハ已ムヲ得ヌノデ、時勢ニ順應ヲ致シマス爲ニハ、各種
ノ法律ヲ改廢イタシ或ハ訂正イタス必要ニ迫ルノデアリマス、故ニ此議會ノ
ミナラズ、丸デ近年ノ議會ニ提出セラレタ所ノ、豫算モ大ナル高ニナツテ、追
加豫算其他モ多クナリ、法律モ從ツテ多クナルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得
ヌ事情デアリマス、併シ一面カラ申セバ、國家ノ進運ガ斯ノ如キコトヲ致ス
ノデアリマスカラ、喜ブベキ事柄ニシテ決シテ悲觀スベキ狀態デナイト申シ

テ宜カラウト考ヘマス、此點ニ於テハ現内閣ノミナラズ、何レノ内閣ニ於キ
マシテモ、提出シタ所ノ豫算モ増加イタシ、法律モ亦其案件ガ増加スルコト
ハ已ムヲ得ヌ時勢ノ進歩デアルト御了承ヲ願ヒタイ、而シテ今期議會是ハ解
散後ノ議會デアリマス、憲法議院法ヲ篤ト一覽イタシテモ其定義ハ明カデア
リマセヌ、臨時議會ヲ設ケルト云フコトハ、憲法ノ規定ヨリ、臨時議會ヲ特
ニ召集シタ場合ニハ或ハ或ル案件ヲ限ッテ議會ニ提案スル爲ニ臨時議會ヲ召
集スルコトヲ得ルコトモ想像セラル、ヤウデアリマス、併ナガラ解散ノ場合
ハ憲法四十五條ニ依ツテ、五箇月以内ニ召集セヨト云フ議會ハ、ドウ云フ性質
ノモノデアルカ、憲法議院法ヲ熟讀イタシマシテモ明カデナイノデアリマス
カラ、從ツテ之ニ向ツテ他ノ臨時會ノ如キ想像ヲ下スコトハ甚ダ難イノデアリ
マス、併ナガラ議會ガ解散サレテ五箇月内ニ召集スルト云フコトハ、或ハ或ル
解散ノ問題トナツタ所ノ問題ヲ解決スル爲デモアラウカトモ想像サレマス、或
ハ又通常會ニ於テ議了スルコトノ出來ナシダモノデ、五箇月内ニ召集シテ之
ヲ討議スル爲デアラウカトモ推察サレマス、此間ニ於テ色々ナル推測論ハ下
サレマスケレドモ明カニ斯様デアルトハ申シ惡イ事柄ト考ヘルノデアリマ
ス、而シテ段々先例ヲ調ベテ見マシテ、解散後ニ對スル議會ノ先例、是モ段
段變遷イタシテ居リマシテ、前内閣ニ於テ解散ヲ致シテ議會ヲ五箇月以内ニ
召集シタ時ニ、其以前トハ異ナリマシテ矢張リ多クノ案ヲ提出イタシテ居リ
マス、即チ是ハ矢張リ短期ノ通常議會ノヤウニ見エル先例ハ稍見エツ、ア
ルノデアリマス、サウ云フ實例モアルノデゴザイマフ、決シテ今期議會ニ多
クノ案件ヲ提出イタシマシタ云ツテモ、貴族院ヲ無視スルト云フコトデハ毛
頭ゴザイマセヌ、ノミナラズ全ク形式上理論上カラ見マシテモ、左マデ不適
當ナル處置デナカラウト信ジテ居リマス、故ニ今期議會ノ初ニ當リマシテ、
私ハ當院ニ於テ演説イタシタ時ニ申上ゲテ置イタノデアリマス、前議會ニ於
テ未了ニ終ツタモノ、或ハ提出シヤウトシテ提出シ得ナカッタモノ、内、國防
問題ヲ初メトシテ種々ナル案件ヲ提出スル、又成ルベク速カニ御協賛ヲ得ル
ハ國家ノ利益ナリト信ズルモノハ此議會ニ提出スルト云フコトヲ申上ゲテ置
イタノデアリマス、左様ナル趣意ニ依リマシテ、今期議會ニ各種ノ案ヲ提出
イタシマシテ、諸君ヲ煩ハスハ恐縮ニ堪ヘマセヌケレドモ、國家ノ進運ニ對
シテ行政ノ措置ヲ計リマスルニハ、已ムヲ得ヌ處置ト御了承ヲ願ヒタイ、又
先例ニ於テ必ズシモ不適當ノコトヲ致シテ居ルノデハ無イト云フコトハ、御

了承ヲ願ヒタイノデアリマス
○山脇玄君 此際私ハ總理大臣ニ質問スルコトハ止メマス、是以上ハ程度ノ
問題デアリマスカラ止メマスガ、滿場ノ諸君ニ私ハ訴ヘタイト思ヒマス、滿
場ノ諸君、如何デアリマスカ、唯今總理大臣ノ申サレマスルノニハ、貴族院
ヲ蔑視シタノデハナイト云フコトデアリマス……
○議長(公爵徳川家達君) 御意見ハ御控ヘラ願ヒマス、質疑ノ要領ナラバ許
シマス
○山脇玄君 質疑ノ要領ヲ……
○議長(公爵徳川家達君) 質疑ノ要領ノ外ハ御止メヲ願ヒマス
○山脇玄君 議了ノ出來ルダケ議了スルト云フコトニ致シタイト云フコトヲ
一應申述ベテ置キマス
○子爵前田利定君 議事日程ノ第三ヨリ第七ニ至リマスル、追加豫算各案ノ
審查期限ハ、審査結了次第ニ報告スルト云フコトニ致シタイト云フコトヲ
動議ヲ提出イタシマス
○江木千之君 贊成
○議長(公爵徳川家達君) 唯今江木翼君カラ何カ御發言ノ御要求ガアッタ趣
ヲ、書記官長カラ承ハリマシタガ、御異議ガナケレバ前田子爵ノ動議ノ決ヲ
採リマシテ、其上デ御許シヲ致シマセウ、宜シウゴザイマスカ……前田子爵
ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○江木翼君 極ク簡單ナコトデゴザイマスルガ、唯今提案ニナツテ居リマス
ル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ件デゴザイマスガ、私ハ少シ遅レマシテ十分
大藏大臣ノ御説明ヲ拜聽シマセヌデゴザイマスガ、無論政府ガ既設會社ノ社
債募集ヲイタシマス場合ハ、從來ノ例ニ依リマスト外國ノ市場ニ於テ募集ス
ル場合ニ限ッテ居ルヤウニ記憶イタシテ居リマスガ、本件モ亦左様ニ心得テ
宜カラウト思ヒマスガ、ソレデ結局ハ此一億ノ社債ト云フモノハ、近キ機會
ニ於テ外國ノ市場ニ於テ募集サレ得ベキ望ミアリトシテ、御提出ニナツタモ
ノデアリマスカ、其二點ヲ伺ヒマス、第一點ハ頗ル重要ナコトデアルト思ヒ
マスルノデ、念ノ爲伺シテ置キマス
○國務大臣(男爵高橋是清君) 本席ヨリ御答イタシマス、第一點ハ外國ニ於

テ發行スル、募集スルト云フ場合ニ限ラレテ居リマス、第二點ハ是ハ關係者

ノ申シマスル所ニ依リマスルト、亞米利加アタリノ資本家ニ内談ヲシテ見タ

所ガ、政府ノ保證ガアルモノナラバ、米國ノ財界ノ立直ッタ場合ニ於テハ、十

分見込ガアルト云フヤウナ話ヲシタト云フコトヲ私ハ聞込ンデ居リマス、政

府ト致シマシテハ、何等米國ノ資本家トハ直接話ヲイタシタコトモゴザイマ

セヌガ、關係者ノ云フ所ニ依リマスレバ、近キ將來ニ望ガアルガ如クニ聞イ

テ居リマス、ソレダケ申シテ置キマス

○江木翼君 若シ此御說ノ如ク出來マスルト云フコトデアルナラバ、満鐵ニ

取リマシテモ、詰リ國家ニ大ナル利害ヲ持ツテ居ル會社ニ取ツテ、頗ル結構ナ

コトデアルト思ヒマスルガ、果シテ從前英吉利ニ於テ一億二千万圓ノ社債ヲ

募集シタ同様ナル有利ナル條件デ募集シ得ベキ御見込ガ立ツテ居ルノデア

リマスカ、其點ヲ尙ホ……

○國務大臣(男爵高橋是清君) 御承知ノ通り、近來歐米共ニ一體ノ金利ハ餘

程高クナツテ居リマス、亞米利加合衆國ニ於キマシテハ、今日デハ先ヅ八分前

後ノ所デナケレバ市場ニ向ツテ募集ヲ試ミルコトハ無理デアラウト云フ考ヲ

持ツテ居リマス、從前ノ如ク好イ條件デ募ラレルト云フコトハ唯今ノ所デハ其

見込ハゴザイマセヌ

○江木翼君 重ネテ伺ツテ置キマスガ、政府ハ保證ノ際モ從前ノ一億二千万圓

ノ社債ニ付テハ、遂ニ政府ハ肩替シテ國家ガ之ヲ負擔シナケレバナラナイヤ

ウナ狀態ニ、正ニ立至ツテ居ルヤウデゴザイマスガ、其條件ノ良イト惡イ有

利ト不利ナルトハ頗ル國家ノ將來ノ負擔ト云フコト、關係ガアルモノト思ヒ

マスガ、ソレ等ニ對シテ大藏大臣ハ、監督ノ意味ヲ以テ十分ナル國家ノ甚ダ

不利ナラザル方法ヲ以テ、監督ノ任ヲ盡サレルモノデアラウト存ジマスルガ、

左様ニ心得テ然ルベキモノデアリマスカ

○議長(公爵德川家達君) 日程第八、賠償金特別會計法案、政府提出、衆議

院送付、第一讀會

賠償金特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

賠償金特別會計法

第一條 獨逸國等トノ平和條約賠償條項ニ基キ受領スル賠償金ノ會計ハ之ヲ特別トシ一般ノ歲入歲出ト區分スヘシ

第二條 本會計ノ資金ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第三條 本會計ハ賠償金及其ノ利息、本會計所屬物件ノ賣拂代金及貸付料、運用利殖金並附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ法令ノ定ムル所ニ依リ支出スル交付金、事務取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第四條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第五條 本會計ノ資金ニシテ毎年度内ニ使用セサルモノハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越スヘシ

本會計ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル支出殘額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第六條 獨逸國トノ平和條約賠償條項ニ基キ受領スル有價證券其ノ他ノ物件ハ本會計ノ所屬トス

本會計ノ收入支出及本會計所屬物件ノ保管出納ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 議題ニ付テ説明ヲ致シマス、獨逸國等トノ平

和條約賠償條項ニ依リマシテ、同盟並ニ聯合國政府ノ受領イタシマス賠償金

ノ總額、並ニ本邦政府ノ受クベキ分配額等ニ付キマシテハ、目下各國ノ間ニ

商議中デゴザイマシテ、未ダ決定スルニ至ラヌノデゴザイマスガ、併ナガラ

右賠償條項ハ既ニ實施セラレツ、アルノデゴザイマス、賠償ノ一部分トシテ

染料ノ如キハ本邦ニ於テ既ニ受領ノ手續ヲ了シマシタモノモゴザイマス、而

互リマスル其關係上、又現金ノミナラズ現物ヲ以テモ支拂ハル、ト云フ關係

上、複雜デゴザイマスルノミナラズ、更ニ此賠償金ノ用途ニ付キマシテ、其特殊ノ性質ニ鑑ミマシテ決定ヲスベキモノデアルト考ヘマスルカラ、之ヲ一般會計ニ直接ニ受入レテ處理イタシマスコトハ、甚ダ不便デゴザイマスカラシテ、日清戰役後ニ於キマスル賠償金ノ經理法ヲ見倣ヒマシテ、之ヲ一般會計ハ本案ヲ提出シタル次第デゴザイマスカラ、御審議ノ上御協贊アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ大藏大臣ヨリ寧ロ外務大臣ニ質問ガアリマスル

ガ、最近ノ歐洲電報ニ依リマスト、最近ノ「スバー」ノ會議ノ結果、我國ニ割當テラレタル獨逸ノ賠償金ノ割合ハ七分五厘ト云フ新聞ノ報道ガアリマスガ、外務省トシテハ既ニ何等カノ御報告ニ接シテ居ラル、コト、考ヘマスガ、果シテ七分五厘ガ我國ヘノ賠償價額ノ割合ト決定シタノデアリマスカ、外務大臣ヨリ御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(子爵内田康哉君) 本席ヨリ御答致シマス、此「スバー」ノ會議ニ

於キマシテハ唯今廣澤伯ノ申サレマシタ通リニ、賠償金ノ割合ハ此協議事項ノ最モ重要ナル一ツトナツテ居リマス、大凡ノ割當額モ決ツタヤウニ電報ハ參テ居リマスガ、マダ確定シタト云フ電報ニハ接シテ居リマセヌ、且又此問題ハ各國ニ非常ナル關係ヲ有ツテ居ルモノデアリマスカラ、假令其電報ガ不日到リマシテモ、或ハマダ發表致シ兼ネル次第カモ知レマセヌ、何等差支ナイト云フコトデアリマスレバ、發表スルコトヲ敢テ否ミマセヌ次第デアリマス、今日ニ於テハ其確報ニ接シマセヌ、マダ幾何ノ額ガ日本ニ割當テラレタト云フコトヲ、マダ明言致ス譯ニ参リ兼ネマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

賠償金特別會計法案特別委員

伯爵小笠原長幹君 男爵木越安綱君 子爵井上匡四郎君
男爵神田乃武君 男爵武井守正君 男爵黒田長和君
中島永元君 杉田定一君 田中清文君

括シテ議題トシ説明ヲ煩ハシマシテ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

ト區分イタシテ特別會計ヲ設定スルコトヲ必要ト考ヘタノデゴザイマスカラシテ、日清戰役後ニ於キマスル賠償金ノ經理法ヲ見倣ヒマシテ、之ヲ一般會計希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第九、帝國大學特別會計法中改正法律案、第

十、大正八年法律第十二號中改正法律案、第十一、公立學校職員年功加俸國庫補助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

帝國大學特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十九日

衆議院議長與繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

帝國大學特別會計法中改正法律案

第二條中「金百六十七萬七千三百二十圓」ヲ「金二百五十萬七千九百七十六圓」ニ、「金百三萬五千百圓」ヲ「金百四十七萬三千三百十八圓」ニ改ム

大正八年法律第十二號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十九日

衆議院議長與繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

大正八年法律第十二號中改正法律案

大正八年法律第十二號中改正法律案

「東京帝國大學工學部」ヲ「東京帝國大學醫學部及工學部」ニ、「百五十萬圓」ヲ「百八十萬圓」ニ改メ左ノ二項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依ル臨時政府支出金ノ外擴張ニ伴ヒ要スル經常費ニ充ツル爲當分ノ内毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ必要ナル金額ヲ一般會計ヨリ當該帝國大學特別會計ニ繰入ルヘシ

東京帝國大學及京都帝國大學ノ入學期繰上ニ關シ臨時授業ヲ爲スノ費用ニ充ツル爲必要ナル金額ハ東京帝國大學ニ在リテハ大正九年度乃至大正十二

年度ニ瓦リ、京都帝國大學ニ在リテハ大正九年度乃至大正十三年度ニ瓦リ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ當該帝國大學特別會計ニ繰入ルヘシ

參照

大正八年法律第十二號

東京帝國大學工學部ノ擴張ヲ爲スノ費用ニ充ツル爲總額金百五十萬圓ヲ、京都帝國大學工學部及理學部ノ擴張ヲ爲スノ費用ニ充ツル爲總額金八十三萬千二百七十一圓ヲ大正八年度乃至大正十一年度ニ瓦リ帝國大學特別會計法第二條ノ金額ノ外毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ當該帝國大學特別會計ニ繰入ルヘシ

公立學校職員年功加俸國庫補助法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

院送付、第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 日程第十二、貨幣法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

貨幣法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

貨幣法中改正法律案

貨幣法中左ノ通改正ス

第三條中「二十錢」ヲ「二十錢」ニ、「五錢」ヲ「十錢」ニ改ム

第五條中「二十錢十錢」ヲ「二十錢」ニ改ム

第六條中「十錢銀貨幣 四分」ヲ「十錢白銅貨幣 一分四厘」ニ改ム

第七條中「白銅貨幣及」ヲ「白銅貨幣ハ五圓マテ」ニ改ム

○國務大臣(中橋德五郎君) 本案ハ第九ノ帝國大學特別會計法中改正法律案、是ハ御承知ノ通リニ、特別會計法デ金額ヲ限定シテ決メテアリマスノデ、今回豫算ニ提出致シマシタル職員ノ増俸及ビ物價騰貴ニ關シマスル經費ヲ數十万圓增加計上致シタ譯デアリマス、ソレデ隨ツテ特別會計ニ改正ヲ要スル

本法ハ大正九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 本案ハ第九ノ帝國大學特別會計法中改正法律案、是ハ御承知ノ通リニ、特別會計法デ金額ヲ限定シテ決メテアリマスノデ、

今回豫算ニ提出致シマシタル職員ノ増俸及ビ物價騰貴ニ關シマスル經費ヲ數

十万圓增加計上致シタ譯デアリマス、ソレデ隨ツテ特別會計ニ改正ヲ要スル

コトニナリマシタカラ之ヲ提出致シマシタ、又大正八年法律第十二號中改正法律案、最モ矢張リ同様デアリマシテ、大學ノ擴張ニ伴ヒマシテ經費ヲドウシテモ増額致シマセヌケレバナラヌノデアリマシテ、豫算モ提出致シマシタガ、隨ツテ此法律ノ改正ヲ要スル次第デアリマス、ソレカラ今一ツハ此公立學校職員年功加俸國庫補助法案デアリマス、是ハ前年來ノ問題デアリマスノデ詳シク申上ゲルノ必要モナカラウト思ヒマス、此春ノ四十二議會ニモ提出イタシマシタガ、今回臨時議會ニナリマシタノデ再び之ヲ提出致シタ譯デアリマス、金額ハ豫算ニアリマスル通リニ、此當春提出致シマシタル所ハ四十万圓デアリマシタガ、今回ハ二十万圓其半額、即チ半年分ニナッテ居ル次第デアリマス、之ヲ以テ中等程度ノ學校ノ職員ノ待遇改善ヲ致シタイト、斯ウ云フ積リデアリマス、ドウカ宜シク御審議ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、唯今文部大臣ノ説明セラレマシタ日程第九ヨリ第十一大マデノ法案ノ特別委員ハ、實業教育費國庫補助法中改正法律案ト同一委員ニ付託致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

第十條中「十錢ハ毎片八毛一千枚每ニ四分」ヲ削ル

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從來發行ノ十錢銀貨幣及五錢白銅貨幣ハ從前ノ通通用スヘシ

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 本案ハ、前議會ニ提出致シマシタル法律案ト全ク同様デアリマス、其節説明ヲ致シマシタル通リ、我國ノ銀貨ハ最近ニ於キマシテハ、大正七年ノ四月ニ改正ヲセラレタノデゴザイマスルガ、其後銀相場カ引續イテ暴騰イタシテ、銀ノ鑄潰點ヲ遙ニ超過スルニ至リマシタ、又最近ニ至リマシテハ稍下落ノ傾向ガ見ユルノデゴザイマスガ、一旦斯様ニ

暴騰ヲ見マシタル以上、更ニ又鑄潰シノ危険ニ遭フノ憂ヒガアルモノト見ナケレバナラヌト考ヘマスルカラ、茲ニ重ネテ此銀貨ノ改正ヲ行ハネバナラナ

クナツタノデゴザイマス、併シ銀貨相場ハ目下尙ホ動搖イタシテ不安定ノ状態ニアリマスルカラシテ、今日ニ於テ銀貨全般ニ瓦ツテ是ガ改正ヲナスコトハ、稍早計ニ失スルノ嫌ヒガゴザイマスルカラ、差當リマシテ、十錢銀貨ヲ廢止イタシテ、其代ソニ、十錢ノ白銅貨ヲ造ルコト、致シ、之ニ伴ヒマシテ五錢ノ白銅貨ノ形デ現行ノ物ヨリ聊カ小サクスルコトノ必要ヲ生ジテ居リマス、又從來白銅貨ノ硬貨トシテノ通用效力ハ一圓マデゴザイマスガ、新ニゴザイマスノデ、白銅貨ノ通用力ハ之ヲ五圓マデトスルコト、改メタイトト考ヘルノデアリマス、御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十二ノ法案ハ、御異議ガナケレバ大正八年法律第九號中改正法律案ト同一委員ニ付託イタシタイトト考ヘマス

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十三、成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正九年七月十九日

貴族院議長公爵德川家達殿

成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案

衆議院議長奥繁三郎

第一條 政府ハ成田鐵道株式會社及中越鐵道株式會社所屬ノ鐵道及其ノ附屬物件並兼業ニ屬スル資產ヲ買收ス

第二條 前條ノ規定ニ依ル買收期日ハ政府之ヲ指定ス

第三條 兼業ニ屬スル資產ノ買收價額ハ地方鐵道法第三十一條ノ至第三十

三條ノ規定ニ準シ之ヲ計算ス

第四條 政府ハ買收ノ爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 成田鐵道及中越鐵道買收法律案提出ノ理由ヲ申上グマス、成田鐵道ハ多年國有鐵道兩國驛及ビ上野驛ヨリ成田驛マデ直通列車ノ運轉ヲ致シテ居リマシテ、國有鐵道ノ一部タル作用ヲナシテ居リマス、ソレニ加フルニ房總線ト常盤線トヲ聯絡スル幹線トナツテ居リマスルノデ、丁度其中間ニ僅カ夾マツテ居リマスノデ、ソレヲ國有鐵道ト致シマシテ政府ニ於テ經營スルコトガ最モ必要ト思量イタシマシタ、今回買收ノ法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、次ニ中越鐵道ハ伏木港ヲ控ヘマシテ、北海道稚太方面トノ水陸ノ聯絡ヲ圖ル重要ナル鐵道デゴザイマス、然ルニ設備不完全デゴザイマシテ、十分ニ其機關ノ效用ヲ全ウスルコトガ出來マセヌノミナラズ、產業トガアリマスルノミナラズ、アノ方面ニ於キマシテ、海ニ通ジマスル點ノ重望ナル線路ニナツテ居リマス、之ヲ國有ト致シマシテ、改良ヲ加ヘマスコトハ、誠ニ必要ナ線ト存ジマス、是亦買收イタシマス必要ヲ認メマシテ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 通告順ニ依リマシテ、質疑ノ發言ヲ許シマス、江木翼君

〔江木翼君演壇ニ登ル〕

マシテ、鐵道拂下ニ關スル事柄ヲ承ハッテ置キタイト思フノデアリマス、鐵道拂下ト申シマスルト、全般ニ涉ルコトノヤウデゴザイマスルガ、私ガ茲ニ御尋ネセムト致シマスル事柄ハ必ズシモ質問ノ全部ガ全般ニ涉ル事柄デハナノノデアリマス、昨今世間ノ群疑ヲ集メテ居リマスル所ノ大阪ノ所謂城東線ノ拂下問題ニ付キマシテ、政府ノ御意見ヲ承ハリタイ、此趣旨デゴザイマス、私ハ最近ニ南滿洲ノ方面ヲ旅行イタシマシタノデゴザイマスルガ、何時モ斯ル旅行ノ際ニハ、斯ノ如キ事柄風評等ニ付キマシテハ、餘り耳ヲ煩ハスコトガナカッタノデゴザイマスガ、今回ノ旅行ニ於キマシテハ、實ニ聞クニ堪ヘナイヤウナ忌ハシキ所ノ風説ヲ屢々耳ニシタノデアリマス、殆ンド日トシテ斯ノ如キ風説ヲ耳ニシナカッタコトハナイト申シテ宜イ位ノモノデアリマス、或ハ取引所ノ問題ガドウデアル、或ハ取引所ノ株式ガ某要路ノ人ノ……是ハ一々此風評ヲ固ヨリ信用スル者デハアリマセズ、恐ラクハ齊東野人ノ言デゴ致スノデゴザイマスルガ、其風評バカリヲ以テ感ジヲ述べマスレバ、我ミガザイマセウ、又近ク議會ガ開カレマシテ以來モ、屢々斯ノ如キ所ノ風評ヲ耳ニクモアツタデアラウカト想像セシムルヤウナ噂ト云フモノヲ、屢々耳ニスルノデアリマス、私ハ實ハ固ヨリ其事實ノナルベキコトヲ希望スルノデゴザイマスル、然ルニ目下問題トナッテ居リマスル所ノ城東線ノ問題ニ付テモ、同ジャウニ矢張リ世間ノ疑ヲ集メテ居ルヤウニ思フノデアリマス、デゴザイマスルカラシテ、私ハ斯ル問題ニ付テハ、政府トシテハ十分其法規ノ根據、其經過ノ由來、事情ノ基ク所ト云フモノヲ辯明セラレテ、所謂世間ノ群疑ヲ一掃セラレルノガ政府ノ義務デアリ、又議院ト致シマシテモ、斯ノ如キ問題ガ起リマシタ場合ニ於キマシテハ、此事實ト云フモノヲ明白ニシ、其法規ノ因ツテ起ル所ト云フモノヲ明白ニシテ、而シテ世間ノ疑ト云フモノヲ一掃スルト云フコトハ其當ニ爲スペキ務メデアラウト思フ、若シ然カラズシテ斯ノ如キ云フモノガ薄クナルト云フ感ジガアリハセヌカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、デ私ハ此問題ニ付キマシテハ政府ニ於テ十分ナル御辯明ガアルノガ、然ルベシト思フノデアリマス、而シテ此問題ハ鐵道買收ト云フ問題ト恰モ關聯ガナイ如クデアリマスガ、鐵道ヲ買收スルニ當ツテ我ミハ協贊ヲシテ居ルノ

デアル、僅ナル五哩カ十哩ノ鐵道ヲ政府ガ買收スルニ當リマシテモ、億却ナル手續ヲ執ツテ兩院ノ協賛ヲ經テ、而シテ御裁可ト云フモノガアッテ初メテ決スルノデアル、然ルニデス、其價格ガ五百何十万圓ト云フ莫大ナル價格ヲ有ツテ居リマスル所ノ鐵道ト、現ニ公用ニ供セラレツ、アル所ノ鐵道ガ何等ノ手續ナシニ、議會ハ丸切り知ラナイ申ニ一私設會社ニ隨意契約ヲ以テ拂下、グラレルト云フガゴトキコトハ、如何ニモ私ハ均衡ヲ得ナイト思フ、何カ法規ニ斯ノ如キ根據ト云フモノヲ置カナケレバ、如何ニモ濫ニ陷ルト云フ憂ガアリハシナイカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、デゴザイマスルガ故ニ私ハ此機會ニ於キマシテ、現在ノコト並ニ將來ニ對シテ政府ノ言明ヲ求メテ置キマスルト云フコトハ、頗ル議院トシテ必要ナル事柄デアラウト思フノデアリマス、城東線ノ拂下ノ事實ト云フ事柄ハ、大概諸公ニ於カレマシテモ御承知ノコト、思ヒマスルガ、大要ヲ申シマスルト本年ノ二月頃ニ京阪電氣鐵道株式會社ガ其社長岡崎邦輔ト云フ人ノ名ヲ以チマシテ、城東線ノ拂下ヲ政府ニ願出テ、五月二十日ヲ以テ其拂下ヲ許可スベキ意味ノ指令ガアッタ、而シテ五月二十四日ヲ以テ該電氣鐵道株式會社ヨリ是ガ受書ヲ差出シタ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、此買收ノ……拂下ノ件ナルモノハ五月二十四日ニ至リマシテ完了イタシタ、斯様ナル問題デゴザイマス、茲ニ於テ私ハ鐵道省ノ當局ニコトニナツテ居ルノデアル、大阪市ノ如キ繁華ナル所ノ土地ニ於キマシテ市伺ヒタイト思フノデゴザイマスガ、現在ノ城東線、之ヲ拂下ダル、而シテ其代リノ線ト致シマシテ、之ニ殆ド並行シタル所ノ高架線ヲ建設サレルト云フニ適當ナコトデアラウト思フノデアリマス、願クバ、成ルベク速ニ高架線ガ出來ルト云フコトガ宜カラウト思ヒマスルガ、高架線ノ豫算ト云フモノハ、ドウナツテ居ルカト云フコトヲ調べテ見マスルト、唯今審議中ニナツテ居リマスル所ノ追加豫算、大正九年度以降ノ追加豫算ニ計上サレテ居リマシテ、而シテ此城東線ノ完成ヲ致シマスル時期ハ何時カト申シマスルト、大正十八年ノ長イコトデアル、茲ニ於キマシテ……大正十八年度ニ至ツテ初メテ完成ヲスル、然ルニデス、第一ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスルノハ、此城東線ノ高架線ト云フモノガ初メテ完成スルト云フ譯ニナツテ居ル、マダ頗ル先デアリマス、即チ大正九年ヨリ大正十八年ニ亘ツテ繼續工事トナツテ、此城東線ノ高架線ト云フモノガ初メテ完成スルト云フ譯ニナツテ居ル、マダ頗ル先下ヲ決定セラレ、而シテ其契約ノ成立イタシマシタル時期ハ何時デアルカト

申シマスルト、本年ノ五月二十四日デアル、即チ豫算ノ提出前デアル

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

此豫算提出前、豫算ガ多分通過スルダラウト云フコトヲ豫期スルニ非ザレバ、斯ノ如キ契約ト云フモノヲ締結サレルト云フコトハ恐ラクハ出來ナカラウト思フ、ソレガ第一點 第二ハ大正十八年ニ至テ初メテ完成スル、實ニ今ヨリ八九年ノ後ニナツテ初メテ完成スベキ譯合ニナツテ居ル所ノ鐵道、ソレガ完成シナケレバ一方ノ現在ノ城東線ト云フモノハ止メル譯ニハ行カナイ狀態ニナツテ居リマスモノヲ、今日豫算ヲ提出スル前ニ卒然トシテ之ヲ拂下ゲルト云フコトハ、如何ナル理由ニ基クノデアルカ、次ニ承ハリタイノハ、城東線ナルモノハ現ニ公用ニ供セラレテ居ルノデアル、立派ニ公用ニ供セラレテ、毎日車ガ通ツテ居ル、所謂公共ノ營造物ニナツテ居ルモノデアル、而シテ是ハ大凡大正十八年、若シクハ中間ニシテ出來マシタ所ガ十五六年頃デナケレバ其公用ヲ止メルコトハナイ狀態ニナツテ居ル、然ルニ其拂下ゲ契約ナルモノヲ見マスルト、成程鐵道ヲ廢シテ、サウシテ此線路敷地ト、此上ニ在ル所ノ定著物トヲ賣ルト云フコトニナツテ居リマスルガ、實ハ是ハ所謂京阪電氣鐵道會社ガ其後ヲ其儘繼イデ自分ノ線ヲ市内ニ引入レヤウト云フ前提ノ下ニ契約ガ出來テ居ルモノデアリマス、其ノ契約ハ如何ナル前提ノ下ニ出來テ居ルトヲ問ハズ、現ニ公用ニ供シテ居ルモノヲ其儘拂下ゲル、是ハ何カ根據ガナクチャナラヌ、契約ノ文面ハ如何デアリマセウトモ、現在公用ニ供シテ居ルモノデアリマスナラバ、之ヲ拂下ゲルト云フニハ何カ根據ガナクチャナラヌト思フノデアル、衆議院ノ此法案ハ委員會並ニ豫算委員會等ニ於テ問答ノアリマシタ所ヲ速記録ニ依ッテ見マスルノニ、是ハ官有地特別處分規則ノ第一條ノ第一項ニ據ツタモノデアル、或ハ帝國鐵道特別會計規則第三十一條ニ依ッタモノデアルト云フコトノ御説明ガアルヤウデアリマスガ、官有地特別處分規則ハ申上ゲマスル迄モナク公用ヲ廢シタ所ノモノ、此土地ヲバ内務大臣ニ返シ、其内務大臣ガ之ヲ拂下ゲル場合ノ規定デアル、現ニ公用ニ供シテアル所ノモノヲ拂下ゲル規定デナイト云フコトハ申迄モナイコトデアル、如何ニモ其理據ト云フモノガ私ハ乏シイト思フ、如何ナル法規ノ根據ニ依ッテ拂下ダラナサレマシタカト云フ點ヲ第三ニ承ハリタイ、次ニ此大阪市ノ城東線ナバモノハ、大阪市ノ利害ニ重大ナル關係ノアルモノデアルコトハ申迄モナイコトデアル、是ハ市内ニ引入レマシテ、市内ノ交通系統、或ハ高速度ニ

スルトカ……或ハ之ヲ若シ高速度ニシダ場合ニハ市内ノ交通系統ニ對シテ實ニ重大ナル影響ガアルノデアル、無論此大阪市ノ利害ニ關係ガアルコトト思ヒマスガ、之ヲ一鐵道會社ニ拂下ゲルニ當リマシテ果シテ此市ノ利益ト云フモノヲ尊重スル意味合ヲ以テ、市ノ自治機關ナリ、或ハ近頃出來マシタ所ノ都市計畫委員會ナドニ御諮詢ニナツテ居ルノデアルカドウデアルカ、若シ之ヲ諮詢セラレナイト致シマシタナラバ、是ハ甚ダ市ノ自治權ヲ蹂躪スルモノデハアルマイカト思ヒマスルガ、政府ハ左様ニハ御考ヘニナラヌノデアリマセウカ、次ニ承ハリタイノハ、之ヲ一電氣軌道會社ニ拂下ゲルト云フコトハ、固ヨリ軌道會社ガ大阪市内ニ於テ、市内ニ乘入レルト云フコトヲ前提ニシナケレバナラヌノデアル、政府ハ豫メ此點ヲバ該軌道會社ニ特許セラレルト云フ豫約ヲ以テ……豫定ヲ以テ拂下ゲル決行セラレタ次第デアルカドウデアルカ、抑之ヲ拂下ゲラレタ以上ハ、市ノ意見ガ如何デアラウト、將又府ノ意見ガ如何デアラウトモ、何處迄モ特許サレルト云フ主旨ヲ以テ拂下ゲル決行セラレタ次第デアルカドウデアルカ、次ニ承ハリタイノハ、如何ニモ斯ノ如ク考ヘテ見マスト、或ハ法規ノ根據ガ乏シク、或ハ自治權蹂躪トカ云フ問題モ起ルシ又其間ニハ色ムナ疑ガ起ツテ來ル譯デゴザイマスルガ、政府ハ極メテ虛心坦懷、苟モ斯クノ如キ問題ヲ起ス以上ハ、所謂群疑ヲ一掃スルト云フ主旨ヲ以テ、本契約ヲバ破棄セラレルト云フ御意思ハナイデアルカドウデアルカ、私ハ若シ左様デアリマスルト、甚ダ大阪市内ノ公益ノ爲メハ勿論ノコト一旦斯ル疑ヒノアリマスル場合ニ於キマシテハ、頗ル適當ナル措置デアラウト思ヒマスルガ、政府ニ於テハ果シテ其意アリヤ否ヤ、次ニハ若シ是ガ取消セラル、ト云フコトデアリマスレバ、如何ニモ斯ノ如キコトガ將來頻々ト起ルト云フコトハ面白カラヌコトデアル、現ニ特別財產ニ付キマシテ、例ヘバ北海道ノ未開地ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、北海道未開地處分法ト云フヤウナモノガアリ、又國有林野ト云フヤウナモノニ付キマシテハ是ガ特別處分ヲ爲ストカ、拂下ゲラスルニ當リマシテハ、國有林野法ト云フ立派ナル法律ガアル、或ハ河川法……河川ノ敷地ヲ廢シタ場合ニ於テ、其敷地ガ元ノ所有者ニ歸屬スルト云フヤウナコトヲ規定シマシタ所ノ法律ノ規定モアルノデアル、其他斯ノ如キ場合ニ處スル途ト云フモノハ多ク法規ニ根據ヲ持ツテ……帝國議會ノ協賛ヲ經タル法律ニ依ッテ爲シテ居ルノガ現在多クノ事例ト思ヒマスガ、政府ハ此處分ノ取消ヲ爲シ、將來ニ向ツテ斯ノ如キ所ノ處分

ヲナスベキ所ノ法律ヲ制定セラル、ノ意ハナイノデアルカドウデアルカ、是ガ本法案ニ關シマシテ私ガ伺ハムトスル所ノ大要デゴザイマス、色々御注意モアリマスノデ極メテ、能ク充分ニ意ヲ盡シマセヌデゴザイマスガ、大體ニ於テ當局ニ於キマシテハ私ノ意ノ在ル所ヲ御了解下サレマシタト思ヒマスカラ、明快ナル答辯ヲ得タイト思ヒマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣元田肇君) 江木君ニ御答ヲ致シマス、成田中越兩鐵道ノ買收法案提出ニ際シマシテ、唯今ノ如キ御質問ヲ得マシタコトハ、甚ダ意外ニ心得マスガ、近時一部世上ニ器々致シテ居ルコトガゴザイマスカラシテ、私ハ寧ロソレニ對スル所ノ辯明ノ時機ヲ與ヘラレタコト、致シマシテ一應答辯ヲ致シマス、尙ホ議長ノ注意モアッテ、十分ナル質問ト云フコトガ出來ヌト云フコトノ御斷リデアリマシタガ、十分ナ御質問ガアリマスレバ、其機會ニ於キマシテ尙ホ詳細ナル御答辯ヲ致シテ、一點タリトモ疑惑ノ無イヤウニ政府ニ於テハ努メタイト思ヒマス、最モ江木君ノ唯今ノ御質問ノ冒頭ニ於キマシテ、滿洲ヲ旅行サレマシテ種々ナル風聞ヲ聞クト云フコトデ、如何ニモ當局ニ於テ如何ハシキ評判デモアルカノ如キ前提ヲ以テ御述ベ下サツタコトハ、一點疑惑ニ存ズル次第デアリマス、本問題ニ付キマシテハ、唯今ノ御質問ノ問題ニヒナイマデノ辯明ハ仕リマスガ、江木君ヨリ斯ノ如キ前提ヲ以テ不肖當局ニ御質問ニナルト云フコトノ、是ハ私ノ不德ノ致ス所デアリマセウガ、甚ダ遺付キマシテ縷々御述ベニナリマシタガ、歸著スル所ノ要點ハ拂下ゲハ出來ヌ、是ガ第一デ、第二ニハ市ニ對シテ諮詢セシガドウカ、諮詢シナケレバ市民ノ權利ヲ蹂躪スルモノデアルカドウカ、第三ニハ特許ヲ與ヘル決心デアルカドウカ、第四ニハ群疑ヲ一掃スル爲ニ契約ヲ破棄スル積リハ無イカ、第五ニハ斯カル場合ニ處シテ將來法規ヲ制定スル意思ハ無キカ、簡單ニ御質問ノ要ヲ舉レバ右ノコトニ歸著スルヤウニ存ジマス、此御答ヲ爲ス前ニ、詳シイコトハ他日御尋ネノ場合ニ申上ゲマスガ、大體ノコトヲ此處デ申上ゲタガ宜カラウト思ヒマス、苟モ胃頭ニ於カレマシテ疑雲アル如キ御尋ネガアリマシタ以上ハ、大體ノ事ダケハ茲ニ申上ゲテ置ク必要ガアルト私ハ存ジマスガ、鐵道省ニ於キマシテ諸般ノ改良ヲ致シテ居ルト云フコトハ御承知アラセラル通リデアリマス、而シテ城東線ハ市内ニ通ジテ居ル方デアリマスガ、何分之ヲ高架線ニシナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、其高架線ヲ現在ノ

場所ニ敷設イタシマスコトニ致シマスレバ、日々輸送イタシテ居ル所ノ線路テドウカ高架線ガ出來テ、新線路ガ出來タナラバ、舊イ線路ハ廢線ニナッテ仕舞ヒ、不用物ニナッテ仕舞フ、其場合ニ於キマシテハ、兼ネテ京阪會社ガ受ケテ居ル所ノ特許ノ命令書ノ中ニ大阪ニ首ヲ出スコトニナッタ、未ダ其首ヲ出ス線路ハ見付ツテ居ラヌガ、其新線路ヲ改築スル爲ニ不用物ヲ拂下ゲテ吳レル驛ニハ行キマスマイカト云フ申出ガアリマシタ、鐵道省ニ於キマシテハ現ニ改築ヲ企テ、居ル所ノ線路ガ出來上ガリマスレバ、不用ノ線路ニナッテ仕舞フノデアルカラ、拂下ゲマスニ何等支障ハ無イノデアリマス、ソコデ唯口バカリデハ……口上ダケノコトデハ京阪モ考ヲ凝ラス譯ニハ行カヌト見マシテ、ドウ云フ條件ナラバ、其場合ニ不用物ニナッタモノヲ拂下ゲテ吳レルカト云フコトデアリマスカラシテ、書面ヲ京阪會社ニ送リマシタ、其書面ハ此場合ニ一々朗讀イタシテモ宜シウゴザイマスガ、大體ノ趣意ヲ申上ゲマシテ、他日機會ヲ以テ尙ホ全體ヲ承知アラセラレルヤウニ申上ゲルコトニ致シマス、線路ヲ改築イタスノハ斯ウ云フ風ニシナケレバナラヌ、ソレヲスルニ付テハ、大約五百七十万圓ハ掛カル工事ノ豫定デアル、其改築ト云フモノガ出來上ツテ京阪會社ト云フモノガ此費用ヲ分擔シ、出來上ルト云フコトニナリマスレバ、廢線ニナルカラシテ不用ニナリマシタ所ノ今ノ線路敷地、「レール」ハ京阪ノ方ニ拂下ゲテモ宜イ、斯ウ云フ譯デアル、併シ京阪ガ之ヲ受ケルカ受ケヌカ分リマセヌデ、其通知書ヲ發シマシタ所ガ京阪ハ御受スル、斯様ナ顛末ニナッテ居リマス、鐵道省ニ致シマシテハ、是ガ事實ニ現ハレテ來マスレバ、五百七十萬圓ト云フノハ今日ノ豫定デアリマス、實際工事ヲ致シマスト、凡ソ既往ノ慣例ニ照ラシマスレバ、五百万圓モ六百万圓モ七百万圓モ結局掛カルコトガコトハ他日御尋ネノ場合ニ申上ゲテ置ク必要ガアルノヲ之ヲ唯廢物ニナッタ線路ヲ拂下ゲテヤルダケデ出來ルナラバ、誠ニ幸デアリマスカラ、其出來上ツタ場ス、而シテ是ハマダ未來ノコトデアリマスガ、更ニ斯様斯様ニナッタ時ハ支障

ガナイト云フコトハ、今日ニ於テ分ッテ居ラナケレバナリマセヌガ、未來ノ條件ヲ以テ條件ヲ帶ビタル通知書ニ對スル受書デアリマス、是ガ濟ミマスト、京阪電鐵ハ新ニ特許願ラ提出イタシマシタ、鐵道省ニ今城東線トシテ居ル所ノ線路ハ、他日不用物トナル有様デアルカラ、其場合ハ自分ノ特許ヲ受ケテ居ル大阪市ニ首ヲ出スニハ此方面カラ出シタイト云フ願デ、大阪府知事ヲ經マシテ、鐵道内務兩大臣ノ手ニ願ガ出マシタ、引續イテ市長カラ、許サル、ト云フコトニナラバ、高架線ニシテ吳レナケレバイカヌ、ドウカ高架線ト云フ條件付ニシテ貰ヒタイ云フ、市長ノ意見書モ出テ居ル、知事ノモサウ云フコトニナッテ居ル、是ハ勿論當然ノコトデアル、政府ノ營業ニシテ居マスル所ノ今日ノ鐵道ヲ高架線ニシナケレバナラヌカラシテ、他ニ改築ヲシタ伊云フコトニナッタノデアリマス、ソレガ不用物ニナッタ所デ、其不用物ニナッタモノヲ拂下グヲ受ケテ其儘鐵道ヲ營業スルト云フコトハ出來ヌ譯デアル、之ヲ土臺ト致シマシテ、高架線ヲ築イテ京阪電鐵ノ線路トスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、府知事ナリ市長ノ意見書ト云フモノハ、固ヨリ當然ノ事デアリマス、高架線ト云フモノヲ條件ニシテ特許ヲ與ヘタイト云フコトニナッテ居リマス、是マデニ止マッテ居リマス、若シ議會デモ開ケテ居リマセナイナラバ、此間ニ内務省ト協議イタシマシテ審議ノ上ニ此特許、許可スペキヤ否ヤト云フコトノ歩ヲ進メタデアリマセウガ、恰モ議會最中デアリマシテ、ソレマデニナッテ居リマス、然ルニ先日衆議院ノ豫算分科會ニ於キマシテ、端ナクモ代議士荒川氏ヨリ質問ガアリマシテ、鐵道省デハ京阪ニ一ツノ線路ヲ唯賣ッテヤルサウナ、奇怪千萬ナ風説ガアル、其真相ヲ聽キタイト云フコトデアリマシタカラシテ、今日ハ書類ヲ携ヘテ居リマセヌカラシテ次ノ委員會ニ明白ニ諸君ニ了解ノ出來ルヤウニ御話イタサウト云フコトヲ約シテ置キマシタカラ、其次ノ委員會ノ時ニ關係書類ヲ持參イタシマシテ、委曲ノ説明ヲシマシテ、速記錄ニモ載ッテ居リマス、其ノ速記錄ノ大要ハ、通牒書ニ關スル事項モ載ッテ居リマス、荒川氏等ハ誠ニ明白ニ了解イタシタト云フコトデアリマシタ、竹内代議士ハドウカ承ハッタダケデハ分ッタヤウデアルケレドモ、書面ノ寫シモ頂戴スルコトハ出來ヌカト云フコトデアリマシタガ、一々議員ノ請求ニ依ッテ寫シテ差出スト云フコトハ困ルカラ、寫取ッテ下サイト云ッタ所ガ、然ラバ書面ヲ貸シテ貰ヒタイト云フタガ、官ノ書類デアルカラ是ハ失ッテハ困ルカラト云ッテ、之ヲ貸シテヤリマシタ、明白ニ了解モ得テ居ッタト思ヒ

マシタ所ガ、種々意外ナル事ノ新聞等ニ出ルコトニナリマシタ、併ナガラ一
點當局ニ於テ不都合無イト信ジテ居リマスカラシテ、敢テ自ラ進ンデ辯明ノ
勞ヲ取ルコトモ致シマセヌ、然ルニ前川代議士ガ此買收法案ガ出マシタ時ニ、
南海鐵道ハ或ハ買收シャウカト云フ、前ニ當局ヨリ考へ中ダト云フコトヲ申
シタコトガアリマシタ、所ガ今回不肖當局トナリマシテ、國家ノ利益トシテ
新ニ線路ヲ設クルヲ是ナリトシテ、南海鐵道ヲ五千有餘万圓ノ大金ヲ出シテ
買取ル必要無シト認メマシテ、是ハ買收セヌコトニ決定ヲイタシマシタ、コ
レニ對シテ頗ル遺憾ヲ抱カレマシテ、ナゼ買ハヌヤウニシタカト云フ質問デ、
併セテ此事ニ付テ質問書ヲ出サレマシテ、衆議院ノ本會ニ於テ質問ガアリマ
シタカラ、進ンデ答辯ヲ致シテ置キマシタ、尙ホ大阪市ヨリ參リマシタ人ミト
云フ者ニモ會見ヲシクト云フコトデアリマスガ、總テノ文書ヲ示シマシテ委
曲ノ答辯ヲ致シテ置キマシタ、私ノ答辯ヲ致シマシタ以上ニ於キマシテハ、一
點タリトモ疑ヲ抱イテ居ラレル筈ハ無イト思ヒマス、是ハ來歷デアリマスカ
ラ、此機會ニ於テ一應辯明イタシテ置キマス、御尋ノ事項ノ拂下グハ出來ヌモ
ノデアルト云フコトデアリマスガ、當局ニ於テハ出來マス積リデアリマス、是
ハ今日始マッタコトデハアリマセヌ、狀況ハ皆様モ御覽デアリマセウガ、新タ
ニ鐵道ヲ改良スル爲ニハ、一部ノ線路ト云フモノハ改築ヲシナケレバナラヌ
ト云フヤウナ、又他ノ方面カラ取ツテ來ルト、是ハ改築ヲ致シマスレバコチラ
ガ不用物ニナリマス、其不用物ヲ拂下グテ居ルコトハ今日マデ其例枚舉ニ違
アラヌノデ、何ノ法規ニ基クト云フコトハ其詳シイマセウガ、貴族院議員諸君ノ
リ御答ヘスル方ガ宜カラウト思ヒマス、悉ク法文ヲ見出シテドウ斯ウト云フ
コトハ私ヨリハ専門家ガ申シタ方が宜カラウト思ヒマス、事實ニ於キマシテ
ハ決シテ怪シイコトハゴザイマセヌ、貴族院議員諸君ノ方ニ、鐵道ノ方ニ御出
デニナッタ方モ澤山御有リデアリマセウガ、斯ノ如キコトハ枚舉ニ達アラヌ、
何等怪シムベキコトデナイ、不用物ハ拂下グテ居リマシタノデアリマス、大
阪ノ市民ニ諮詢イタシタカドウカト云フコトデアリマスガ、諮詢イタシテ居
リマセヌ、先刻申シマシタ通リニ特許ノ願書ガ出テ居リマシテ、其特許ノ願書
ト云フモノ、來ク時ニハ議會開會中ニナッテ居リマシテ、誠ニ上下兩院ニ於キ
マシテ提案ノ趣旨ヲ述ベテ御協賛ヲ仰グコトニ熱中イタシテ居ルノデ、幾分
カ行政事務モ怠リテ居ルノデアリマス、此點ハ御叱リテ蒙レバ致方アリマセ
スケレドモ、實ニ日モ又足ラヌヤウニ御院又ハ衆議院ニ罷出マシテ御質問等

ニ答ヲ致シテ居リ、提案ノ趣旨ヲ述ベテ居リマス際デアリマシタカラ、其儘ニ唯府知事ヲ經テ提出ニナリ、而シテ市長ノ之ニ對スル意見書ガ申達ニナッテ、ソレマデニナッテ居リマス、ソレカラ諒問スルカドウカ、諒問シナケレバ市民ノ權利ヲ蹂躪スルト云フコトニ考ヘテハドウカト云フ、是ハ篤ト調査ヲ致シマシテ諒問スベキモノト云フコトデアリマスルナラバ勿論諒問スルコトヲ躊躇イタシマセヌ、併ナガラ諒問スル必要ナキ場合ニ當リマシテ、今日ノ世ノ中ノ人ミト云フモノハ一部ノ人士ハ動トモスレバ何カ曖昧ノコトデモアルカノ如ク想像スル者ガ多々ゴザイマスルガ、ソレ等ノ想像ガアルト致シマシタ所デ、諒問スル必要ナイト認メタナラバ當局ハ諒問イタシマセヌ、審査ノ上デナケレバ諒問スルヤ否ヤ決定ハ致サヌノデアリマスカラ、今日明カニ諒問スルトモ申上ゲラレマセヌ、第二ノ特許スル決心アリヤ否ヤ、唯今申シマシタ通リ書類ヲ受取リマシタガ、此事ハ其儘ニナッテ居リマシテ、唯兩院ノ提出案ニ忙殺サレテ居ル今日デアリマスカラ、篤ト審議ヲ盡シマシタ上ニ特許ノコトニナリマス、是ハ内務省トモ能ク交渉ヲ致サナケレバナラヌノデアリマシテ、其上ニ決定スルノデアリマシテ、今日スルトモセヌトモ御答ヘイタシ兼ネマス、第四ニハ群疑ヲ一掃スル爲ニ契約ヲ破棄スルヤ否ヤ、是ハ先刻モ申シマシタ通リニ未必ノ通牒ヲ致シマシテ若シ之ヲ拂下ゲラ受ケタイト云デコトデアルナラバ、鐵道省ハ五百七十万圓ト云フ新建設ヲシナケレバナラズ、其建設ヲシナケレバナラスト云フコトハ御前ノ方デ引受ケルト云フコトデ不用物ニナリマス、不用物ニナッタナラバ、鐵道省ハ拂下ゲラ受ケタイト云コトニナル、京阪電鐵會社ハ引受ケテモ之ヲ拂下ゲラ受ケタイト云テ居リマス、併ナガラ是ハ第一ニハ特許ヲ受ケナケレバナリマセヌ、第二ニハ鐵道省ガ計畫シテ居ル所ノ設計ト云フモノガ完全ニ仕遂ゲテシマハナケレバ、條件デアラウト思ヒマス、何レニ致シマシテモ未必ノ條件ガ附イテ居リマスカラ、ハ、仕拂ハス譯ニナッテ居リマス、斯様ナ計畫ト申シマセウカ、意思ノ表示ガアレバ契約ト申スカモ知レマセヌガ、其邊ハ民法専門家ノ考究ニ屬スルコトト云フコトヲ申サレマスルナラバ、私ハ契約ト假リニ語ヲ用ヒマセウガ……是等ノコトモ……會社ノコトハ無論御承知ノコトデアリマスガ、斯様ナ契約致シタ所ガ群疑ガアルカラト云ウテ必ズシモ破棄スルノ必要ハナイ、制規ニ基ク正當ナル目的ニ於テ意思ノ表示ヲシ、鐵道省ガ處分ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ假令如何ナル群疑ガアッタカラト致シマシテモ、公々然トシテ之

ヲ斷行スルト云フコトハ、當然當局ノ採ルベキコト、存ジマス、併ナガラ、徒ニ群疑ヲ釀シテ國民ヲ騒ガスト云フコトハ最モ慎シマナケレバナラヌコトデアリマスケレドモ、唯ダ謂ハレナク群疑ガアルカラト云テ、之ニ躊躇シテ止メテ仕舞フト云フコトハ斷ジテ當局ノ採ル所デハナカラウカト存ジマス、要スルニ是ハ條件附ノ未必ノ事柄デアルト云フコトハ御承知ノ通リデアリマス、第五ニ將來ノ法規ヲ制定スルノ意思ナキヤ、是ハ法律方面ノ専門ノ政府委員カラ御答ヲサセヤウト唯今申シテ置キマシタガ、今日ハ鐵道省ニ於キマシテ不用物拂下ゲトカ云フコトニ關係致シマシテハ、固ヨリ何等根據ナイコトハナインデアリマシテ、法律ノ範圍ヲ超越シテ、勝手次第ナル濫行ヲシテ居ルト云フノデハ決シテナイノデアリマス、此上別段ニ法規ヲ新タニ拂ヘルト云フ必要ハ當局ハ認メテ居リマセヌ、是ダケ質問ノ御趣旨ニ大體御答ヲ申上ゲタカト存ジマス。

○江木翼君 私ガ世評ノ一端ヲ申上ゲタノニ對シマシテ、餘程氣ニ掛ケテ居ラレルヤウデアリマスガ、是ハ私ガ斯様ナルコトヲ信シテ居ルト云フコトヲ申シタノデハナインデアル、世評ガ斯ノ如キモノガアル、デアルカラ國民一般モ定メシ疑ヲ懷イテ居ルデアラウカラ、我ミハ此機會ニ於テ國民ヲ安心セシムル爲ニ、此世評ト云フモノヲ究メナケレバナラヌ、ソレハ政府ノ務メデアリ又我ミ議員タル者ノ務メデアルト云フコトヲ申シタノデ、決シテ是ハ御氣ニ止メラレスヤウニ願ヒマス、私ハ決シテ偏僻ヲ以テ此問題ヲ御問ヒシテ居ルノデハナインデアリマス、唯是ハ群疑ダ、世間ガ何ト云ハウトカント云ハウト、ソンナコトヲ氣ニ止メル必要ハナイト仰シヤルケレドモ、既ニ公ノ機關デアル所ノ大阪市會ト云フモノガ一昨日ヲ以テ決議ヲシテ居ル、而カモ満場一致ノ決議ヲシテ當局ニ向ツテ意見ヲ提出スル運ビニナッタ云フヤウニ新聞デ以テ見テ居ルノデアル、決シテ茫漠タル世間ノ疑ヒト云フモノダケデハナインデアル、公ノ機關ニ於テ既ニ此問題ニ對シテ甚ダ頭ヲ痛メテ居ルト云フ事實ガアルノデゴザイマスル故ニ之ニ對シテハ國務大臣トシテ此機關ヲ尊重セラル、意味ヲ以テ相當ノ御考慮ガアッテ然ルベキコト、思フ、ソレカラデアラウト思ヒマス、何レニ致シマシテモ未必ノ條件ガ附イテ居リマスカラト云フコトヲ申サレマスルナラバ、私ハ契約ト假リニ語ヲ用ヒマセウガ……大臣ニ似合ハナイコトヲ仰シヤル、條件附契約ト云フモノモ契約デアル、立派ナ法律行爲デアル、而カモ其條件タルヤ何デアルカト申シマスルト、決シテ将来特許ヲシタナラバドウスルトカ、何トカ云フ條件デハナインデアル、現

在ノ城東線ト云フモノヲ廢止スルヤウナコトガアッタナラバ拂下ゲルト云フコトニナツテ居ル、特許ト云フモノ、條件ニシテ居ルト云フコトハ尠クモ衆議院ニ御示シニナツタ所ノ契約條件ニハ載ツテ居ラヌノデアル、而シテ此城東線ヲ廢止セラル、デアラウト云フコトハ、今回懸ツテ居リマス所ノ豫算ガ通過致シマスレバ、殆ド未必ノ條件ニアラズシテ、殆ド決リ切ッタル條件デアルト申シテ宜イ、大正十八年度ニ至レバ必ズ城東線ハ出來ルノデアル、斯ウ申シテ宜カラウト思フ、然ラバ此條件ト云フモノハ最早僅ニ一週間ノ後ニハ解除ニナル、解除條件附ノモノデアルト云フコトヲ申シテモ宜イノデアル、如何ニモ此點ニ關スル御辯明ト云フモノハ、辯明ニシテ辯明ニアラズト申サナケレバナラヌ、益以テ私ノ疑ヲ深カラシムルモノデアリマス、次ニ此法律上ノ見解ニ付テ是ハ唯今御答辯モアリマセヌデゴザイマシタカラ、他ノ機會ニ譲リマシテ更ニ攻究ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、市長ノ意見ガ出タ、多分六月十二日デゴザイマスカ、大阪市長ノ意見ガ出テ居ルヤウデアリマスカラ、之ヲ御指シニナツテ居ルコト、思ヒマス、是ガ唯ダ茫漠タル、取入レラスル場合ニハ高架線ニシテ貰ヒタイト云フ、所謂抽象的條件ヲ出シタニ過ギナイ、苟モ市會ニ諮詢スルガ如ク或ハ何ニ委員會ニ諮詢サレルガ如ク、市會トカ縣會トカニ諮詢サレル場合ニ於テハ、極メテ具體的案ヲ以テ諮詢サレルガ通常デアル、又苟モ市ニ重大ナル利害關係ガアル問題ニ付テハ市ノ言ヲ尊重セラル、ト云フコトハ、極メテ當然デアルト致シマスルナラバ、此問題ニ對シテモ極メテ具體ノ案ヲ以テ御諮詢ニナルノガ私ハ適當デアラウト思フ、然ルニ市長ガ極メテ抽象的ノ意見ヲ出シタ、是ト何等扞格スル所ガナイカラ、此拂下ゲラ決行シテ宜カラウ、如何ニモ私ハ大阪市長ヲ、甚ダ……言葉ガ足リナイカモ知レマセヌガ、ベテニ掛ケタト申シテハ失禮デアルカ知レスガ、當局ニ於テ此方針ヲ、此意見書ヲ以テ市ニ異議ナシト云フ意味ニ解セラタナラバ、是ハ私ハ甚ダ市民ヲ誣フルモノデナイカト思ヒマス、頗ル解スルコトノ出來ナイ所ノモノデアル、殊ニ立憲的ナル、自由ヲ尊重セラル、所ノ國務大臣ガ、市ニ諮詢ヲスルカシナイカ、ソレハ政府ノ都合ダ、是ハ如何デアルト思フ、當然本件ヲ決行サレル前ニ御諮詢ガアルノガ適當デアラウト事柄ニ付テ、市ニ御尋ネニナルト云フコトハ政府トシテハ私ハ重要ナル義務思フノデアル、拂下ゲラ決行スルニハ結局特許ガ出來ルカ出來ヌカ分ラヌカ

ト其條件ニスル、ソレハ唯今申上ゲタヤウニ契約書ニ特許ノコトハ何等條件トハナツテ居ラヌ、御覽ニナレバ分リマスガ、如何ニモ御答ハ私ハ一々了解ノ出來ヌコトデアル、ソレカラ第一ニ御尋ネシマシタ所ノ五月二十五日ニ條件附タリトモ、兎ニ角解除條件附ノ如ク極メテ效力ノアル所ノ契約ガ成立シテ居ル、五月二十五日ト云フ時ハ何時デアルカト云フト、此豫算案ヲ我ニハ更ニ知ラヌ時デアル、此豫算案ガ山トナルカ川トナルカ分ラナイ時ニ決行セラル、左マデ急ガル、必要ガアルヤ否ヤ、而カモ城東線ノ改良工事ト云フモノハ、大正十八年度ニ至リ今ヨリ九年ノ後ニ至ツテ始メテ完成スル、何モ鐵道ガ腐ルモノデモナケレバ、其頃ニナリマシタナラバ或ハ地價ガモウ少シ騰ルカモ知レナイ、サウ急イデ之ヲ處分セラルベキ理由ト云フモノハ少シモナイ、之ニ對シテハ何等ノ御答ガナイヤウデアリマスガ、私ハ之ヲ極論致シマスレバ、議會ニ豫算案ガ出ル、是ハ必ズ通過スルダラウカラト云フノデ、之ヲ御出シナルト云フコトハ、如何ニモ議會ノ議決權ト云フモノヲバ輕ンゼラレテ此案ヲ……此拂下ゲラ決行セラレタトスウ見ルヨリ外ナイト思フ、甚ダ我ニノ了解ニ苦シム所デアル、故ニ私ハ世間ニ於テモ斯ノ如キ事柄ヲ以テ疑ヲ起シテ居ルノデハナイカト思フ、唯今イロ／＼ノ理由事情ヲ御述ベニナリマシタケレドモ、恐ラクハ滿堂ノ諸君ニ於テモ、何等疑ヲ一掃セラル、コトハ出來ナカツタデハナイカト思ヒマス、此事ヲ調べマシテ、私ニ於テハ更ニ疑ヲ深クスルバカリデアリマス、若シ此事柄ニ付テ御辯明ガアリマスナラバ承ハリタイガ、御辯明ガナイト云フコトデゴザイマスレバ他日ノ機會ニ於テ更ニ御尋イタシマス

○副議長(候爵黒田長成君) 諸君ニ申上ゲマス、午後ハ一時三十分ニ會議ヲ開キマス、一應休憩ヲ致シマス

午後零時一分休憩

午後一時三十八分開議

○副議長(候爵黒田長成君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス
〔小林書記官朗讀〕

本日決算委員長ヨリ分科擔當委員ヲ左ノ如ク決定セル旨報告書ヲ提出セリ

第四分科

中島 永元君

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵西大路吉光君 副委員長 石塚英藏君

○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

〔政府委員佐竹三吾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(佐竹三吾君) 午前ニ江木サンカラノ御質問ガアリマシテ、之ニ鐵道大臣ガ答辯ヲセラレマシタ外ニ、私カラ補足シマシテ尙ホ御答ヲ致シタイト思フ點ガニ三アリマス、其一つハ豫算トノ關係デアリマシテ、豫算ハ御話ノ如クニ、城東線ノ高架改築ハ大正九年度ヨリ大正十八年度ニ至ルノデアリマシテ、唯今本院ニ提出ニナッテ居ル次第デアリマス、併ナガラ其豫算ノ中ニハ城東線ノ高架改築ノ外ニ、線路ノ増設ト其兩方ノ工事ニ對スル豫算デアリマシテ、此豫算ガ通過イタシマシタ曉ニ於テ始メテ高架線ノ工事ニ著手スルコトガ出來ルノデアリマス、從ツテ高架改築ノ結果不用トナル爲ニ拂下ダマスカラシテ、決シテ之ヲ鐵道トシテ處分シタモノト見ルコトハ出來ナイノデ致シテ居ルノデアリマス、若シ豫算ガ通過致シマセヌ時ニハ此約束ヲ履行スルコトハ出來ナイノデアリマス、獨リ豫算ガ成立シナイ爲ニ此約束ガ履行出来ナイノミナラズ、其外ニ線路變更ノ許可ヲ與ヘナイ以上ハ、此約束ヲ履行スルト云フコトモ出來ナイノデアリマスカラ、從ツテ鐵道大臣カラ京阪ノ社長ニ出シマシタモノハ、約束ト申シマシテモ色々ナ條件ニ掛ツテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ條件ガ全部履行サレマシタ曉ニ於テ始メテ完全ニ之ヲ履行スルコトガ出來ルノデアリマス、デ豫算ノ成立モ其條件ノ一デアルト云フコトニ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ點ハ拂下グニ關スル法規上ノ根據デアリマシテ、此點ハ鐵道トシテ之ヲ拂下ゲルト云フコトニ致シマスルナラバ、固ヨリ隨意契約ニ依ツテ拂下ゲルト云フ法規ハ無イノデアリマスガ、是ハ鐵道トシテノ拂下ゲデハナイノデアリマシテ、事ハ此申合ノ第一ノ所ニ斯ウ云フ風ニ書イテアルノデアリマス、即チ「變更工事竣工後現在線路ヲ廢シ之ヲ拂下ゲ其引渡ヲ爲スモノトス」現在ノ線路ノ營業ヲ廢止イタシマシテ、新ナル線路ニ依ツテ城東線ノ運轉ヲ致スノデアリマスカラ、廢止サレマシタ部分ニ對シテ、最早公共ノ用ニ供シテ居ルモノノデハナイノデアリマステ、是ハ普通ノ不用品或ハ不用ノ土地ト云フモノト性質ニハ變リハナイノデアリマス、然ルニ之ヲ鐵道トシテ拂下ゲルト云フコト、シテアルトスレバ、

之ヲ買受ケマシタモノガ其上ニ鐵道ノ營業ガ出來ル譯ニナルノデアリマスガ、此約束カラ申シマシテ、決シテサウ云フ事ハ舍マレテ居ラヌノデアリマシテ、其鐵道ノ營業ヲ致スニ付テハ、更ニ免許、軌道デ申シマスルニ付テ、其鐵道ニ使用スル土地或ハ土工「レール」、斯ウ云フモノヲ拂下ゲタノデアリマスカラシテ、決シテ鐵道トシテ處分デナイト云フコトハ明カナコトデアラウト思アリマス、即チ此契約或ハ申合ノ外ニ更ニ行政上ノ手續ヲ經マシテ、其上ニ鐵道ガ出來ルト云フコトノ許可ガアツテ、始メテ鐵道ノ用ヲ爲スノデアリマスカラ、決シテ鐵道トシテノ處分デナイト云フコトハ明カナコトデアラウト思アリマス、既ニ是ガ鐵道デナイン不用ノモノデアルト致シマスルト、先程御引用ニナリマシタ、土地ニ付テハ官有地特別處分規則ニ依リマスルシ、スカラシテ、決シテ鐵道トシテノ處分デナイト云フコトハナイト材ノ上カラ見マシテ隨意契約ニ致シマシテモ、少シモ違法ト云フコトハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三ノ都市計畫トノ關係ノコトデアリマスガ、是ハ鐵道大臣カラ大體ノ御話ガアリマシタガ、斯ウ云フ風ニ御考ヲ願ヘバ極メテ明瞭デアラウト思フノデアリマス、少シモ違法ト云フコトハナイトシテ居リマス區間ヲ電車トシテ運轉スル、即チ交通機關デアルト云フ點ニ於テハ、少シモ異ナッテ居ラヌノデアリマシテ、而モ今日ニ於テハ地平式ノ鐵道シテ居ルノデアリマスカラ、其鐵道ヲ今度電車ニ變ヘタト云フダケデアルカラ、何等交通機關ノ効ニ於テハ變リハナイノデアリマス、而モ之ヲ京阪電氣デアリマス、現狀ニ於テ之ヲ變更スルト云フコトハ、市ノ方カラ申シマスレバシテ居リマス、ソレカラ第二ノ點ハ拂下グニ關スル法規上ノ根據デアルカモ知レマセヌガ、兎ニ角鐵道トシテ關西鐵道以來營業イタシテ居ルノデアリマスカラ、其鐵道ヲ今度電車ニ變ヘタト云フダケデアルカラ、何等交通機關ノ効ニ於テハ變リハナイノデアリマス、而モ之ヲ京阪電氣改良ラサレルノデアリマスカラ、都市計畫トシマシテハ充分改良サレタモノデアリマス、即チ都市計畫ノ上カラ鐵道ガ蒸氣鐵道デアツタモノガ電氣鐵道ニナリ、地平式デアツタモノガ高架式ニナルト云フノデ、交通機關ノ上ニ於テハ鐵道ニ許可イタシマスル時ニハ高架式ニシテ許可イタシマスル時ニハ、高架マスルナラバ、固ヨリ隨意契約ニ依ツテ拂下ゲルト云フ法規ハ無イノデアリマスガ、是ハ鐵道トシテノ拂下ゲデハナイノデアリマシテ、事ハ此申合ノ第一ノ所ニ斯ウ云フ風ニ書イテアルノデアリマス、即チ「變更工事竣工後現在線路變更ノ會社ノ書類ヲ知事ガ申達イタシマスル際ニハ、別ニ市ノ意見ヲ公ケテ、是ハ普通ノ不用品或ハ不用ノ土地ト云フモノト性質ニハ變リハナイノデアリマス、然ルニ之ヲ鐵道トシテ拂下ゲルト云フコト、シテアルトスレバ、申達イタシタノデアリマス、大阪市ニ於キマシテモ、市長ハ之ヲ高架式ニス

ルナラバ都市計畫ノ上ニ於テ差支ナイ、斯ウ云フ意見ヲ鐵道省ニ出シテ居ルノデアリマスカラ、今回之ヲ高架式トシテ會社ニ許スト云フコトニナリマシテモ、何等都市計畫ニ支障ガアルモノトハ認メテ居ラヌノデアリマス、第三ニハ特許ノ趣旨ヲ以テ拂下グシタノデアルカ、特許ヲスルト云フ前提ノ下ニ拂下グシタノデアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、是ハ固ヨリサウ云フ趣旨デアリマス、アリマスガ手續ニ於テハ全ク別デアリマス、片方ハ不用地ノ處分デアリマス、片方ハ特許ト云フ行政ノ手續デアリマスカラ、將來特許ノ手續ヲ履行サレテ、其手續ガ支障ナシニ進行致シタナラバ、特許イタシテ差支ナイモノデアルト、斯ウ云フ考ノ下ニ拂下グノ内意ヲ漏ラシタモノデアリマス、ソレデアリマスカラ特許ノ問題ヲ全ク考ヘズニ此事ヲ極メタノデハナイノデアリマス、併シ愈々之ヲ特許スルカドウカト云フ事ニ付キマシテバ、獨リ鐵道省ノ意見ダケニ依テ極マルノデハアリマセヌノデ、地方長官ノ意見モアルノデアリマス、ソレカラ又決定ノ權限カラ申シマスレバ、内務大臣ト鐵道大臣トノ共同ノ所管事項デアリマスルカラ、鐵道大臣ダケノ考デ之ヲ極メルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ將來特許ヲ致シテ差支ナイト云フコトニ極マレバ、始テ此申合ト云フモノガ完全ニ效力ヲ生ズルコトニナルノデアリマスカラ、特許ノ事ノ趣旨ハ、固ヨリ處分スル時ノ考ガアッタノデアリマスノデ、是ハ確定的ノモノデナイト云フコトハ唯今申上グマシタコトデ、略明カデハナイカト思フノデアリマス、其他ノ點ニ付キマシテハ既ニ鐵道大臣ヨリ御答ガシテアルト思ヒマス

○江木翼君 鐵道大臣ヨリ午前ニ御答ヘニナリマシタ所ニ依リマスレバ、法律ノ問題ニ付テハ政府委員ヨリト云フコトデアリマシタガ、唯今政府委員ノ御答辯ハ其以外ノ點ニモ、頗ル瓦ツテ居ルヤウデアリマス、且ツ午前ニ更ニ私ガ再質問ヲ致シマシタニ付テハ、鐵道大臣ヨリハ何等ノ御辯明ハ無イノデアリマス、唯今ノ御答辯ト言ヒ又午前ノ御答辯ト言ヒ、私ガ疑テ居リマス點ニ付テ更ニ觸レテ居ラヌト思ヒマス、私ハ大正十八年マデ待タナケレバナラヌト云フコトハ、必ズシモ改正ニハナラヌトハ斷定シナイノデアリマスガ、併シテ、之ヲ決メナケレバナラヌ、如何ニモ議會ノ議決權ト云フモノヲ尊重セナガラ未ダ豫算ガ決ラヌ、今豫算ヲ議シテ居ル最中デアル、ソレヨリ二月モ前ニ此問題ヲ卒然トシテ決メナケレバナラヌ程ノ緊急ヲ要スルモノデアルカ、大正十八年マデ待タナクモ、大正十五年、十六年マデハ掛ルモノト見ナケレバナラヌ、今御説明ニナリマシタ所ノ高架線ナリ複々線ナリニハ二千

二百万圓ノ工事デアル、二千二百万圓ハ多分可決サレルコトデアリマセウ、恐ラク可決サレマセウ、而シテ之ヲ實行スルニ付テハ何モ會社カラ出ス所ノ豫算ハ未ダ決ラナイ中ニ、急遽トシテ五月二十四日ニ此契約ヲ爲サラナケレバナラヌト云フ必要ガ何處ニアルカ、鐵道ト云フモノハ營利的ノモノデアルテ、一方ガ成ツテソレヲ本線ニスレバ一方ヲ廢線ニナツタ曉ニ於テ、サウシテ若シ此舊線路ノ中ニ土地收用法ニ依テ收用サレタト云フヤウナモノガアルト云フヤウナ場合ニ於テハ、寧ロ私ハ舊所有者ニ返サレルガ當然デアラウト思フ、道徳上ノ義務トシテ、假令土地收用法ノ六十六條ノ二十年モ經過シタモノト雖モ舊所有者ニ返スハ、蓋シ政府トシテハ爲スベキ義務デナイカト思ヒマス、河川法ニ付テ廢用ニナツタモノニ付キマシテハ、之ヲ舊所有者ニ返ス、或ハ道路法ニ付テハ略同様デアル、其他苟モ公用ヲ廢スルト云フヤウナモノ、或ハ特有ノ主ナル財產ニ付テハ、必ズヤ法規ヲ根據トシテ、公有林野法ニシテモ、或ハ北海道ノ未開地處分法ニシテモ根據ガアル、ソレヲ如何ニモ泡ヲ喰ツテ未ダ豫算ガドウナルカ分ラヌ中ニ、之ヲ一私設會社、而モ大臣トハ極メテ懲意ナル所ノ人ガ社長ヲシテ居ル所ノモノニ、拂下グナケレバナラヌト云フ緊急ナル事由ト云フモノハナイト思フ、我ハ之ヲ了解スルコトガ出来ナイ、ソレ等ハ豫算ヲ通過スル所ノ條件デアルト、是ハ成程條件デゴザイマセウ、ソレニ達ヒナイト思ヒマスルガ、苟モサウ急ガナイモノナラバ、豫算ガ通過シタ後、或ハ公用ヲ廢シタル後ニ、會社ノ事業ニ移シテ遲シトシナイ、會社ガ其線路ヲ會社ノ經營ニ移シテ此事業ヲ經營スルト云フ場合ハ、是ハ三年五年ノ先デアリマス、是ハ必ズヤ政府ニ於テ非難サレルニ違ヒナイ、ソレヲ今日ニ於テ急遽トシテヤルト云フコトハ、如何ニモ可笑シイデハナイシテ、マダ豫算ガ成立シナイノニ、而モ目曉ノ間ニ迫ッテ居ル議會ノ開會ヲ前ニシテ、之ヲ決メナケレバナラヌ、如何ニモ議會ノ議決權ト云フモノヲ尊重セラレナイ所ノ憾ミガアル、此點ハ頗ル重要ナコトデアリマスガ故ニ、斯ル場合ニ於キマシテハ、一政府委員ヲ御出シニナラズニ國務大臣ヨリ御辯明ニナシテ、之ヲ決メナケレバナラヌ、如何ニモ議會ノ議決權ト云フモノヲ尊重セルコトガ至當デアルト思ヒマス、ソレカラ線路ノ許可ヲ要スル、或ハ特許ヲシナケレバナラヌ、固ヨリサウデアリマス、デ斯様ナル手續ヲ要スルモノデアルノニ、何故ニ唯一大臣限リデ之ヲ御拂下グニナツタカ、内務大臣ニ協議セアルバナラヌ、其他協議ヲセラルベキモノガ多々アルニモ拘ハラズ、獨

斷的ニ御拂下ダニナルト云フニトガ如何ニモ可笑シイ、凡ソ行政官廳ノ仕事ト云フモノハ我モ長イ經驗ガアルノデアリマスガ、必ズ仕事ノ間ニ十分圓滿ナル所ノ協調ヲ遂ゲタ上ニ處分ヲスルト云フノガ、至當デアルト思フ、而モ何等ノ協議ナシニ、而シテソレハ法律上ノ條件デアルト云フノハ如何ニモ可笑シク感ゼザルヲ得ヌノデアル、ソレカラ法律問題、成程契約ノ文面ニ依リマスルト、竣工後ニ廢線トシテ拂下ダル、文面通リデ見マスレバ如何ニモ公用ヲ廢シテ之ヲ下ダルト云フヤウニ見エル、併ナガラ一旦條件附ニ拂下ダルシテ置キ、線路ハ變更ノ許可ヲ後カラスルノデアル、サウスル豫定デアル、少クトモ豫定デアルト云フコトヲ仰シヤッタ、ソレカラ許可ヲスルコトノ豫定デアルト云フコトヲ仰シヤッタ、變更スル、特許ヲスル、サウシテ線路及びニ必要ナル所ノ「レール」ヲ拂下ダル、枕木ヲ拂下ダル、是ガ何デ其ノ公用ヲ廢シテ拂下ダルト云フコトデアルカ、斯ノ如クシテ法律ヲ潛ルナラバ何デモ潛レル、鐵道ト云フモノハ元來箇々ノ財產トシテ分チマスレバ、「レール」ヲ僅カニ二十尺カ三十尺ニ分ケルコトガ出來ル、土地ヲ分ケルコトモ出來ル、枕木ハ枕木デ分ケルコトガ出來ル、或ハ停車場敷地モ分ケルコトガ出來ル、如何ニデモ分ケルコトガ出來ルノデアルカラ、是ハ別ニ鐵道其物ヲ賣ルノデハナイ、斯ウ云フコトデアリマスレバ、如何様ニシテモ私ハ鐵道ヲ賣ルコトガ出来ルコトノ通路ガアル、是ガ抑、法律ト云フモノヲ曲解スル所以デハナイカト、斯様ニ私ハ思フノデアル、而モ唯今御承認ニナリマシタ所ノ、官有地特別處分規則ト云フモノ、第一條ノ第一號ト云フモノヲ讀ンデ見マスト、「第一條 内務大臣ハ左ノ場合ニ限り官有地ヲ競争ニ付セズ隨意ノ契約ヲ以テ貸渡又ハ賣渡スコトヲ得」直接公用ニ供スル爲又ハ公共ノ利益トナル事業ノ爲府縣郡市町村及公共組合又ハ其ノ他ノ起業者ニ官有地ヲ貸渡又ハ賣渡ストキ」認メラレテ居ルガ、其公用ヲ廢シタ場合ニ於テハ是ハ内務大臣ニ返スノデ、必ズ内務大臣カラ賣ルノデアル、其爲メノ規定デアル、假ニ特別會計デアルカラ、是ハ内務大臣ノ代リニ鐵道大臣ガヤルノダト云フヤウナコトヲ仰シヤッテハ、ソレハ私ハ許スコトハ出來ナイコトデアルト思フ、其規定ヲ以テ之ヲ曲解セラル、ト云フコトハ甚ダ私ハ當ヲ得ナイ、此事タルヤ法規ニ照シテ違反シテ居ルト言ハザルヲ得スト思フ、ソレカラ市ニ對シテ諮詢ヲシナイケレドモ意見ガ出テ居ル、是ハ私ハ實ニ驚入ツタ話ダト思フノデアリマス、サッキ

モ既ニ申シマシタ大阪市長ハ成程高架線引入ノ場合ニハ高架線ニシテ吳レト云フ希望ニ出テ居ルノデアリマセウ、併ナガラ此線ガ拂下ダニナルト云フコトハ承知シテ、斯ノ如キ意見ヲ出シタノデハナイト云フコトハ明白デアル、而モ其後ニ至リマシテ、此契約ガ出來タト云フコトヲ大阪市長ニ於テ仄聞ヲ致シマシテ、更ニ意見書ヲ出シテ居リマス、大阪市長ニ於テハ必ズ此點ヲ遺憾ニ思フデアラウ、否大阪百六十万ノ市民ト云フモノガ斯ノ如クニシテ市民ノ自治ノ權能ト云フモノガムザムザ蹂躪サレル形ニナルト云フコトハ、如何ニモ憤懣ヲスル所デハナイカト思フ、私ハ此場合ニ於テ當局ガ如何ニモ輕卒ナ處置ノアッタ、如何ニモ法規ニ據ル所ガ明確デナイ、ドウモ惡ルカッタコトハ惡ルカッタト極メテ坦壊ニ仰シヤッテ、而シテ取消スペキモノハ取消スト云フコトヲ明白ニ仰シヤルノガ、蓋シ至當ナコトデハナイカト思フ、多少意見ニ瓦ツテ居ル點モアルカモ知レマセヌカラ、必ズシモ御答辯ガナケレバナイデ宜シイノデゴザイマスガ、極メテ責任ノアル御答辯ヲ私ハ伺ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(佐竹三吾君) 唯今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、先づ第一ニ、此處分ガ果シテドウ云フ利益ヲ政府ニ與ヘルカ、又ドウ云フ利益ヲ會社ニ與、ヘルカト云フコトノ内客ニ付テ、一應御話スル必要ガアルト思フノデアリマス、何故カナラバ、恰モ之ニ依ツテ政府ハ會社ニ對シテ特別ノ利益ヲ與ヘタカノ如クニ誤解サレテ居ル點ガアルカラデアリマス、此處分イタシマスル不用地ノ延長ハ一哩六十鎖デアリマシテ、土地ノ坪數カラ申シマスレバ二万三千坪餘リデアリマス、之ヲ今日ノ時價ニ依ツテ即チ不用地トシテ處分スルモノトシテ評價イタシマスレバ、全體ニ於テ三百三十万圓乃至三百五十万圓ノ値打シカナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ政府ガ他ニ高架線ヲ設ケマシテ此不用地ヲ不用地トシテ處分ヲ致シマシタナラバ、三百三十万圓乃至三百五十万圓ノ價格ノモノトシテ賣拂フコトガ出來ルト思フノデアリマス、何故カナラバ土地ト申シマシテモ非常ニ帶ノヤウナ細長イ土地デアリマシテ、一部分ハ市内ニ這入ツテ居リマスガ一部分ハ郊外デアリマス、然ルニ之ヲ若シテハ、ソレハ私ハ許スコトハ出來ナイコトデアルト思フ、其效用ハ餘程多クナルノデアリマス、何ソレデアリマスカラシテ、政府トイタシマシテハ、現在ノ線路ニ代ハルベキ新ラシイ高架ノ線ヲ得ルゴトガ出來マシタナラバ、之ニ依ツテドウ云フ利益ガアルカト申シマスレバ、政府自ラガ城東線ヲ高架線ニ改築スル計畫ガアッテ、

其豫算ヲ請求シテ居ルノデアリマスカラ、其結果ハ四百万圓餘リノ改築費ヲ出サナケレバナラヌノデアリマス、其四百万圓程ノ改築費ヲ出ス代リニ、ソレダケノモノヲ別ニ他人ガ提供イタシマシテ、而シテ現在不用トナッタモノヲ處分イタシマスレバ、詰リ政府ハ之ニ依ッテ、四百万圓内外ノ改築費ヲ節約スルコトガ出來ルノデアリマス、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、政府ニ取リマシテハ、是位有利ナコトハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、會社トシテ考ヘテ見マスレバ、成程梅田……梅田附近ニ線路ヲ乗入レルト云フコトハ、將來ニ於テハ、餘程ノ利益ヲ持來スト云フコトハ、想像出來ルノデアリマスガ、併シ此利益ハ會社或ハ會社ノ株主ノ利益トナルノデナクシテ、大阪市民或ハ大阪市外ニ住居シテ居ル者ノ利益デアル、即チ市ノ内外ニ瓦ル所ノ交通機關トシテ、其起點ガ國有鐵道ノ梅田驛ニ起ルト云フコトハ、其電車ヲ利用スル者ニ取ツテ、非常ニ利益デアリマス、決シテ是ハ會社ノ利益或ハ株主ノ利益ト云フ譯デハナイノデアリマス、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、交通機關ノ系統カラ申シマシテモ、梅田附近ニ乗入レヲスルコトガ出來ルヤウニスルコトハ、是ハ交通政策上最モ適當ナ處置ト申シテ宜イノデアリマス、ソレニ對シテ會社ハ大體鐵道省ノ不用ニナリマシタモノヲ買フ、買フガ、五百七十萬圓ヲ出シタヽケデハ是ハ濟マヌノデアリマス、更ニ之ヲ高架ニ改築スル爲メニ三百萬圓乃至四百万圓程費用ガ要ルノデアリマスカラ、結局九百万圓餘リノ費用ヲ以テ、今回ノ拂下ザヲ受ケル、城東線ノ利用ガ出來ルコトニナルノデアリマス、會社ト致シマシテハ是ハ餘程大ナル負擔デナイカト思フノデアリマス、大ナル負擔デハアリマスルガ、將來交通上ノ便宜ヲ計ルト云フ上カラ申シマスレバ、他日ニ之ヲ償フ所ノ利益ガアルデアラウト思フノデアリマス、又ソレダケノ利益ガナイヤウナコトデアリマスレバ、大阪市ノ發達ガソレダケ少或會社ニ對シテ特ニ利益ヲ與ヘル爲メニシタノデハナイト云フコトハ、特ニ明カニスル必要ガアルノデアリマス、ソレカラ豫算ドノ關係ニ付キマシテバ、私ガ先程申上ゲマシタ點ハ、少シ足リナイ點ガアルノデアリマス、ソレハ今回ノ豫算ガ成立イタシマシタナラバ、高架改築ノ工事ガ九年度ヨリ着手致シマスノデアリマスガ、此拂下ノ約束ヲ履行致シマスル結果ハ、九年度ニ於テ直チニ其效力ガアルノデアリマス、固ヨリ此契約ト共ニ乗入ノ許可ヲ與ヘ

バ、全部ノ條件ガ揃ツタ上ノ話デアリマス、揃ツタ上デ此契約ヲ履行スル時ニハ、直チニ變更スベキ線路ノ用地ノ買收ヲスル、其用地費ハ會社カラ拂フ、ソレカラ土工ヲ請負フニハ其請負ノ代金ハ會社ガ拂フト云フ譯デアリマスカラ、決シテ此約束ト云フモノガ數年ノ後ニ至ツテ、法律上效力ヲ生ズルモノデハナクシテ、契約ガ成立シタナラバ直チニ工事ニ著手イタシマシテ、直チニ會社ガ金ヲ拂フト云フコトニナルノデアリマスカラ、決シテ數年ノ先キヲ豫想シタモノデハナイノデアリマス、ソレカラ此五月二十日付デ鐵道大臣カラ出シマシタモノガ果シテ契約ノ申込デアルカ、其受書ガ承諾シタノデアルカト云フコトニ付キマシテハ、法律上ノ議論トシテハ色々アルカ知レマセヌガ、是ハ大體ノ申合ニ過ギナインデアリマス、拂下ノ契約ト致シマシテハ會計規則ノ上ニ於テ、契約ノ締結ニ付テハ一定ノ法式モアリマス、又約束スベキ條項ト云フモノハ是ダケデハ足リナインデアリマシテ、唯其契約ノ内容トナルベキ大體ノ方針ヲ茲ニ極メタダケデアリマスカラ、詰リ政府ノ方針ヲ發表シタノデアリマス、會社ニ於テモ其政府ノ方針ニ對シテ大體差支ナイト云フ大體ノ意思ヲ發表シタモノデアッテ、固ヨリ意思ノ合致ハ認メルノデアリマスガ、是ハ直チニ契約デアルト云フコトヲ以テ、會計法ノ上デハ、申スコトハ出來ナインデアリマス、ソレカラ官有地特別處分規則ノ適用ハ内務大臣ノ權限デアルト云フ御話デアリマシタガ、鐵道用地ノ不用ニ歸シタモノニ付キマシテハ、之ヲ内務省ノ所管ニ管理換ラセズシテ、鐵道長官ガ直チニ處分シテ宜シイ、斯ウ云フコトニ政府ノ内定シテ居ルノデアリマス、其定リ方ガ數十年前カラ定シテ居リマシテ此廻リニ實行イタシテ居ルノデアリマスカラ、内務省ニ管理換ラシテ處分スル必要ハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ市長ノ意見デアリマス、唯今江木サンハ市長ハ城東線拂下ゲト云フコトハマルデ知ラナシタ書面ヲ茲デ朗讀ライタシマスガ、是ニ依リマスルト
頃者鐵道省ニ於テ國有鐵道城東線ヲ高架ニ改築セラル、ト共ニ其ノ線路ノソシハ事實ニ大ニ反スルモノデアリマス、六月十二日附デ大阪市長ノ出シマニ會社ノ高速電氣軌道ノ敷設ヲ許可セラル、方針ヲ以テ御詮議相成居候哉多言ヲ要セザル所ニ有之從テ該線路筋ニ地平軌道ノ敷設ヲ許可セラル、如

キハ萬々有之間敷ト被存候得共若シ前陳ノ通御詮議中ナリトセバ其工事施行ニ就テハ市内ニ現存スル一切ノ道路、市營電氣軌道並既定市區改正路線ト水平交叉ヲ爲サル構造トセシメラレ度尙市ノ郊外ト雖近ク開發ノ見込アル地域ニ對シテハ將來其ノ開發ノ實況ニ依リ地平軌道ヲ他ノ方式ニ改築セシメ得ル様條件ヲ附セラレ候様致度

斯ウ云フノデアリマスカラ、城東線ノ何處ノ部分ガ拂下ゲニナルノデアルカト云フコトハ、市長ハ極メテ明瞭ニ知ッテ居ルノデアリマス、サウシテ其拂下ゲヲ受ケマス相手方ガ會社デアルト云フコトモ知ッテ居ルノデアリマス、唯何大體ニ於テハ十分承知シテ居ルモノト言ツテ差支ヘナイト思フノデアリマス、サウシテ是ハ大阪市内ダケ高架ヲ許シテ貰ヒタイ、大阪市外ハ地平式ヲ許シテモ、他日之ヲ高架ニ改築シ得ルヤウ命令ニ、或ハ條件ヲ附シタナラバ差支ヘナイト云フ意見デアリマスカラ、大阪市長ノ意見ハ、此問題ニ付テハ決シテ概括的ノ意見デハナクシテ、城東線處分ニ關シテ具體的ノ意見デアルト云フコトハ少シモ疑フ餘地ノナイノデアリマス、ソレカラ六月三十日ニ引續イテ出シマタ意見ナルモノハ、是ハ一般的意見ヲ書イタモノノデアリマス、是モ念ノ爲メ申上ゲマシタ方ガ事情ガ明カニナラウト思フノデアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ著ク〕

近時本市ヲ中心トスル高速交通機關ノ企圖ヲ爲ス者渺カラザルヤニ聞及候處本市ニ於テハ豫テ市ノ内外ニ瓦ル高速交通機關ノ路線選定及各線路ノ聯絡ノ問題ニ關シ帝國鐵道協會及土木學會ニ其ノ調査ヲ委託シ兩學會ニ於テハ目下之レガ攻究中ニシテ不日其ノ調査終了ノ上ハ公私營ノ孰レヲ問ハズ之ニ準據セル路線ヲ敷設シ交通機關ノ完成ヲ期シ度意見ニ有之候ニ就テハ本市ニ關係アル高速路線ノ特許ハ其ノ時機迄延期セラレ且ツ特許ノ際ハ本市ノ意見ヲ徵セラレ候上御處理相成候様致度事情具陳茲ニ意見書及提出候是ハ六月十二日ノ意見ヲ或ハ取消シタカノ如ク見エルノデアリマス、併ナガラ又見方ニ依リマシテハ全然別ノ意見デアル、七月十二日ノハ城東線ト云フモノニ對スル具體的ノ意見デアル、ソレカラ三十日ノハ是ハ一般ノ意見デアリマス、一般ト言ヒマスルノハ大阪市内外ニ瓦ル高速度電車ノ架設ヲ許可セムトスル場合ニハ、大阪市ノ意見ヲ聞イテ貰ヒタイト云フコトハ、都市計畫

ソ濟ム迄待ツテ貰ヒタイト云フ、斯ウ云フコトデアリマス、現在交通機關ノ無イ處ニ新ナル特許ヲスルトキニハ、現ニ城東線ノ如ク鐵道ガ運轉サレテ居ル、唯其動力ガ電氣ニ變ハリ、軌道會社ガ變ハル、斯ウ云フコトニ就テハ問題ニナツテ居ラナイ、ソレカラ六月十二日ノ意見ニ於テ既ニ盡キテ居ル所デアルテ、ソレニ對シテ別ニ新特許ヲ與ヘムトスルトキニハ、都市計畫ニ關係ガアルカラ、其計畫ガ決マルマデ待ツテ吳レ、斯ウ云フ意見トモ見エルノデアリマス、其點ハ多少疑ヒガアルノデアリマスガ、大阪市長ガ前後矛盾シタ意見ヲ僅カ二十日ノ間ニ出ス譯ハナカラウト思ヒマス、此意見デ見マスレバ兩立ヲシテ、即チ少シモ矛盾ハアリマセヌ、城東線問題ハ宜シイ、其他ノ問題ハ斯ウシテ下サイ、斯ウ云フ意見デアルト見テ差支ヘナイト思フノデアリマス、併ナガラ之ニ依ツテ市ノ意見ヲ諮詢スルコトヲ止メルトカ止メストカ申スノデハマリマセヌ、此點ハ既ニ大臣カラ御答ヘニナツテ居ル通リデアリマス○江木翼君 實ニ驚キ入ツタ御答辯ト承ハリマス、マルデ政府ハ一ツノ商店デアルカノ如キ御考デアル、會社ガ……今後國家ガ儲ケル、實ニ私ハ驚入ツタ御言葉デアルト思フノデアリマス、又而モ會社ガ餘リ利益ヲシナイト云フノハ、何ヲ根據ニ仰シヤルノデアリマスカ、唯獨斷デアル、或風説ニ依リマスレバ、若シ會社ニシテ其城東線ニ當リマスル所ニ新線ヲ新ニ造ル場合ニ於キマシテハ、千五百万圓ヲ要スルデアラウ、唯假リニ五百七十萬圓トシテ三百万圓ノ工費ヲ掛ケテモ尙ホ五六百万圓ノ利益ガアルト云フコトスラ傳ヘラレテ居ル、然ラバ五百七十萬圓デ拂下ゲテ仕舞フト云フコトハ、消極的ニ申セバ會社ニ莫大ナル利益ヲ與フルノデアル、併ナガラ私ハ是ハ單ニ風説デアルト云フコトデアリマスカラ、此計算ハ信ズルモノデハアリマセヌ、アリマセスト同時ニ、會社ガ決シテ利益ヲスルモノデナイト云フコトヲ政府ガ仰シヤルコトハ、又單ニ一ツノ獨斷ニ過ギナイト云フノ外ナイ、ソレカラ又政府ハ是ガ爲ニ莫大ナル利益ヲ受ケル、利益ヲ受クルト云フコトハ何ヲ根據ニ仰シヤルカ、假リニ此線ガ廢線ニナル、面シテ是ガ競爭入札ニ依ツテ賣買サレルト云フ場合ニナツテ、果シテ其價ト云フモノガ今日ヨリ安イト云フコトガドウシテ言ヘルカ、掛ケテ見ナケレバ分ラナイ、縱シ夫等ノコトハ全然獨斷デアルトシマシテ、假リニ國家ガ非常ナル利益ヲ得ル、或ハ會社ハ大シテ利益ヲ得ナイ、リマス、一般ト言ヒマスルノハ大阪市内外ニ瓦ル高速度電車ノ架設ヲ許可セムトスル場合ニハ、大阪市ノ意見ヲ聞イテ貰ヒタイト云フコトハ、都市計畫

フコトハ、恰モ議會ノ議決權ヲ蹂躪スル、爲ニ國家ガ多少ノ利益ヲ得ル、斯

ウ云フコトニナル、或ハ之ヲ隨意契約ニスレバ國家ハ利益ヲスルガ、會社ハ甚ダ利益ヲシナイ、ソレガ爲ニ一ツモ龍斷ヲシナイデ宜イト云フコト、斯ウ

云フコトハ……利益デアル、會社ハ不利益デアル、議會ノ議決權ヲ蹂躪シテ

モ宜イ、斯ウ云フ結果ニナルガ、國家ガ爲スベキ仕事ト云フモノハ決シテ左

様ナ計算ヅクナモノデナイト思フ、議會ノ議決權ヲ十分尊重セラレルガ宜カ

ラウ、又市會ノ自治權ナルモノヲ十分ニ御尊重ニナラナケレバナラヌモノト

思フノデアリマス、斯ノ如キコトヲ御答辯ナサルコトハ私ハ聽クスラ甚ダ苦

苦シク思フ次第デアリマス、ソレカラ是ハ契約デハナイ……如何ニモ不思議

千萬ナ話デ、法律上ノ問題ト致シマシテハ如何ナル形式デアラウト何デアラ

ウト、今日ノ民法其他ニ於キマシテハ、意思ノ合致アリト云フコトデアリマ

スレバ、立派ナ法律行爲ニナルノデアリマス、合意ガ立派ニ成立シテ居ル、

法律上ノ結果ヲ齊ラシマシタ合意ト云フモノガ立派ニ成立シテ居ルモノト認

メザルヲ得ヌノデアリマス……形式ヲ取ヅテヤル所ノ法規ト云フモノハ、我ガ

帝國ノ民法ニハナインデ、特別ノ場合ハ別ト致シマシテモ……、ソレカラ市

長云々、六月十二日ヤ六月三十日ニ、抑、契約ヲナスッタノハイツデアルカ、五

月二十四日デアルガ、六月十二日ニナツタ、三十日ニナツタ、如何ナル事件ニ出

ラレタト云フコトハ蓋シ明白ナコトデアル、ソレハ抑、自治權ノ尊重セラレル

所以デハナインデアル、又細末ニ瓦リマシテ議論スベキコトハ多々ゴザイマ

スルガ、要スルニ意見ノ相違デアルト云フヤウナ御議論モ出マセウ、私ハ

敢テ此議場ニ於テ全部論究シナケレバナラストハ思ヒマセヌガ、特ニ茲ニ重

要ナル問題ハ鐵道大臣ニ承ハリタイノデゴザイマスガ、既ニ政府ニ於テハ是

ハ契約デハナイ、何等法律上ノ效果ヲ有スルモノデハナイ、斯ウ御認メゴザ

イマスナラバ、唯一ツノ單獨ノ意思表示デ會社ノ方デ單獨ノ意思表示ヲヤッタ

譯ダ、何モ是ハ政府……國家ヲ羈束スル所ノモノデナイト云フ御考デゴザイ

マスルナラバ、斯ノ如キ問題ニ對シテ何モ御躊躇ナサル必要ハナイ、是ハ御

取消ニナルカ、私ドモハサツサト御取消ニナツテ然ルベキモノト思フガ、之ヲ

御取消ガナイノデアリマス、而カモ法律上ノ效果ヲ有シナイ所ノ意思表示デ

アルナラバ、取消シヲナサルニハ御便宜デアラウ、些ノ躊躇ヲ要シナイコト

ト思ヒマスガ、之ニ對スル大臣ノ御答辯ハ如何、之ヲ承ハリタイノデアリマ

ス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 唯今特ニ契約ト云フコトニマデナラヌト云フモノナラバ、ナゼ取消サヌカト云フコトヲ特ニ御尋ネデゴザイマス、私ハ先刻來法律ノ問題等ニ瓦リマシタ事柄ハ、政府委員ヨリ申上ゲマシタ方ガ、私ヨリハ確實ニ申上ゲルコトガ出來ヤウト思ヒマシテ、代々御答辯ヲ申上ゲサシタノデゴザイマス

「江木翼君」モウ少シ御高聲ニ願ヒマス」ト呼フ」

政府委員ノ答ヘマシタ外ニ、何故ニ突如トシテ急ガレテ斯様ナ通知ヲ發シタカト云フコトデ、如何ニモ急イデ私ガ殊更ニ發シタヤウナ御尋デゴザイマシタ、決シテ殊更ニ急イダト云フ譯デモアリマセヌ、ソレハ二月ニ始テ居リマシテ、成程私ガ就任致シマシテカラ日モ淺ウゴザイマスケレドモ、案件ノ申告ヲ致シマシタノハ二月デゴザイマス、而シテ諸案ノ調査等ガ出來テ居リマシテ九年度ヨリ豫算ニ請求スルコトニモ相成テ居リマスシ、不利益ナコトデアルトカ云フヤウナコトデアリマスナラバ、暫ク止メテ置イテ引張ッテ置クコトデゴザイマスルガ、大體此拂下ゲト云フコトニ關係致シマシテハ、江木君トハ見解ヲ異ニシテ居ルノデゴザイマス、改良工事ト致シマシテ改築ヲ致サナケレバナラヌコトト決ツテ居ル、是ニ付イテハ少ナク見積リマシテ五百七十一万圓デゴザイマス、此五百七十万圓ト改良ノ上ニ豫算ヲ申上ゲマシテモ中々小サイコトデハゴザイマセヌ、是ガ幸ニ不用物ニ依ツテ出來ルト云フコトナラバ、鐵道省ニ取ツテ大ナル利益ト心得マシテ、拂下ゲラシテ見ナケレバ果シテ何程ニナルカ、損ニナルカ得ニナルカ分ラヌデハナイカト云フ御質問ハ御尤デゴザイマス、期日マデモ確定致シマシテ拂下ゲラ見ナケレバ分リマセヌ、城東線ガ廢線ニナツタモノハ唯、入札バカリ致シマシテモ免ニ角五百七十万圓ト云フ價格ニハ断ジテナラナイト云フ當局ハ確信ヲ有ツテ居リマス、唯茲ニ京阪鐵道電鐵會社ガ自己ノ首ヲ出シタイト云フ熱望カラシテ、是デモヤリタイト云フ希望者ガ現ハレタノデアリマシテ、一般的ノ入札ナラバ、不用物ヲ入札致スルカラシテ、種々ナル未必ノ條件ガアリマシテ左様ナル希望者ガアルノデアリマスルナラバ、斯ノ如キ問題ニ對シテ何モ御躊躇ナサル必要ハナイ、是ハ御

取消ニナルカ、私ドモハサツサト御取消ニナツテ然ルベキモノト思フガ、之ヲ信致シテ居リマス、幸ノコトデアリマシテ左様ナル希望者ガアルノデアリマスルナラバ、取消シヲナサルニハ御便宜デアラウ、些ノ躊躇ヲ要シナイコト思ヒマスガ、之ニ對スル大臣ノ御答辯ハ如何、之ヲ承ハリタイノデアリマ

セバ法律上契約ダト云フ御見解デゴザイマスルガ、ソレハ何レニ御見解ニナッテモ宜シウザイマス、鐵道省ハ左様ニ意思表示ヲ致シタノデアリマス、是ハ何モ不都合ナコト、私ハ少シモ考ヘマセヌ、議院ト云フモノニ豫算ヲ出シテ置イテ無視シタト云フ仰セデアリマスルガ、豫算ヲ出シテアリマシテモ、國家ニ利益ノコトガ起リマシタナラバ、ソレヲ通過ヲ條件ト致シマシテ、通過セヌ時ニ無效ニナッテ來ル意味ニナリマスケレドモ、幸ニ通過スル上ニ於テハ誠ニ國家ノ利益ニナルヤウナ豫約デアリマスルナラバ、申合シタ所ガ何等不都合ナコトハナイト云フ見解ヲ當局ハ有ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ大阪市ニナゼ諮詢セヌカ、是ガドウカ篤ト私ノ先刻ノ答ヲ御聽取リヲ願ヒタウゴザイマスガ、拂下ノ出來ルカ出來ヌカト云フコトノ未來ノ事ヲ申シテ來タニ付イテ、斯クスクスレバ拂下グニ異議ガナイト云フ書面ヲヤリマシテ、一方ハ是ヲ御請ケヨ出シテ尙ホ大體覺書ノヤウナモノデアリマスルカラシテ、細目ニ瓦ツテ決定シテ居ラナイ、唯大綱ダケノ腹ヲ極メルダケノモノニナッテ居リマス、完全ナル契約ニモ何ニモナッテ居リマセヌ、ソレデ之ヲ送リマシタ所デ大阪府知事ノ方デ特許ヲ得タイト云フ願書が出テ參リマシテ、其願書ガ出テ參リマシタガ、當時議會中デアリマシタカラ、其儘ニナッテ居リマスト云フコトヲ先刻申上ゲマシタ、其儘ニナッテ居ル中ニ市長カラ斯様斯様ニ申シテ來テ居リマスト云フ經過ヲ申上ゲタノデ、大阪市ニ斷ジテ諮詢セヌト決シテ申上ゲマセヌ、先刻ハ諮詢スルトモセヌトモ法規其他ノ例規等ヲ取調ベマシテ、内務大臣トモ能ク審議ノ上ニ何レニカ決定ヲ執ルデアラウ、諮詢スペキモノ諮詢スルノ必要ナキモノ、又諮詢スペカラザルモノ、若シ諮詢スルノ必要ナキモノトナリマシタナラバ、一部ノ人民ニハ其意ヲ得ヌヤウニ思フカ知リマセヌガ、又諮詢スペキモノト決定致シマシタ時ニハ諮詢スルトス様ニ申上ゲタノデ、絶對的ニ諮詢セズシテ特許ヲ與フルトカ云フヤウナコトハ、今日ノ途行ニアッテ、願書が出テ居リマス、其儘ニ鐵道省内務省ニ在ツテ、議會ノ爲ニ忙殺サレテ其儘ニナッタト云フ經過ヲ申上ゲタノデアリマセウ、篤ト審議ノ上ニ是ハ決定スル積リデアリマスト云フコトヲ申上ゲタスカラ、是ハ御承知ヲ願ヒマス、諮詢セヌト茲ニ斷定シタノデハアリマセアル、ソレカラ最後ニ何故取消サヌカト云フコトデアリマス、私ハ豫定ノコトガ其通りニ……此豫算ト云フモノモ不幸ニシテ通過モ致サヌトスレ

バ、是デモ無效ニナッテ仕舞フ、ソレカラ特許ト云フモノヲ與ヘヌト云フコトノ結果ニ陥レバ是亦無效ニナル、覺書ノヤウナ意思表示ヲ送ツテ、一方ニ於テモ先ヅ大體此位デ自分ガヤリタイト云フコトノ御請ケト云フコトガ出タノデ、今日ニ至ツテ取消サナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メテ居リマセヌ、場合ニ依ツテ行ハレヌコトニナレバ取消サヌデモ無效ニナル、又取消シヲ必要ト認メマシタナラバ取消スカモ知レマセヌガ、今茲デ取消サナケレバナラヌト云フ御質問ニ對シテ、如何ニモ御尤モデアリマスカラ取消シマスト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、ドウカ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○江木翼君 再三ノ押問答ヲ致シマスノモ……唯ダ仰セ通リデ断ジテサウデナイスウデアルト云フ結論ダケハ承ハツテ居リマスガ、其理由ガ何レニ在ルカト云フコトガ一ツモ私トシマシテハ聽取ルコトガ出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ妙クトモ大阪市ニ於キマシテハ非常ナル紛亂ヲ起シテ居ル問題ニ付キマシテ、議會ガ此疑ヲ一掃スルコトニ努メルノハ當然デアルト思フ、如何ニモ私ハ唯今鐵道大臣ノ御答ニ依リマシテハ少シモ理解ガ出來ナイ、何ダカ五百七十万圓ト云フモノガ是非取ラナケレバ、城東線ノ工事が完成ガ出來ヌカ編入シテ居リマセヌ、城東線ヲ造ル所ノ豫算ト云フモノハ大正十八年度ニ瓦ツテ二千二百万圓ト云フモノガチヤント計上シテアルノデアル、何モ之ヲ約束ノヤウニ仰シャル、五百七十万圓ナルモノハ決シテ鐵道特別會計ノ歲入ニハシテ此金ヲ取ラナケレバ、此工事ハ遲延スルノデハナイカト云フ御議論ヲ持テ居ラレルガ、ドウ云フ事由デ早ク御ヤリニナッタカ、ドウモ斯ウ云フモノヲサウ後ラスコトガ出來ヌト云フ事由モ無イ、唯ダソレダケ就任早々汲々トシテ御ヤリニナラナケレバナラヌ事由ガドヨニ存スルカト云フヤウナ點ニ付キマシテ、更ニ又自治權ノ問題ニ付テ是カラ先キドウスルカ分ラヌ、此法律ヲ施行爲ガ成立シテ居ル、而カモ條件附行爲デナク、特許トカ何トカ云フモノガ條件ニナッテ居ルモノデナク、成程約束ノ原因ニナッテ居ルモノニハ特許ヲ得ル爲ニスルトアリマスケレドモ、契約ノ表面ニハ唯ダ廢線ニナッタ時ニヤル

ト云フダケノ條件デ、明白ニ廢線ニナッタラヤルト云フダケノ解除條件附ノ法律行爲デアル、極メテ明白ナル事柄デアルト思フ、然ルニソレ等ニ付テ再問題ヲシマスノハ議事ノ進行ヲ妨ゲマスル故ニ、他日ノ機會ニ更ニ御尋ネスル時ガアルデアラウト思ヒマスカラ、其時ニ讓ルコトニ致シマシテ質問ハ是デ打切リマス

〔矢口長右衛門君演壇ニ登ル〕

○矢口長右衛門君　滿場ノ議員諸君ニ一言陳謝ヲ致シマスルガ、私ハ鐵道問題ニ付キマシテ、問題ヨソ趣意ヨソ達ッテ居リマスガ、數回質問ヲ致シマシタ、今日又茲ニ鐵道ノコトヲ質問致シマスノハ甚ダ貴重ナル時間ヲ損スルガ如ク諸君ニ對シテ失禮ニ存ジマスケレドモ、本員ハ決シテ鐵道ト云フコトニ付テ他意アルニアラズ、又何等ノ意趣等モゴザイマセヌデ、自分ハ常ニ疑問ヲ決シナイ前ハ疑義ヲ決シナイ前ハ、決シテ問題ト云フモノニ贊否ヲ決スルナト云フノガ私ノ信念ト致シテ居ル所デゴザイマス、今日此問題ニ付キマシテ疑義數多ゴザイマシタノデ、茲ニ御迷惑ナガラ質疑ヲ致シタウゴザイマス、第一條カラ四條マデミ第三條ニ付キマシテハ私ハ當局大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、第三條ノ兼業ニ屬スル資產買收價格ハ三十一條乃至三十三條ノ規定ニ依リテ計算スト云暫時ノ内私ニ貴重ナル時間ヲ割カレムコトヲ希望致シマス、ソレニ大臣ニ向ヒマシテ一言希望ヲ申上ゲマスルガ、本員ノ質問セムトスルコトニ對シテハ、大臣自身御答辯ラ願ヒタイノデアル、此鐵道問題ニ付キマシテ數回政府委員ガ答辯致サレマシタガ、本員ハ常ニ感ズルニ、此本議會ニ出ス所ノ問題ハ努メテ大臣ガ自ラ其當面ニ立ツテ答辯スルノガ正當、至當ナリト存ズル、苟モ一省大臣タル者ガ、問題ヲ提出シテ居ツテ而シテ是ハ誰、アレハ誰ト云フヤウナ他ノ者ニ説明サセルト云フヤウナコトナク、頭カラ尻マデ總テヲ了解シテ居ナケレバナラヌ、何所カラ質問シテモアレハアレはハ是ト明カニ之ニ答辯スルノ必要ガアルト思フ、デ私ガ問ヒマスルコトニ付キマシテ、之ヲ政府委員ニ御答サセルト云フナラバ、私ハ御免蒙リマシテ其御答ヲ承ハラヌデモ宜シウゴザイマス、ドウゾ一ツ大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイモノゴザイマス、鐵道買収ト云フコトハ是ハ非常ナル問題デ沟ニ重要ナル問題デゴザイマシテ、事ハ如何ニモ小サイヤウデハゴザイマスルガ、其ヤリ方ニ依リマシテハイロイロ利害ノ係ル所、散漫ニ失シマスレバ國家ガ損ヲシナケレバナラヌ、又餘リニ苛酷ニ瓦リマスト云フト、隨分株主或ハ其會社ト云フモノガ非常ナル損失ヲシナケレバナラヌ、デアルカラ、是ニ付テハ十分ナル考慮調査ト云フモノガ必要ト考ヘル……想起シマスガ、四十二議會ニ於テ仙北鐵道ト云フモノヲ

御出シニナリマシテ、其當時ニ斯ウ言ハレタ、貴族院デハアノボロ鐵道ヲ何等ノ意見セナク趣旨モナク何等ノ修正モシナイデ、能クアレヲ通過シタト云フヤウナコトヲ申サレタコトガアリマス、其裏面ハ暫ク措イテモ、其裏面ニハドウ云フ意味ガ含ンデ居ルカ、一面カラ言ヘバ成ルベク早く國家ノ爲ニ必要ナル線ヲ廢シタト云フ風ニモ當リマス、其意味ヲ考ヘテ見マスルト、餘リ輕卒デナイカト云フ意味モ含ンデ居ルノデアリマス、本員ハ爾來サウ云フコトニ鑑ミマシテ、鐵道ト云フ問題ニ付テ、買收ト云フコトニ付テハ、深甚ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトデ聊カ討議ヲ致シタ結果提出サレマシタ法律案ニ付キマシテ、質問ヲ致シタウゴザイマス、第一條カラ四條マデミ第三條ニ付キマシテハ私ハ當局大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、第三條ノ兼業ニ屬スル資產買收價格ハ三十一條乃至三十三條ノ規定ニ依リテ計算スト云フコトニナッテ居ル、ソレデ三十四條ノ條目ヲ見マスルト、三十四條ニハ「買收ヲ受クヘキ地方鐵道業者ガ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資產ヲ併セテ買收スルコトヲ得」前項ノ場合ニ於テ買收價格ハ協定ニ依ル」協定スルト云フコトノ文字ガ茲ニ謳ツテアル、然ルニ此三十一條カラ乃至三十三條ニ依リマスト云フト、協定ト云フ文字ガ少シモナイ、協定ト云フモノニ依ラナイデ、サウシテ所謂命令的ニ之ヲ買收スルト云フコトハ三十一條カラ三十條ニ載ツテ居ル、三十四條ノ規定ヲ用ヒテ三十一、二ノ規定ニ依リテ準ヅルト云フコトハ、遵奉シテ居ラヌト云フ疑ヲ持ツテ居リマス、斯ウ云フ風ニナリマスト云フト、此協定ト云フ事實ガ無クナッテシマッテ居ル、爲ニ會社或ハ株主モ非常ニ損失シナケレバナラヌト云フ不利益ヲ蒙ル、政府ハ不當利得ヲ得ルカラ宜イノデアリマセウカ、日本鐵道ガ順次買收サレタト云フ時分ニ三月ト云ナシ、ドウシテモ協定ヲヤル……三十四條ニ依ルベキガ相當デアルト思ヒマス、次ニ第二條ノ買收期日ハ何月カラ幾日位マデニ之ヲ買收スレバ宜イト云フ御積リデアリマセウカ、日本鐵道ガ順次買收サレタト云フ時分ニ三月ト云フノヲ五月ニ買收サレマシタガ……是ハ十一月カト思ヒマスガ、其間非常ニ時日ガアリマス、是ハ此精神ニ依リマスト云フト、ドレ位ニシヨニ期日ヲ置ク積リデアリマスカ、其買收期日ハドレ位ノ期間ヲ要スルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレニ此第四條ニ「政府ハ買收ノ爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得」如何ナル公債ヲ以テ是ニ充テムトスルノデアリマスカ、既ニ三十五條ニハ「買收代價ハ券面金額ニ依リ五分利付國債證券

ヲ以テ之ヲ交付ス此場合ニ於テ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ券面金額五十圓ト
ス」斯ウ條件ガゴザイマス、國債證券ト云フモノヲ充テルト云フ一方ニハ公
債ト云フモノデ交付スルノデ、公債ナラ何デモナイガ、此種類ハドンナモノ
デアッテ、短期ノモノカ長期ノモノデアルカ、又公債モ澤山ノ價格ヲ發行イタ
シマシタ時ニハ下落イタシマスコトモゴザイマス、サウシマスルト隨分金額
ニ於テ株主ハ損ヲシナケレバナラヌ、サウ云フ時ハドンナ處置ヲ執ルカ、日
本鐵道が買收サレタ當時ハアノ時分ノ百圓券ハ百圓ニ通用シタノデアル、今
日ノ場合デハ逆モサウ云フ譯ニ行カナイ、此邊ハ第四條ニ對スル所ノ政府ノ
御趣意ハドウデアルカ、之ヲ承ハリタイノデアリマス、ソレカラ第一條ニ溯
リマシテ伺ヒタイノハ、買收ヲスル際ニハ鐵道ノ附屬ノ物件ヲ處理シナイト
又回收スル場合ニ於テ之ヲシナイ時ニハ修理ニ要スル所ノ金額ハ之ヲ營業費
ニ加算スルト云フ、斯ウ云フ風ナコトガゴザイマス、假ニ之ヲ處理シナイト
云フ條項ヲ以テ、アレモイケナイ、是モイケナイト云フコトデハ會社ハ非常
ニ損ヲシナケレバナラヌガ爲ニ、意外ナ損失ヲ免レナイヤウニナル、サウ云
フ時ニ對スル政府當局者ノ御意思ハドウ云フ風デアルカ、鐵道ノ物件或ハ附
屬物件、是モ整理シナイアレモ整理シナイト云フノデ、ソレ等ノ金ヲ營業費
ニ加算シマスト云フト、必ズ其結果ヲ綜合スレバ會社ノ非常ナル不利益ニナ
ル、所謂政府ハ不當利得ヲ受ケルコトニナル、斯様な場合ニ於テ處スル所ノ
政府ノ方針ハドウデアルカ、其邊ノ所ヲ十分伺ヒタイノデアリマス、明瞭セ
スケレバ尙ホ申上ゲマスガ、其要點ハ第二條、第三條、第四條……第一條ニ
依リマス所ノ唯今申上ゲタ所ノ私設鐵道ニ對スル御説明ヲ伺ヒタイノデアリ
マス其他政府ノ施設方針デアルトカ、或ハ將來ドウ云フ風ニ鐵道ヲ買收スル
カト云フコトヲ、御質問イタシタイト思ヒマスガ、少シク多岐ニ瓦リマスカ
ラ、今日ハ以上ノ問ヲ以テ止メテ置キマシテ、是ニ對スル大臣ノ御説明ヲ伺
ヒタイノデアリマス

○國務大臣(元田肇君) 唯今矢口君カラ、政府委員デナク私ヨリ答辯ヲセヨ
ト云フ特ニ御請求デアリマシタ、私ノ即答イタサレル限りノモノハ即答イタ
シマスルガ、若シ趣旨ヲ明カニト云フコトデアリマスレバ、大分細カイコト
ニ瓦ツテ居リマスカラシテ、政府委員ヨリ致シマシテ、間違ヒガアレバ正シマ
スシ、間違ヒガナケレバ私ハ後デ保證シマスレバ、細カイコトハ政府委員ニ
答辯スルコトヲ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

〔矢口長右衛門君發言ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 唯今鐵道大臣ノ發言中デアリマス

○國務大臣(元田肇君) 出來ルダケ……其御尋ねノ中ニ此買收ニ關シテハ何
時ニスルノカト云フコトデゴザイマシタ、唯今モ買收サレルト云フコトヲ傳
ヘ聞キマシテ、日ミニ虐使スルト云フヤウナ傾キモゴザイマスノデ、此ノ法
律ガ通リマスレバ、成ルベク速ニ買收イタシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、
ソレカラ鐵道公債五分利附デ 五十萬圓ト云フノガ之ガ買收ニ充テル積リニ
ナツテ居リマス、ソレカラ附屬物ニ付テハドウスルカト云フ御尋ねデアリマシ
タガ、附屬物ハ鐵道ヲ買收イタシマスレバ、自然獨立性ヲナサヌヤウナコト
ニモナリマスルデ、同ジク買收スルノデゴザイマスガ、併ナガラ茲デ分ケテ
申上げテ置キマスノハ貯藏品ト云フモノハ別ニゴザイマス、或ハ石炭デアル
トカ、其他ノ貯藏品ガゴザイマスガ、是ハ買收ノ中ニハ這入ラヌノデゴザイ
マシテ、買受ケマス方ガ宜シイト考ヘマスレバ、其以外ニ於テ買フコトモア
リマセウガ、鐵道買收ト云フコトニハ這入ラヌノデアリマス、唯今ノ事デ大
體ノ御質問ニ答ヘタト思ヒマスガ、ドウカ願ハシウ存ジマスノハ他ノ細カイ
計算等ノコトナラバ、政府委員ヲ以テ答辯ヲ致シマシテ、遺憾ナク政府ノ趣
旨ノアル所ヲ御了解ヲ希フヤウニ致シタイト思ヒマス、ドウゾ左様ニ願ヒタ
イ

○矢口長右衛門君 唯今大臣ガ虐使スル憂ヒガアルト云フコトヲ申サレマシ
タガ、ソレハ杞憂ニ屬スルモノデアリマス、此議院ノ中ニモ鐵道ノコトニ付
テ明カナ方ガアリマス、既ニ山之内一次君ナドハ日本鐵道買收ノ際ニ局長ト
シテ之ニ當ツテ居ラレタノデアリマス、サウ云フ憂ヒハ無イ、虐使ト云フヤウ
ナコトハ決シテナイ、是ハ餘り時間ヲ與ヘヌト云フコトニナルト、會社ト云
フモノニ取ツテハ非常ナル迷惑ナコトニナル、第三ニ付キマシテハ明瞭ヲ缺イ
テ居リマスガ、ソレハ石炭トカ何トカ云フコトヲ仰シャイマシタ、ソレハド
ウモチト達フヤウデゴザイマス、此ノ協定ト云フコトニ對スルノハ附屬物、
是ハ所謂「レール」等モ矢張リ附屬物ニ屬スルト思フノデアル、ソレカラ私ハ
先刻申上ゲタ如ク、モウ政府委員ノ答辯ハ別ニ要シマセヌ、ソレヨリ委員會
……政府委員ノ言ハレル委員會ニ於テ御話ヲスル……其委員會ニ於テ説明サ
レテ宜カラウト思ヒマスカラ、私ハ今日ハソレハ希望イタシマセヌ

法案ノ特別委員ハ、鐵道敷設法中改正法律案ト同一委員ニ付託イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四、明治三十八年法律第十七號中改正法

法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治三十八年法律第十七號中改正法律案
伯爵勸修寺 經雄君 子爵伊集院 兼知君 子爵八條 隆正君

高崎 親章君 男爵外松 孫太郎君 男爵赤松 範一君

星島謹一郎君 藤本 閑作君 平尾 喜三郎君

第一條中「二千萬圓」ヲ「九千萬圓」ニ、「千二百萬圓」ヲ「六千萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

明治三十八年法律第十七號

第一條 専賣局及製鐵所ノ据置運轉資本ニ不足ヲ生シタルトキハ大藏大臣

ハ大藏省預金部ヨリ借入金ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行シテ一時之ヲ補足

スルコトヲ得但シ其ノ金額ハ專賣局ニ在リテハ二千万圓製鐵所ニ在リテ

ハ一千二百万圓ヲ超過スルコトヲ得ス

第二條 前條ノ借入金又ハ融通證券ハ遲クトモ翌年度ニ於テ之ヲ償還スヘシ

第三條 本法ニ依リテ發行スル融通證券ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ

外大藏省證券條例ヲ準用ス但シ大藏省證券條例第四條第一項ハ此ノ限ニ在ラス

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 專賣局ノ据置運轉資本補足ノ爲ニ致シマスル借入金、又ハ融通證券發行ノ制限額ガ、現在ハ二千万圓デアルノヲ九千万圓ニ増加イタス、又製鐵所ノ据置運轉資本補足ノ爲ニ致シマスル借入金又ハ融

通證券ノ發行ノ制限額ガ現在千二百万圓デアルノヲ、六千万圓ニ増加イタシタイト云フノデアリマス、是ハ專賣局及ビ製鐵所ノ事業擴張、原料並ニ貯藏品ノ增加及ビ是等ノ原料及ビ貯藏品ノ價格ガ騰貴イタシマスル爲ニ、自然是等ノ製鐵所及ビ專賣局ニ於テ資金ノ增加ヲ必要トスルニ至ッタソデアリマス、

何卒御審議御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲイタサセマス

明治三十八年法律第十七號中改正法律案特別委員
小林書記官朗讀

明治三十八年法律第十七號中改正法律案
伯爵勸修寺 經雄君 子爵伊集院 兼知君 子爵八條 隆正君

高崎 親章君 男爵外松 孫太郎君 男爵赤松 範一君

星島謹一郎君 藤本 閑作君 平尾 喜三郎君

第一條中「百分ノ十三」ヲ「百分ノ三十四」ニ、「百分ノ三十二」ヲ「百分ノ八十ニ」ニ、「四十錢」ヲ「一圓」ニ、「百分ノ九」ヲ「百分ノ二十八」ニ、「百分ノ二十一」ヲ「百分ノ六十六」ニ改ム

第二條中「百分ノ十一」ヲ「百分ノ二十九」ニ、「百分ノ十五」ヲ「百分ノ四十七」ニ改ム

第六條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附 則

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十一年法律第三十七號中左ノ通改正ス

第一條中「百分ノ十三」ヲ「百分ノ三十四」ニ、「百分ノ三十二」ヲ「百分ノ八十ニ」ニ、「四十錢」ヲ「一圓」ニ、「百分ノ九」ヲ「百分ノ二十八」ニ、「百分ノ二十一」ヲ「百分ノ六十六」ニ改ム

第二條中「百分ノ十一」ヲ「百分ノ二十九」ニ、「百分ノ十五」ヲ「百分ノ四十七」ニ改ム

第六條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第七條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第八條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第九條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十一條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十二條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十三條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十四條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十五條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十六條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十七條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十八條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第二十條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

大正八年法律第二十九號ハ大正八年度分限リ其ノ效力ヲ失フ

大正九年七月三十一日迄ニ制限外課稅ノ許可ヲ受ケタル大正九年度分ノ地

租附加稅、營業稅附加稅、所得稅附加稅又ハ段別割ノ賦課率又ハ賦課額ハ

從前ノ規定ニ依ル制限率又ハ制限額ヲ通シテ本法ニ依ル制限ヲ超過セサル

トキハ之ヲ制限内ノ賦課率又ハ賦課額ト看做シ其制限ヲ超過スルトキハ其

ノ超過部分ニ限リ之ヲ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル制限外ノ賦課率又ハ賦課

額ト看做ス但シ大正八年法律第二十九號ニ依リ制限外課稅ノ許可ヲ受ケタ

ル所得稅附加稅ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用ス

〔參照〕

明治四十一年法律第三十七號

第一條 北海道、府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以内ノ地租附加稅又ハ

段別割ヲ課スルノ外土地ニ對シテ課稅スルコトヲ得ス

一 北海道、府縣(沖繩縣ヲ除ク)、沖繩縣ノ區及町村附加稅ノミヲ課ス

ルトキ

宅地地租百分ノ十三

一段步ニ付 每地目平均金四十錢

段別割ノミヲ課スルトキ

一 内務大臣ノ許可ヲ受ケテ起シタル負債ノ元利償還ノ爲費用ヲ要スル

トキ

一 附課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ其ノ地目

ノ地租額宅地ニ在リテハ百分ノ十三、其ノ他ノ土地ニ在リテハ百

分ノ三十二ト附加稅額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

二 其ノ他ノ公共團體

一 附課スルトキ

一 附課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ其ノ地目

ノ地租額宅地ニ在リテハ百分ノ九、其ノ他ノ土地ニ在リテハ百分

ノ二十一ト附加稅額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

二 其ノ他ノ土地地租百分ノ九

一 附課スルトキ

一 附課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ其ノ地目

ノ地租額宅地ニ在リテハ百分ノ九、其ノ他ノ土地ニ在リテハ百分

二 其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以内ノ營業稅附加稅ヲ

課スルノ外營業稅ヲ納ムル者ノ營業ニ對シ課稅スルコトヲ得ス

一 北海道、府縣

二 其ノ他ノ公共團體

第六條 (削除)

第七條 本法ノ規定ハ特ニ賦課率ヲ定メタル特別法令ノ適用ヲ妨ケス

第二條

附 則

本法ハ明治四十一年度ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中地租、營業稅及所得稅ノ地方稅制限ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス
ル爲内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ制限ヲ超過シテ課稅スルコトヲ得但シ左ノ限度ヲ超ユルコトヲ得ス

北海道、府縣及市區町村ハ當分ノ内時局ノ影響ニ因リ必要ナル費用ニ充ツ

一 北海道、府縣ニ在リテハ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第

三條ニ於テ北海道、府縣ニ付規定シタル各稅ノ制限率又ハ制限額ノ百分ノ八十

一 市區町村ニ在リテハ明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ニ於テ市區町村ニ付規定シタル各稅ノ制限率又ハ制限額ノ百分ノ六

十

前項ノ規定ハ明治四十一年法律第三十七號第四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

明治四十一年法律第三十七號第五條第三項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附 則

本法ハ大正八年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 時局以來地方ノ財政膨脹ヲ致シマシタノト、又地方吏員ニ臨時手當ヲ増加スル必要ヨリ致シマシテ、昨年法律第二十九號ヲ以テ地方稅制限ノ擴張ヲ致サレマシタガ、今日ニ於キマシテ官吏ノ增俸ガ詮議セラレルト同時ニ、地方吏員ノ增俸ヲ致シマスル必要ガアリマスノミナラズ物價騰貴ニ依ツテ地方財政增加ヲ致シマスルノミテ、旁々地方財政ノ調和ヲ圖ラムガ爲ニ、更ニ茲ニ制限擴張ヲ爲ス必要ヲ認メマシタ次第アリマス、尙ホ一點ハ地方稅制限ヲ越エテ增加ヲ致シマスル際ニ、其許可權ノ一部ヲ地方長官ニ委ネマスル方ガ事務簡捷上都合宜シト考ヘマシテ、併セテ此コトヲ改正イタシタイ趣意デゴザイマス、宜シク……

○阪本彰之助君 少シ伺ヒタイト思ヒマス、本案ハ昨年既ニ此地方ノ租稅ノ制限緩和ノ法律案ガ出マシテ、即チ第二十九號法律トナツテ行ハレタノデアリ

マス、其二十九號ノ法律ニ依リマシテ增サレマシタ所ノ金額ト、此度ノ改正法律案ニ依ツテ將ニ増サレムトスル所ノ金額ヲ合算イタシマシテ、其金額ハ昨年第二十九號法律發布以前ノ此方ノ負擔ト云フモノニ比較イタシマスト、何程ノ増加ニナルノデアリマスカ、言ヒ換ヘテ見マスルト、昨年ノ制限緩和以前ノ全國民ノ負擔ト、昨年及ビ此改正案ノ方ニ依ツテ増サレル所ノ金額ト比較シマスルト、ドレ程全國民ノ負擔ガ増スノデアルカト云フコトノ御答ヲ願ヒマス、又今日迄増加サレテ居リマシタ所ヘ更ニ是ダケ増加ヲイタシマスト……

此法律案ニ依ツテ増加セラレマスルト、ドレ位ノ餘力ガ生ズルノデアリマスカ、ソレヲモウ一應伺ヒタイノデアリマス、第二ニ伺ヒタイノハ、此即チ改正法律案ニ依リマスト、餘程ノ增額ヲ生ジマシテ、賦課スル方カラ申シマスレバ非常ナル賦課力ガ殖エル譯デアラウト思ヒマスガ、此法案ヲ見マスルト二倍若クハ三倍ニナルノデアリマセウ、餘程ノ金額ガ殖エマスルシ、又賦課力モ生ジマセウガ、是迄ハ制限ノ爲ニ妨グラレテ、足ラナイ所ノモノハ戸數割若クハ家屋稅ニ持ツテ行ツテ賦課シテ居ツタノデアリマスガ、是ハ中々今日大シタ金額ニ上ボツテ居ル趣ニ承知イタシテ居リマスガ、此改正法律案ガ行ハレマスレバ、家屋稅、戸數割ト云フヤウナ御考デアルノデアリマセウカ、之ヲ承ハリタインデアリマス、ソレカラ第三ニ伺ヒマスルノハ是ハ、唯文字上ノコトデアリマスガ、第一條……此改正法律案ノ第一條ニ四十錢ヲ一圓ニスルト云フコトガアルノデアリマス、第一條中四十錢トアルモノヲ一圓ニスルト云フコトガ書イテアリマスガ、現行法律ニ依リマスルト四十錢ト云フ所ガニ二箇所アルノデアリマシテ、ドチラノ四十錢ガ一圓ニナルノデアリマスカ、二箇所共一圓ニナルト云フコトハナカラウト存ジマス、是ハ少シ法文トシテ明瞭ヲ缺クヤウデアリマスガ、前ノ方ノ四十錢ガ一圓ニナルノデアリマスカ、後ノ方ノ四十錢ガ一圓ニナルノデアリマスカ、是ハ此席デ承ハル程ノコトデモアリマセヌガ、序デニ承ハリタイ、ソレカラ第四ニハ此現行法律ノ第五條ノ第二項ノ但書ニ府縣ガ或費用ノ一部ヲ市町村ニ分賦シマシタ場合ニ、其市町村カラ見マシテ府縣ノ分賦ノ額デアリマスカラ、府縣ノ力ニマダ賦課力ガアルナラバ、ソレカラ先ハ市町村ノ制限ヲ超過シテ取ツテ宜イヤウニ、現行法ノ

第四條ノ第二項ニ書イテアリマスガ、此度ノ如ク非常ニ増加サレテモ、動トモスルト府縣ハ許容サレテ居ル制限ダケ賦課スルコトガアルダラウ、往々是

ハアルコトデゴザイマス、自分ノ所管ニ屬スル制限ダケ賦課シテ、而シテ尙ホ市町村ニ向ッテマダ是ダケ足リナイカラ、是ダケ御前ノ方ニ分賦スルト言。

ハアルコトデゴザイマス、特別委員會デ承ハル方ガアラウト思ヒマスガ、モウ一應伺ヒマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答イタシマス、第一條中云々……四十錢ヲ一圓ト云フノデアリマス、一條中ニ四十錢ト云フ事柄デアリマスレバ、何レト云フ御考デアリマスカ、此度斯ノ如ク多額ノ制限緩和ガアリマシテモ、其邊ノ所ハ別ニ御改正ニハナラヌモノデアリマスカ、夫等ハ矢張唯今ノ通り自然ニ任セテ置イテ、市町村ノ迷惑ト云フモノハ顧ミナイト云フ御考デアリマスカ、一應伺ツテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答イタシマスガ、第一條ノ四十錢ト云フ、是ハ兩方ニカカッテ居リマス、兩方デアリマス、ソレカラ第四條ハ改正イタシテ

是モ茲デ申上ゲマセヌデモ、特別委員會デ承ハル方ガアラウト思ヒマスガ、モウ一應伺ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答ヲイタシマス、第一條中云々……四十錢ヲ一圓ト云フノデアリマス、一條中ニ四十錢ト云フ事柄デアリマスレバ、何レノ所モ改正サレル譯デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案特別委員

伯爵清棲家教君 子爵牧野忠篤君 男爵南岩倉具威君

男爵今園國貞君 石井省一郎君 阪本釤之助君

湯淺倉平君 片岡直輝君 山田純精君

○議長(公爵德川家達君) 御詔リヲ致シマス、日程第十六ヨリ第二十マデノ法案ヲ、一括シテ議題トシ説明ヲ煩ハシテ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第十六、關稅法中改正法律案、第十七、明治四十一年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案、第十八、關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案、第十九、内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル法律案、第二十、朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル

法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

關稅法中改正法律案

關稅法中左ノ通改正ス

第二十四條 外國貨物ハ保稅地域ニ非サル場所ニ藏置スルコトヲ得ス但シ難破貨物、稅關ノ認許ヲ受ケタル貨物其ノ他法令ニ別段ノ規定アルモノ

ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條ノ二中「其ノ他法令ニ依リ外國貨物ヲ藏置シ得ル地域」ヲ、「稅關長カ外國貨物ヲ藏置シ得ヘキ場所トシテ指定又ハ特許シタル場所」ニ改ム第三十一條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ左ニ掲タル場合ニ於テハ稅關官吏ニ、稅關官吏現場ニ在ラサルトキハ收稅官吏ニ申告シ其ノ検査及免許ヲ受クルコトヲ得

一 遭難船舶ノ修繕、救援又ハ救助ノ費用其ノ他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲貨物ヲ賣却スルトキ

二 遭難船舶ニ積載セル損傷貨物又ハ腐敗シ易キ貨物ヲ讓渡スルトキ

三 遭難船舶又ハ難破貨物ヲ輸入スルトキ

四 遭難船舶ヨリ上陸シタル旅客ノ携帶品ヲ輸入スルトキ

第九十八條 船舶修繕ノ爲又ハ開港ニ於テ積卸シ難キ巨大重量ノ貨物ヲ陸揚若ハ船積スル爲必要ト認ムルトキハ稅關長ハ外國貿易船ノ不開港ニ出入スル特許ヲ與フルコトヲ得開港トノ交通著シク不便ナル場所ニ於テ貨物ヲ陸揚又ハ船積スル爲必要ト認ムルトキ亦同シ

第一百一條ノ二 稅關官吏ハ關稅定率法第五條ノニ規定スル不當廉賣品ノ輸入又ハ輸入品ノ不當廉賣ニ關シ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第八十四條、第八十六條、第八十七條、第八十九條及第九十一條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本法ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第三百三十一號ノ廢止ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

明治四十三年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案

衆議院議長奥繁三郎

明治四十三年勅令第三百三十一號、大正二年法律第十七號、大正五年法律第二十六號及大正七年法律第三十七號ハ之ヲ廢止ス

附 則

本法ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前朝鮮ヨリ移出シタル貨物ノ移入ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル本法施行前朝鮮ニ移出シタル貨物ニ對スル稅金ノ免除若ハ下戻又ハ交付金ノ下付ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

〔參照〕

明治四十三年勅令第三百三十一號

第一條 朝鮮ヨリ内地、臺灣及樺太ニ貨物ヲ移入スルトキハ輸入稅ト同率ノ移入稅ヲ課シ朝鮮ヨリ入港スル船舶ニハ頓稅ヲ課ス

第二條 移入稅ニ關シテハ關稅法、關稅定率法、保稅倉庫法及稅關假置場法ヲ頓稅ニ關シテハ頓稅法ヲ準用ス

第三條 朝鮮ヨリ移入スル貨物中外國ヨリ輸入スル場合ニ於テ内國稅ヲ課スヘキモノアルトキハ外國ヨリ輸入スルモノニ準シ内國稅ヲ課ス

第四條 外國ニ輸出スル貨物ニ關シ内國稅ヲ免除若ハ下戻シ又ハ交付金ヲ下付スルコトヲ定メタル規定ハ之ヲ朝鮮ニ移出スル貨物ニ準用シ外國ヨリ輸入シタル貨物ニ關シ輸入稅ヲ下戻スヘキコトヲ定メタル規定ハ之ヲ本令ニ依リ移入稅ヲ課セラレタル貨物ニ準用ス

第五條 内國稅法中同法ヲ施行セサル地ヨリ同法施行地ニ貨物ヲ移入スルコトヲ禁止シタル規定ハ朝鮮ヨリ移入スル貨物ニ之ヲ適用セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年法律第十七號

朝鮮ニ產出スル米及糶ニハ移入稅ヲ課セス

本法ハ大正二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年法律第二十六號

朝鮮ノ生産ニ係ル物品中生果及核子ニハ從價三割ノ移入稅ヲ課シ金屬ノ塊及錠ニハ移入稅ヲ課セス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正五年四月十五日ヨリ施行ス)

大正七年法律第三十七號

朝鮮ノ生産ニ係ル左記ノ物品ニハ移入税ヲ課セス

一 生牛及生牛肉

二 米糠

三 生絲

四 鐵ノ條、竿及板

五 鐵道建設用材料(鐵製ノモノ)

六 コールタール油、石炭酸、ナフタリン其ノ他ノコールタール分餾物及瀝青

關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案

第一條 朝鮮ニ輸入スル物品ニシテ別表ニ掲タルモノニハ別表ニ依リ輸入税ヲ課ス

第二條 朝鮮ニ輸入スル左ノ物品ニハ輸入税ヲ免除ス

一 國、道、府、面其ノ他ノ公共團體又ハ朝鮮總督ノ指定スル產業ニ關ス

ル法人ノ輸入スル播種用ノ種子

二 朝鮮ニ於ケル金、銀、銅ノ掘採、採取又ハ製鍊ノ事業ニ必要ナル器

具、機械、爆發藥、鎔解劑トシテ使用スル鹽基性礦物又ハ化學藥料ニシテ自己ノ使用ニ供スル爲鑛業者又ハ製鍊業者ノ輸入スルモノ但シ

說關カ相當ト認メタルモノニ限ル

三 朝鮮ニ於ケル鐵、石炭ノ掘採ノ事業ニ必要ナル器具、機械、爆發藥、

又ハ化學藥料ニシテ自己ノ使用ニ供スル爲鑛業者ノ輸入スルモノ但

シ稅關カ相當ト認メタルモノニ限ル

四 旅客又ハ貨物ヲ運搬スル爲國境ヲ出入スル車輛其ノ他ノ運搬具及其

ノ備品、附屬品

五 前號ノ車輛内ニ於テ消費スル食料品、燃料其ノ他ノ消耗品但シ稅關

カ相當ト認メタルモノニ限ル

六 朝鮮ニ於テ從來關稅免除ノ特許ヲ受ケタル者ノ輸入スル免稅品

第三條 朝鮮ニ於ケル製鐵業者一ノ場所ニ於テ一年三万五千佛噸以上ノ製

銑能力若ハ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ爲ス爲又ハ一ノ場所ニ於テ一年三万

五千佛噸以上ノ製銑能力若ハ製鋼能力ヲ增加スル設備ヲ爲ス爲必要ナル

器具、機械其ノ他ノ材料ヲ朝鮮ニ輸入スルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ

依リ輸入税ヲ免除ス

前項ノ設備ヲ爲ス者朝鮮總督ノ指定シタル副生物製造ノ設備ヲ爲ス爲必

要ナル器具、機械其ノ他ノ材料ヲ朝鮮ニ輸入スルトキ亦前項ニ同シ

第四條 朝鮮總督ハ凶作其ノ他已ムコトヲ得ナル事由アルトキハ期間ヲ指

定シ朝鮮ニ輸入スル米、糲、大麥、小麥、小麥粉、粟、高粱、大豆、小

豆、玉蜀黍及稗ノ輸入税ヲ低減又ハ免除スルコトヲ得

第五條 平安北道新義州停車場ヨリ咸鏡北道豆滿江口ニ至ル陸接國境ニ於

テハ朝鮮總督ノ指定スル地點ニ由ルノ外貨物ノ輸出又ハ輸入ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ陸接國境ニ於ケル貨物ノ輸出入、積戻又ハ運送ニ關スル手續ハ朝鮮總督ノ指定スル場合ヲ除クノ外最初ノ到著地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六條 左ニ掲タル物品ハ平安北道義州郡水口鎮ヨリ咸鏡北道豆滿江口ニ至ル陸接國境ニ於テハ前條ノ規定ニ拘ラス之カ輸出又ハ輸入ヲ爲スコトヲ得但シ朝鮮總督ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 鐵道旅客以外ノ旅客ノ用品及職業上必要ナル器具

二 朝鮮總督ノ定ムル陸接國境隣接地域内ノ住民カ其ノ地域内ニ於テ收

穫又ハ生產シタル物品ニシテ自ラ輸出又ハ輸入スルモノ

三 前號ノ住民カ前號ノ地域内ニ於テ爲ス作業ニ必要ナル物品ニシテ自ラ輸出又ハ輸入スルモノ

第七條 前條ノ規定ニ依リ輸出又ハ輸入スル物品ニ付テハ關稅法ヲ適用セス

第八條 朝鮮ニ於テハ關稅法、保稅倉庫法又ハ假置場法中大藏大臣又ハ主

務大臣トアルハ朝鮮總督、市町村役場トアルハ府廳又ハ面事務所、市町

村吏員トアルハ府ノ官吏若ハ吏員又ハ面ノ吏員、國稅徵收法トアルハ國

稅徵收令トス

第九條 從來ノ開港ノ外開港ト爲スヘキ場所及開港ニ於テ輸出若ハ輸入ス

ヘキ貨物ノ種類ハ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督之ヲ定ム

附 則

第十條 本法ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條 本法施行前朝鮮ニ於ケル保稅倉庫ニ庫入シタル外國貨物ニハ仍

從前ノ輸入稅ヲ課ス

第十二條 本法施行前朝鮮關稅令、朝鮮保稅倉庫令又ハ朝鮮陸接國境關稅

令ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ關稅法、保稅倉庫法又ハ本

法ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

本法施行前朝鮮關稅定率令第三條第十六號、第四條、第四條ノ二及第八

條ノ規定ニ依リ輸入稅又ハ移入稅ノ免除ヲ受ケタル物品ニ付テハ仍從前

ノ例ニ依ル

(別表)

品	輸 入 稅 表		
	單 位	稅 率	名
馬(生活力ヲ有スルモノ)	每百斤	無稅	
綿羊(生活力ヲ有スルモノ)	從價	無稅	
天日鹽(碎カサルモノ)	○・一〇	三割	每百斤
煙草	二割	四割	從價
葉煙草	四割	四割	從價
葉卷煙草、紙卷煙草及刻煙草	○・一五	二割	從價
咀嚼煙草	○・五八	二割	從價
嗅煙草			每斤
其ノ他			每斤
			從價

礦油(關稅定率法別表輸入稅表第一一二號)

二ノ乙ニ該當スルモノ)

コードス

木材(關稅定率法別表輸入稅表第六一二號)

一ノ己及癸ニ該當スルモノ)

備考 從量稅率ノ單位ハ圓トス

每十ガロン ○・一九
無稅

内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長奥繁二郎

左ニ掲タル物品ニシテ内地、臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スルモノニ關シ
テハ命令ノ定ムル所ニ依リ内國稅ヲ免除若ハ拂戻シ又ハ交付金ヲ交付スル
コトヲ得

酒類、麥酒、酒精、酒精含有飲料、醬油、砂糖、糖蜜、糖水、織物、織
物製品、石油、賣藥、賣藥類似品、骨牌

附 則

本法ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル
法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル
法律案

第一條 朝鮮又ハ臺灣ヨリ内地又ハ樺太ニ移出スル物品ニ關シ移出地ノ法
其ノ他

令ノ規定ニ依リテ課セラルヘキ出港稅ヲ逋脱シタル者ハ其ノ出港稅ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ出港稅ニ相當スル金額ヲ徵收ス但シ罰金額ハ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ出港稅ニ相當スル金額ノ徵收ニ付テハ國稅徵收ノ例ニ依ル

第二條 前條ノ出港稅ヲ逋脱シタル物品ノ運搬、寄藏、收受、故買又ハ牙

保ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三條 第一條ノ罪ニ付テハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第四十八條第二項、第六十三條及第六十六

條ノ例ヲ用キス

第四條 朝鮮又ハ臺灣ニ於テ第一條ニ該當スル罪ニ付處分又ハ處罰セラレタルトキハ同一事件ニ付本法ニ依ル處分又ハ處罰ヲ受クルコトナシ

第五條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ハ本法ニ依ル犯則事件ニ付之ヲ準用ス但シ間接國稅犯則者處分法ニ定メタル職務ヲ行フヘキ官吏ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

明治三十三年法律第五十二號

第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅（及葉煙草專賣）ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス但シ其ノ罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以内

科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス

前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員（神野勝之助君）先ニ韓國合併當時ニ於キマシテ、帝國政府ハ朝鮮ノ國稅ハ今後十年間從來ノ通り之ヲ據置クト云フコトヲ宣明致シマシタ次

第デアリマスルガ、其關係上朝鮮ニ於キマシテ今日ニ至ルマデ、依然韓國時代ノ關稅ヲ施行致シマシテ、其結果關稅ノ關係ニ付キマシテハ、朝鮮ト内地トハ互ニ外國ノ關係ヲ有フテ參ッタノデアリマス、然ルニ右十年据置ノ期間ハ朝鮮ニモ内地ノ關稅制度ヲ施行致シマシテ、之ト同時ニ内地朝鮮間ニ於ケル貿易交通ハ、特殊ノ事由アルモノヲ除クラ原則トシテ自由ニシタイト云フ積シテハ、關稅法ノ規定中修正ヲ要スル點ガアルノデアリマスカラ、茲ニ關稅法中改正法案ヲ提出致シマシタル次第ゴザイマス、次ニ内地朝鮮間ノ關稅ヲ統一スルニ付キマシテハ、從來内地朝鮮間ノ關稅關係ヲ以テ規定致シテ居リマスル法律、竝ニ緊急勅令等ハ之ヲ廢スル必要ガアリマス、ソレ故ニ明治四十三年勅令第三百三十一號等ノ廢止ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタル次第ゴザイマス、又内地ノ關稅制度ヲ朝鮮ニ施行スルト致シマシテモ、朝鮮ノ民度産業ノ狀態並ニ地理ノ關係等カラ致シマシテ、朝鮮ニ於キマシテハ多少ノ特例ヲ認ムル必要ガアリマス、ソレ故ニ關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタル次第アリマス、又内地ト朝鮮間ニ於ケル消費稅關係ノ統一セラル、ニ至ルマデハ、内地側カラ朝鮮ニ移出スル物品ニ對シマシテハ、依然トシテ從來ノ如キ内地ノ消費稅免除拂戻等ヲ存續スル必要ガアリマス、ソレ故ニ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル法律案ヲ提出シタル次第ゴザイマス、尙ホ之ニ關係イタシマシテ、内地ニ於ケル消費稅制度擁護ノ爲ニ移住人ニ對シテ相當取締ノ道ヲ講ズル必要ガアルノデアリマス、故ニ朝鮮ナリ又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ハ、内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス

○議長（公爵德川家達君）諸君ニ御諮詢致シマス、唯今大藏次官ノ説明セラレマシタ日程第十六ヨリ第二十マデノ法律案ハ、關稅定率法中改正法律案ト同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君）御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十一、戦時海上再保険法廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

戦時海上再保険法廢止法律案

獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月二十日

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿
衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿
衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

貴族院議長公爵徳川家達殿
衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿
戦時海上再保険法廢止法律案
戦時海上再保険法ハ之ヲ廢止ス

附則

戦時海上保険補償法ニ依ル保険契約及本法施行前ニ成立シタル戦時海上再保険法ニ依ル再保険ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

〔國務大臣山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本達雄君) 歐洲戰亂ノ當時ニ於キマシテ、我ガ海外貿易及ビ其海運事業ニ付キマシテハ、非常ナル危険ヲ含ンデ居ッタノデアリマスガ、其當時即チ大正六年ニ於キマシテ此障害ヲ除ク爲ニ、戦時海上再保険法ヲ制定致シマシテ、實施以來今日ニ至ッテ居ルノデゴザイマス、ソレガ爲ニ船主貨主ニ於キマシテハ安心シテ保険ヲ附クルコトガ出來マシテ、非常ナ利益ヲ得マシ、又政府ニ於キマシテモソレガ爲ニ相當ナル收益ヲ得マシテ、大ニ效果ヲ現ハシタ次第ゴザイマスガ、今日ニ於キマシテハ平和克復ニ相成リマシテ、既ニ此必要ヲ見ナイコトニ相成リマシタカラシテ、既ニ廢案シタイト云フコトデゴザイマス、ドウカ御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

戦時海上再保険法廢止法律案特別委員

伯爵松木宗隆君 子爵實吉 安純君 子爵永井 尚敏君
子爵戸澤正己君 子爵蒔田廣城君 男爵楠本正敏君
男爵島津健之助君 原保太郎君 犬上慶五郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十二、獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案

〔成瀬書記官朗讀〕

貴族院議事速記録第十三號 大正九年七月二十一日

獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案 第一讀會

第一讀會

三八三

獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案特別委員

子爵秋月種英君 子爵米津政賢君 前田正名君

男爵徳川厚君

男爵調所廣徳君

川上親晴君

山田斂君

秋山源兵衛君

櫻井伊兵衛君

大正九年七月十日

一大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件
一大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件
右帝國憲法第六十四條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナケレバ日程第二十三ヨリ第三十マデ一括
シテ議題トシ、説明ヲ煩ハシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十三ヨリ第三十マデ、承諾ヲ求ムル件、
衆議院送付、會議

大正七年度豫備金支出ノ件

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正七年度豫備金支出ノ件

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

一大正七年度豫備金支出ノ件

一大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件

一大正七年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

○政府委員(神野勝之助君) 大正七年度一般會計ノ第一豫備金ノ豫算額ハ二百万圓ニアリマシテ、衛生試驗所阿片費、傳染病豫防檢疫諸費、稅關臨時勤勞手當、陸軍精米精麥及馬糧費、海軍住宅補充費、其他必要缺クベカラザル豫算ノ不足ニ對シ、是デ其全部ヲ充用イタシマシタ、大正七年度一般會計第ニ豫備金ノ豫算額ハ四百万圓ニアリマシテ、驅逐艦時津風救難及ビ復舊費、軍艦河内遭難調查費、各廳火災復舊費、及ビ時局ノ推移ニ伴ヒマシテ聯合興國ト協調ノ結果、西班牙ニ出兵イタシマシタルニ付テ、臨時軍事費特別會計ニ於テ要スル豫定外支出ノ財源ニ充テマスル爲ニ、一般會計カラ之ガ資金ノ繰入レヲ要シマシタルト、緊急差置キ難キ豫算支出ニ對シマシテ是ガ全部ヲ充用イタシマシタ、大正七年度大正三年臨時事件豫備費ノ當初、豫算額ハ八千四百万圓ニアリマシテ、臨時事件ニ關スル各省所管ニテ豫算外ノ支出ヲ要シタル諸般ノ費途ニ對シマシテ、其全部ヲ充用イタシマシタルガ、其後成立イタシマシタル追加豫算額二千百万圓、之ヲ諸般ノ臨時事件費ニ充用イタシテ、結局二百十九万七千五百四十九圓ノ殘餘ヲ生ジマシタ、大正七年度

一般會計第一及ビ第二豫備金、並ニ當初協賛ヲ經マシタ大正三年臨時事件費

ノ豫算額ガ、全部拂切リトナリマシタ爲ニ、陸軍精米精麥及ビ馬糧費、在監

人費、遞信省諸拂戻金、臨時事件特別會計繰入ノ不足、各省臨時事件費、其

他必要ナル費途ニ對シマシテ、國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及ビ豫算外ノ支出

ヲナシタル金額ハ一億五千三百四十六万圓デアリマス、大正七年度帝國鐵道

特別會計積立金勘定ニ於ケル補填金ノ豫算額ハ四百万圓デアリマシテ、收益

勘定ニ於ケル鐵道作業費豫算ノ不足ニ對シマシテ、之ガ全部ヲ充用イタシマ

シタ、右ノ外尙ホ歲出豫算ノ不足スルモノガアリマシタル爲ニ、收益勘定及

ビ資本勘定ニ於キマシテ、各其歲入ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲナシタルモノガ、

收益勘定ニ於キマシテ四千七百五十餘万圓、資本勘定ニ於キマシテ五千九百

二十餘万圓アリマス、右ノ外特別會計ニアリマシテモ、又必要已ムベカラザ

ル費途ニ對シマシテハ、豫備金又ハ豫備金外ノ歲入若クハ剩餘金ヲ以テ、豫

算超過及ビ豫算外ノ支出ヲナシタルモノガアリマス、以上ハ何レモ緊急避ク

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、御異議ナケ

レバ唯今大藏次官ノ説明セラレマシタ承諾ヲ求ムル件ヲ一括シテ、同一委員

ニ付託致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔小林書記官朗讀〕

大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外七件特別委員

侯爵德川	園順君	伯爵中川	久任君	子爵大浦	兼一君
岡田	良平君	男爵本田	親濟君	男爵寺島	敏三君
谷森	真男君	室田	義文君	勝田	銀次郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十一、實業教育費國庫補助法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

實業教育費國庫補助法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月十九日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

伯爵林 博太郎

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 實業教育國庫補助法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過ヲ

御報告ヲ致シマス、實業教育ノ國庫補助ニナリマスル額ハ、元々三十五万圓デ

ゴザイマシタガ、山本内閣ノ當時ニ於テ、種々ノ事情ノ爲ニ削減サレマシテ、

二十八万圓トナリマシタノデゴザイマス、實業教育ノ全體ニ對シマシテ二十

八万圓ト云フ年額ハ、誠ニ九牛ノ一毛ニモ足リナイ位デアリマス、然ルニ近

時實業補習教育ノ勃興ト共ニ、又此特種ノ實業教育ノ方面ニモ補助ヲ致サネ

バナラヌ氣運ニ際會イタシテ參リマシタ、デ此實業補習教育ノ現狀ニ付キマ

シテハ、其數ニ於テハ可ナリ增加イタシテ居リマスガ、教育ノ内容ニ於テハ

不完全ナル點ガ頗ル多イノデアリマス、此發展ヲ計ルニハ專任教育ノ設置ヲ

必要トスルノデアリマス、此爲ニ此度此法律案中ニ改正ヲ加ヘマシテ年々三

十万圓補習教育費ノ方ニ用ヒントスル計畫ヲ立て、今年度ハ即チ其半額十五

万圓ヲ要求イタスコトニ相成ツテ居リマス、デ實業補習學校ハ現在ニ於テハ

其數一万三千アリマス、併ナガラ其教授ノ内容ヲ申シマスレバ、多クハ小學

校ノ教員訓導等ガ片手間ニ致シテ居ルヤウナ狀況ニナツテ居リマス、此頃ニ

ナツテ少シハ專任ノ教員ガ出來タノデアリマスガ、尙ホ一万六千ノ學校ニ對

シマシテ僅ニ五千人ニ過ギナイヤウナ狀況デアル、デ今回此補習教育ノ方ヲ

助長イタサセマシテ、少クトモ一學校ニ一名ノ專任教員位ハ置クヤウニ致シ

タイト云フ政府ノ考ヲ以テ、此改正案ヲ提出シタノデゴザイマス、即チ一縣

下二十人、一箇年六百圓位ノ程度ニ於テ、獎勵ヲ致シタイト云フコトニ相成

リマシタ、從來ノ經費全體ノ上カラ統計ノ結果ヲ簡單ニ申上げマスルト、大

正六年度ニ於テハ一百萬圓、大正七年度ハ、百八十万圓、大正八年度ニ於テ

ハ三百十五万圓、此大正九年度ニ於テハ、恐ラク四百万圓ヲ超ユルコト、考

ヘラル、斯ノ如ク一見スレバ其金額ノ高ハ多イヤウデアリマス、殊ニ農村ノ補

習教育ニ至ツテハ、其感ガ甚シイノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ

今年度十五万圓、明年度ヨリハ三十万圓ヲ實業補習教育ニ出シテ、結局兩者

相加ヘマシテ五十八万圓ト云フコトニ、明年度ヨリ相成ル次第ゴザイマス、

時局ノ上ニ鑑ミマシテ頗ル重大ナ事デゴザイマスカラシテ、同委員會ニ於キマシテハ詮議ノ上十分ノ審査ヲ加ヘテ、全會一致ヲ以テ可決イタシタ次第デゴザイマス、尙ホ特別委員會ノ全部ノ希望ト致シマシテ次ノコトヲ決シマシタ次第デゴザイマス、以上述ベタル如ク、實業教育補助費ノ全部ノ費用ヲ以テ見マシテモ、又今回ノ補習教育ノ方面ニ於ケル補助費ニ付キマシテモ、何レモ少額ニ失スル嫌ヒガアル、此故ニ出來ルダケ早ク近キ將來ニ於テ此兩者ニ於ケル補助費ヲ増額スルヤウニ致シ、之ガ實施ノ方法……實行ノ方法ニ付キマシテモ、的確ニ行渡ルヤウニ致シタイモノデアル、之ニ對シテ政府ハ宜シク此邊ニ付テ努力サレタイト云フコトヲ決シマシタ、當局ニ於キマシテモ是ハ緩急宜シキニ處シテ出來ルダケ委員會ノ希望ニ副フヤウニ努ムルト云フコトデアリマシタ、斯様ナ次第デアリマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、是ニテ報告ヲ終リマス、以上ノ如ク事柄ハ頗ル重大デアリマスガ、法案ハ簡單瞭白デゴザイマスカラ、ドウカ讀會省略ヲ以テ速ニ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

- 伯爵吉井幸藏君 賛成
- 子爵大給近孝君 賛成
- 伯爵萬里小路通房君 賛成
- 子爵野村益三君 賛成
- 子爵吉田清風君 賛成
- 高崎親章君 賛成
- 男爵阪井重季君 賛成
- 男爵内田正敏君 賛成
- 男爵山内長人君 賛成
- 男爵藤井包總君 賛成
- 議長(公爵德川家達君) 林伯爵ノ本案ノ讀會ヲ省略スルト云フ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案ニ對シテ御異存ゴ起立者 多數
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス ザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十二ヨリ第三十七マデハ、同一委員ニ付託セラレマシタカラ、異議ガナケレバ委員長ノ報告ハ、一括シテ煩ハシタイト考ヘマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十二、銀行條例中改正法律案、第三十三、貯蓄銀行條例中改正法律案、第三十四、日本勸業銀行法中改正法律案、第三十五、農工銀行法中改正法律案、第三十六、北海道拓殖銀行法中改正法律案、第三十七、日本興業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

銀行條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十日

右特別委員長

高崎 親章

貯蓄銀行條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長

高崎 親章

日本勸業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十日

右特別委員長

高崎 親章

貴族院議長公爵德川家達殿

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十日

右特別委員長

高崎 親章

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十日

右特別委員長

高崎 親章

貴族院議長公爵德川家達殿

日本興業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十日

右特別委員長

高崎 親章

貴族院議長公爵德川家達殿

〔高崎親章君演壇ニ登ル〕

○高崎親章君 唯今議ニ上リマシタ、銀行條例中改正法律案外五件ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申シマス、唯今議長ヨリ御報告ニナリマシタ通り、是ハ同一委員ニ付託セラレマシタモノデゴザイマスカラ、同時ニ特別委員會ハ審査ヲ遂ゲタ問題デアリマスガ故ニ、此銀行條例中改正法律案、貯蓄銀行條例中改正法律案、日本勸業銀行法中改正法律案、銀行農工法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、日本興業銀行法中改正法律案、此六案ヲ束ネテ御報告申上グマス、委員會ハ去ヌル十七日會ヲ開キマシテ、委員長副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ、引續イテ十九日ニ第一回ノ委員會ヲ開キマシタノデゴザイマス、尙ホ翌二十日ニ續キマシテ委員會ヲ開キ、先ヅ第一ニ政府當

局ノ説明ヲ承ハリマシテ、之ニ對シテ各委員ノ質問應答ヲ重ネマシテ、其結果原案ヲ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、政府當局ノ説明シタル事柄ヲ大要申シマスレバ、先づ銀行條例及ビ貯蓄銀行條例ノ改正ニ付キマシテハ、トガ商法ニ規定シテアリマスルガ、同ジ債權者ニシテ預金者ハ普通ノ債權者ト其趣ヲ異ニ致シ、之ニ對シ一々催告ヲ爲スガ如キハ其煩ニ堪ヘザル次第デアルカラ、是等ノ事柄ヲ合併ニ付テノ便宜ノ爲ニ改正ヲ最モ必要トスル次第アル、又次ニハ異議ノ申立期間ガ一箇月デアルノヲ、之ヲ一箇月ニ短縮シ、是等ハ立法當時ニ比シテ今日ハ交通機關ノ自由モアリ、又實驗上ノ便宜ヲ考ヘ、之ヲ短縮スルモ聊カ差支ナシト認メ、改正案ヲ發シタ次第デアル尙ホ合併ニ付テ株式ヲ會社ニ提供スル其期間ヲ三箇月ニシテアルケレドモ、是モ一箇月ニ短縮シテ聊カモ差支ナイ、又貯蓄銀行ト合併ノ場合或ハ銀行ノ解散ヲ行ヒ、新タニ一ノ普通銀行ヲ新設スル場合ノ如キ、現行法ニテハ之ガ實行ニ甚ダ不便ヲ感ズル次第デアルガ故ニ、是等モ其便ヲ與ヘル爲ニ、茲ニ改正ノ必要ヲ認メタ次第デアル、銀行條例及ビ貯蓄銀行ノ改正ニ付テハ、主ナル點ガ斯様ナ次第デアリマス、其他ニ三ノ改正ガアリマスルガ、極ク些事ニ瓦ツテ居リマスカラ、此處デ申述ベルノハ甚ダ煩ハシウゴザイマスカラ是モ省キマス、次ニハ日本勸業銀行法ノ改正、是ハ第一、年賦貸付定期貸付ノ關係デアリマス、年賦償還貸付金ハ總額ノ十分ノ一二相當スル金額ヲ限ツテ貸付限度トシテアル現行ノモノヲ、之ヲ改正案ハ拂込資金及び積立金總高ニ相當スル金額ト改ムルノデアリマス、又勸業銀行ガ發行スル債券ハ、拂込金額ノ十倍トアルヲ、之ヲ十五倍トナスト云フコトデアリマス、債券發行ノ限度ヲ擴張シ不動產金額ニ關スル圓滑ヲ圖ルノガ目的デゴザイマス、其他ハ農工銀行ノ債券ヲ、勸業銀行ガ之ヲ引受ケルコトガ現行法ニアリマスガ、此事柄ヲ北海道拓殖債券及ビ朝鮮殖產銀行ノ發行スル所ノ債券モ、同様之ニ加ヘテ此改正ヲ行ヒ、其外二三ノ箇條ノ改正ガアリマスルガ、是モ些々タル事件デアリマスカラ、茲ニ申述ブルノ煩ヲ省キマス、次ハ農工銀行法ノ改正デゴザイマス、是ハ第一ニ年賦償還貸付ノ最長期ガ現今三十年デゴザイマスルガ、之ヲ開墾事業等成ルベクスノ如キ長期ノ期限ヲ都合トスル銀行ノ性質デアリマスルガ

爲ニ、之ヲ五十箇年ニ改ムルコトニ致スト云フノデアリマス、現ニ勸業銀行モ五十箇年トナッテ居リマスカラ、農工銀行ニ於テモ此貸付期限ヲ五十箇年ト延長スルコトニ改マッタノデアリマス、次ハ年賦償還貸付金總高ノ五分ノニ相當スル金ヲ、五箇年以内ニ於テ定期償還貸付ヲ爲スコト、アル現行ノニ改メルコトニ改正ヲ致スモノデゴザイマスル、其他無擔保貸付ノ場合ニ、現行法デハ二十人ノ連署ヲ要スルコトニナッテ居リマスガ、之ヲ十人ニ減ズルコトニ改マッテ居リマスル、其趣意ハ假令人數ハ多クテモ信用ナキ者デハ此貸付ニ於テ其效用ヲ爲サヌガ故ニ、是ハ信用アル者ナラバ十人ニ限定スルモ差支ナイ、斯ウ云フ意味ヲ以テ是ガ改正ヲナスト云フコトデゴザイマス、其他ノ改正ハ勸業銀行法ノ改正ト略、同一ノ改正デアリマスルカラ、茲ニ二重ニ説明ヲ申上ゲマセヌ、次ハ北海道拓殖銀行法ノ改正、是ハ此拓殖銀行ハ不動産金融銀行デアリマスルケレドモ、又一方ニハ商業金融機關トナッテ居リマスルガ故ニ、之ニ貸付總額ノ制限ヲ置イテアリマスルガ、之ニ對シテ其融通金ノ金額ヲ高メルト云フガ目的デアリマス、少シ場合ハ違ヒマスルガ勸業銀行、年賦貸付定期貸付等ニ準シテ、之ニ改正ヲ要スル次第デアリマス、拓殖銀行ノ本質ニ鑑ミテ相當改正ヲ加ヘタト云フコトデゴザイマス、其他債券等ニ付テ當局ノ説明モゴザイマスルガ、是モ餘り細密ニ瓦リマシテ煩ハシク思ハレマスカラ、茲ニ細カニ申上ゲルコトヲ省キマス、次ハ日本興業銀行法中掌スル關係上其制限ヲ除カムトスル目的ニ基イテ居ルノデアリマス、興業銀行ノ債券ハ、五十圓以上トアルノヲ之ヲ二十圓以上ト改メテ、一般零碎ノ資本ノ吸收ニ便ナラシメルノガ目的デアルト云フコトデ、此改正案ヲ必要ト致シマシタ次第アリマス、其他債券發行ノ方法ニ於テ、其發行ノ便利ヲ圖ルノガ目的デ改正ノ案ヲ立テ、アリマスルガ、之ニ付テ當局ハ細カナ説明ガアリマシタケレドモ、之ヲ細カニ申上ゲルノハ甚ダ煩雜ニ瓦リマスルカラ此所ハ固ヨリ違算ナキコトデアルト思フケレドモ、近來各地ニ隨分貯蓄銀行ノ綻ヲ來シ、是ガ預金者ハ非常ニ迷惑ヲ受ケテ居ル者ガ多々アルヤウニ聞ク、

斯ノ如キハ十分政府ニ於テ取締ル必要ガアルト思フガ、之ニ付テ貯蓄銀行ニ
何カ改正ヲ施スノ必要ハ認メヌカ、斯ウ云フヤウナ向モアリマシタノデス、
政府ノ答ニハ事實貯蓄銀行ニ不都合ヲ釀シテ居ルコトハ認メテ居ルガ、是ノ
取締ニ付テハ甚ダ難事デアツテ、監督上誠ニ遺憾ナコトガ尠カラヌノデアル、
併ナガラ今日ノ場合ニ貯蓄銀行ニ改正ヲ施スト云フニ付テ、具體的ノ案ヲ持ツ
セラレタル時機ニ於テハ、何等差支ガナイガ、他日金融緩漫ナル場合ニ於テ
ハ、普通銀行ニ對シテ壓迫ヲ加ヘルガ如キ姿ニ立至リハシナイカ、當局ハ如
デアル、主ト從トノ明カニ區別ノアルコト故、普通銀行ニ對シテ競爭スルガ
何ニ見テ居ルト云フ質問モゴザイマシタ、之ニ對シ當局ノ答ハ、抑、勸業銀行
ノ如キハ、不動産金融機關ガ主トナッテ居ル次第デアツテ、普通貸出ハ是ハ從
デアル、主ト從トノ明カニ區別ノアルコト故、普通銀行ニ對シテ競爭スルガ
如キコトハナイト考ヘル、斯ウ云フ答デアツタノデアリマス、主ナル間答ノ次
第ハ斯ノ如クデアリマスガ、其他ニハ多々質問モアリマシタケレドモ、是モ
一々申上ゲルコトハ其煩ニ堪ヘマセヌカラ、此所デハ省キマス、右ニテ大要
質問モ終了イタシテ、此時ニ一二ノ希望ガアツタノデアリマスル、其希望ノ要
點ヲ申シマスルト、勸業銀行、農工銀行ノ貸出ニ付テハ、兎モ角都合ノ良イ
不動産ニ向ツテ貸出ヲ爲シ、多クハ都市ニ貸出シ農工資金ニ融通スルノ便ヲ
缺クノ嫌ヒガアル、是等ハ銀行ノ本體ニ背クモノト認ムルガ、宜シク地方ノ農
工事業ニ貸出ヲ主トスルヤウニアリタイコトヲ望ム、斯ウ云フ希望デアリマ
シタ、モウ一つノ希望ハ貯蓄銀行ノ取締ニ付テハ、過日モ横濱地方ニ於テ貯
蓄銀行ノ不始末ヨリ、數万ノ預金者ハ非常ナル損害ヲ受ケテ、其慘狀言フベ
カラザル狀態デアツタ、政府當局ニ於テハ十分ニ監督ヲ嚴ニセラレムコトヲ
望ムト云フ、斯ウ云フ意味ノ希望デゴザイマス、此希望ヲ述ベマシテ特別委
員會ハ全會一致ヲ以チマシテ、銀行條例中改正法律案、貯蓄銀行條例中改正
法律案、日本勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓
殖銀行法中改正法律案、日本興業銀行法中改正法律案、此六案ヲ合セマシテ
全部原案通リ可決スベキモノト決定イタシタ次第デアリマス、此段御報告申
上ゲマス、尙ホ終リニ六法案ハ且ツ銀行トシテ其事項ハ最モ重要ナ事柄デア
リマスケレドモ、箇條ハ至ツテ簡単ナル事柄デアリマスル故ニ、讀會ヲ省略
セラレテ、直チニ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 讀會省略賛成
○子爵西大路吉光君 讀會省略賛成
○伯爵万里小路通房君 賛成

○子爵五條爲功君 賛成

○男爵山内長人君 賛成

○橋本圭三郎君 賛成

○男爵内田正敏君 賛成

○男爵阪井重季君 賛成

○男爵山根武亮君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○子爵今城定政君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 高崎親章君ノ特別委員會ノ報告セラレマシタ、第

三十二ヨリ第三十七マデノ案ノ讀會ヲ省略スルト云フ動議ニ、賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 六案トモ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十八、著作権法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

著作権法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

著作権法中左ノ通改正ス

第一條中寫真ノ次ニ「演奏歌唱」ヲ加フ
第三十二條ノ三 音ヲ器械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ他人ノ著作物

貴族院議事速記録第十三號

大正九年七月二十一日

著作権法中改正法律案 第一讀會
官吏更員處罰ニ關スル法律案 第一讀會
第一讀會
麥酒稅法中改正法律案 第一讀會
第一讀會
麥酒稅法中改正法律案 第一讀會

ヲ寫調スル者ハ偽作者ト看做ス
○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス
〔小林書記官朗讀〕

著作権法中改正法律案特別委員

伯爵廣澤金次郎君 子爵大河内正敏君 男爵西村精一君

男爵坪井九八郎君 男爵中島久萬吉君 石渡敏一君

高田早苗君 德富猪一郎君 中村圓一郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十九、麥酒稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

麥酒稅法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

麥酒稅法中左ノ通改正ス

第一條第三項中「米、玉蜀黍」ノ下ニ「馬鈴薯、澱粉」ヲ加フ
○議長(公爵徳川家達君) 此法案ノ特別委員ハ諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、所得稅法中改正法律案ト同一ノ委員ニ付託イタシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四十、官吏更員處罰ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

官吏更員處罰ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

大正九年七月二十日

貴族院議長奥繁三郎

官吏又ハ吏員其ノ職務ヲ行フニ當リ恐嚇又ハ詐言ヲ用キ人ヲシテ陳述ヲ爲

三八九

○伯爵柳原義光君 此件ニ對スル政府ノ意見ヲ尋ねタインデアリマス
○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御誦リ致シタイノデアリマス、都合ニ依リ
マシテ、日程第四十八暫ク延バシマシテ、第四十一ニ移ツテハ如何デアリマ
スカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、……尙ホ御誦リイタシマ
スガ第四十一ヨリ第五十マデ東ネテ問題ニ供シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、日程第四十一ヨリ第五十
マデ請願會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣
フ〕

奈良市上水道工事費國庫補助ノ件

奈良縣奈良市長佐川福太郎呈出

右ノ請願ハ奈良市ハ曩ニ政府ノ許可ヲ經國庫補助ヲ仰キ水道工事ニ著手セ
ルカ爾來諸物價暴騰シ經費甚シク膨脹セルヲ以テ更ニ鐵管代價増加額ニ對
シ其ノ四分ノ一ノ補助ヲ受ケタルモ未勞銀其ノ他一般材料ノ増加額ニ對シ
テハ其ノ恩典ニ浴セス爲ニ市民之カ負擔ニ堪ヘス工事多大ノ困難ニ遭遇セ
ルヲ以テ土工費其ノ他ノ増加額ニモ亦鐵管ト同シク四分ノ一ノ補助ヲ與ヘ
ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候
因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日
因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

山形市上水道工事費國庫補助ノ件

山形縣山形市長小鷹銳健呈出

右ノ請願ハ山形市ハ曩ニ政府ノ許可ヲ受ケ國庫補助ノ下ニ水道工事施工中

右ノ請願ハ熊本市ハ曩ニ政府ノ許可ヲ得實施設計ニ從事中爾來諸物價暴騰
シ假令鐵管代價増加額ニ對シ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラルモ尙多大ノ不足
ヲ生シ市民之カ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ鐵管以外ノ一般工事費ニ對シテモ四
分ノ一ノ割合ヲ以テ增加補助ノ恩典ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴

福岡市上水道工事費國庫補助ノ件
福岡縣福岡市長久世庸夫呈出

右ノ請願ハ福岡市ハ大正二年認可ヲ得國庫補助ヲ仰キ水道工事ニ著手シ工
事進行中諸物價暴騰シ爲ニ多大ノ豫算不足ヲ告クルニ至ラムト
管代價増額ニ對シ更ニ之カ補助ヲ與ヘラルモ未鐵管以外ノ勞銀其ノ他諸
材料ノ増加額ニ對シ之カ恩典ニ浴セス爲ニ工事中止ノ已ムナキニ至ラムト
スルヲ以テ一般土工費其ノ他ノ増加額ニモ鐵管ト同シク四分ノ一ノ補助ヲ
與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決
致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

熊本市上水道工事費國庫補助ノ件
熊本縣熊本市長佐柳藤太呈出

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

右ノ請願ハ熊本市ハ曩ニ政府ノ許可ヲ得實施設計ニ從事中爾來諸物價暴騰
シ假令鐵管代價増加額ニ對シ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラルモ尙多大ノ不足
ヲ生シ市民之カ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ鐵管以外ノ一般工事費ニ對シテモ四
分ノ一ノ割合ヲ以テ增加補助ノ恩典ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴

諸物價暴騰セルヲ以テ政府ハ鐵管價額増加ニ對シ其ノ四分ノ一ノ補助ヲ與
ヘラレタルモ未勞銀其ノ他材料費ノ増加額ニ對シ其ノ恩典ニ浴セス市民之
カ負擔ニ苦ミ事業中止セサルヘカラサルニ至ルヤモ計ラレサルヲ以テ鐵管
以外ノ増工費ニ對シテモ其ノ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシ
テ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條
ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

島根縣仁多郡溫泉村平民無職業藤原佐太郎外八名呈出
右ノ請願ハ廢兵タル請願人等ハ悲慘ナル境遇ニ沈淪シツツアルヲ以テ増加恩給ヲ根本的ニ改正シ廢兵ヲシテ生活ノ基礎ヲ確實ナラシメ且軍人恩給受領金額ニ對シ諸稅ヲ免除シ廢兵並家族ノ傷痍疾病等ノ際無料診察藥價半減官公設病院無料入院ノ途ヲ開キ之カ救濟方法ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

鹿兒島市上水道工事費國庫補助ノ件
右ノ請願ハ鹿兒島市ハ曩ニ政府ノ許可ヲ得國庫補助ノ下ニ上水道工事施工中諸物價暴騰セルヲ以テ政府ハ更ニ鐵管價額増加額ニ對シ其ノ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘタリ然ルニ未勞銀其ノ他材料ノ増加額ニ對シ其ノ恩命ニ接セス市民之カ負擔ニ堪ヘス工事進行上甚大ナル困難ニ遭遇セルヲ以テ是等ノ増加額ニモ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

傷病軍人國費診療ニ關スル件

東京市四谷區東信濃町退役陸軍歩兵中佐田邊元二郎外百名呈出
右ノ請願ハ請願人等ハ戰鬪若ハ公務ノ爲不具廢兵トナリタル者ニシテ氣候變化等ニ際シ患部ニ苦痛ヲ感シ健康ヲ持續スルコト頗困難ナリ而シテ之ニ對シ官費診療ノ途ナキニ非スト雖出願期ニ制限アリ或ハ多少ノ出費ヲ要

スル等普ク之カ恩惠ニ浴シ難キヲ以テ各地ノ陸海軍病院其ノ他官立病院等ニ於テ國費診療及入院ノ道ヲ開カレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議事速記録第十三號 大正九年七月二十一日 請願會議

島根縣邑智郡日和村ニ郵便局設置ノ件
右ノ請願ハ島根縣邑智郡日和村ハ林產業等ノ發展ニ伴ヒ交通頻繁ニ赴キ郵便事務夥多ナルニ拘ラス未郵便局ノ設ケ無ク村民ノ不便不利甚シキヲ以テ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

島根縣邑智郡日和村ニ郵便局設置ノ件
右ノ請願ハ島根縣邑智郡日和村ハ林產業等ノ發展ニ伴ヒ交通頻繁ニ赴キ郵便事務夥多ナルニ拘ラス未郵便局ノ設ケ無ク村民ノ不便不利甚シキヲ以テ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

佐香郵便局ニ電信並電話事務開始ノ件

貴族院議事速記録第十三號 大正九年七月二十一日 請願會議

島根縣簸川郡佐香村平民農山下捨松外十七名呈出

右ノ請願ハ島根縣簸川郡佐香村ハ人口多ク通信事務夥多ナリ加フルニ同村ハ海上一望ノ下ニ在ルヲ以テ遭難船發見ノ際又ハ一朝有事ノ時艦船ノ動靜ヲ急報スルノ好地點ニ在ルモ未之カ通信ノ設備ナク爲ニ道路嶮惡ニシテ交通極メテ遠隔ナル平田郵便局ニ依ラサルヘカラサルノ不便アルヲ以テ佐香郵便局ニ電信並電話ノ事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意

ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

帝國在郷軍人會國庫補助ノ件

福井縣福井市佐久良下町平民機業山口喜平外二十三名呈出

右ノ請願ハ在郷軍人會ノ事業ハ國運ノ消長ニ至大ノ關係アルヲ以テ其ノ事業遂行ノ基金トシテ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ下附セラレタク帝國議會ニ請願シ既ニ採擇セラレタルモ未其ノ運ニ至ラサルハ國勢ノ發展上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣原敬殿

○議長(公爵德川家達君) 是等ノ請願ハ、請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 政府委員ガ見エマシタカラ、日程第四十二戻リマス、柳原伯ニ申上ゲマスガ、便宜ノ爲ニモウ一應御希望ヲ御述べニナッタ方ガ宜カラウト思ヒマス
○伯爵柳原義光君 私ハ此案ニ對スル、政府ノ意見ヲ尋ネタイノデアリマス

〔政府委員横田千之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(横田千之助君) 政府ハ、此案ハ多少利益スル所ガアル、滿腹ノ熱心ヲ以テ同意シタ譯デハナイノデアリマス、若干利益スル所デアラウト考ヘマシテ……

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

官吏吏員處罰ニ關スル法律案特別委員

伯爵寺 島 誠一郎君	子爵敷 篤 慶君	子爵伊 東 祐弘君
男爵山 根 武亮君	男爵佐 竹 義準君	石渡 敏一君
加太 邦 憲君	高田 早 苗君	岡田 文治君

○議長(公爵德川家達君) 日程第五十一ヨリ第六十一マ・デ請願會議

意見書案

仙臺市上水道工事費國庫補助ノ件

宮城縣仙臺市長鹿又武三郎呈出

右ノ請願ハ仙臺市ハ曩ニ政府ノ許可ヲ受ケ國庫ノ補助ヲ得上水道工事施行中物價騰貴シ爲ニ政府ハ鐵管代價増額ニ對シ更ニ其ノ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラルモ未勞銀其ノ他ノ材料ノ增加額ニ對シ其ノ恩命ニ沿セス市民之カ負擔ニ堪ヘシシテ工事ヲ中止セサルヘカラサルニ至ラムトスルヲ以テ是等ノ增加額ニ對シテモ其ノ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

廣島市上水道工事費國庫補助ノ件

廣島縣廣島市長田部正壯呈出

右ノ請願ハ廣島市ハ人口年年增加シ加フルニ現在並將來軍事上多量ノ給水ヲ要スルヲ以テ第二期水道擴張工事ノ必要ヲ認メ多大ノ費用ヲ補フニ公債

ヲ以テ之ヲ計畫セリ而シテ之カ償還ニ對シ市民過重ノ負擔ニ苦シムヲ以テ國庫ヨリ全工費ノ四分ノ一ヲ補助セラレタリ、而シテ爾來諸物價ハ益騰貴シ工事費其ノ他ニ九十七万圓餘ノ多大ノ増加ヲナシ市氏益困難ノ状態ニアルヲ以テ同増加額ヨリ公債費十四万五千圓ヲ控除シ其ノ殘額ニ對シ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

意見書案

軍人恩給法中扶助料改正ノ件

東京市本郷區菊坂町元海軍一等機關兵谷田志摩生外百名呈出
右ノ請願ハ戰死若ハ之ニ準スヘキ者ノ遺族以外ノ軍人遺族ニ給與スル扶助料ハ著シク少額ナル爲享受者ヲシテ生活上非常ナル悲境ニ沈淪セシムルハ將來士氣ノ振興ニモ重大ナル影響アルヲ以テ增加恩給享受者死歿ニ依ル遺族扶助料ハ増加恩給ヲ退職恩給、若ハ免除恩給ニ加算シタル額ヲ基礎トシテ算定スルコトトシ寡婦ノ兒子アル者ニハ育兒手當ヲ支給シ且軍人死歿當時ノ戸籍内ニアル者ハ悉ク扶助料ヲ受クル權利アルヤウ軍人恩給法ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

不具廢疾ノ軍人無賃乗車ニ關スル件

東京市本郷區菊坂町元海軍一等機關兵谷田志摩生外九十二名呈出
右ノ請願ハ戰鬪若ハ公務ノ爲不具廢疾トナリタル軍人ニ對シ大正三年陸海軍省告示ニ依リ國有鐵道無賃乗車ノ特典ナキニ非ラスト雖種種ナル制限アリテ治ク之ニ沿スルコトヲ得ナルハ國家ニ功勞アル軍人ヲ優遇スル所以ニ非ラナルヲ以テ軍人恩給法第九條ニ該當スル將校下士卒全部ニ對シ國有鐵道及聯絡汽船ノ無賃搭乗ヲ許可セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付

山口縣大島郡安下庄町ニ區裁判所出張所設置ノ件
右ノ請願ハ請願人等ノ町村ハ時勢ノ進運ニ伴ヒ登記事務激増シタルモ之ヲ管轄スル岩國區裁判所西方出張所ハ距離遠隔ニシテ峻坂多ク町村民ノ不便甚シキヲ以テ山口縣大島郡安下庄町大字西安下庄字眞宮ニ區裁判所出張所ヲ設置シ安下庄、久賀ノ兩町平郡村及沖浦村大字秋ヲ管轄セラレタク廳舍倉庫等ハ安下庄町ニ於テ建築ノ上無償ヲ以テ提供スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院議事速記録第十三號 大正九年七月二十一日 請願會議

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助ノ件

廣島縣地方病撲滅組合管理者深安郡長清水正澄呈出

右ノ請願ハ廣島縣深安郡及蘆品郡ノ一部ヲ中心トシテ漸次猖獗ヲ極メムト
スル日本住血吸蟲病ハ國家衛生上ニ於ケル一大憂患ナルヲ以テ之ヲ豫防撲
滅セムカ爲關係諸村ニ於テ公共組合ヲ組織シタルモ資力薄弱ニシテ其ノ目
的ヲ達スルコト能ハサルヲ以テ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與ヘラレムコトヲ議
院ニ請願シ既ニ採擇セラレタル以來其ノ實行ヲ見ス然ルニ同地方ニ於ケル
數度ノ水害ト經濟界ノ不況トハ同組合事業費ノ支出ヲ困難ナラシメ事業休
止ノ已ムヘカラサル狀態ニアルヲ以テ大正九年度ヨリ相當補助ヲ與ヘラレ
タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣原敬殿
意見書案

長崎市上水道工事費國庫補助ノ件

長崎縣長崎市長高崎行一呈出

右ノ請願ハ長崎市ハ大正七年水道增設工事ヲ計畫シ國庫補助ノ下ニ工事進
行中ナリシニ物價暴騰シ豫算著シク不足ヲ告ケ工事遂行容易ナラサルニ至
リシヲ以テ物價騰貴ニヨル工事費ノ増額ニ對シテモ其ノ四分ノ一ノ補助ヲ
與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議
決候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

横須賀市上水道工事費國庫補助ノ件

神奈川縣横須賀市長奥宮衛呈出

右ノ請願ハ横須賀市ハ曩ニ政府ノ許可ヲ得國庫補助ノ下ニ水道工事ニ著手
セルカ爾來諸物價益暴騰シ經費甚シク膨脹セルヲ以テ政府ハ鐵管代價ノ增
加額ニ對シ補助ヲ與フルモ未一般工事費ノ增加額ニ對シテハ之ヲ爲ساس市
民之力負擔ニ堪ヘス工事中止ノ已ムナキニ至ラムトス故ニ鐵管以外ノ増工
費ニ對シテモ四分ノ一ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意
ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送
付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣原敬殿
意見書案

北海道紋別郡興部村ニ區裁判所出張所設置ノ件

北海道紋別郡興部村平民公吏山田正元外百四十九名呈出

右ノ請願ハ北海道紋別郡興部村ハ同地方ニ於ケル交通ノ要衝ニ當リ移民ノ
來住多ク諸種ノ產業繁盛ニシテ數多ノ官公署ヲ有ス隨テ登記事件夥シキモ
之ヲ管轄スル名寄區裁判所紋別出張所ハ距離遠ク村民ノ不便甚シキヲ以テ
同村ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候
也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

内閣總理大臣原敬殿

本宿郵信局ニ電信並電話事務開始ノ件

群馬縣北甘樂郡西牧村長神戸篤太郎外一名呈出

右ノ請願ハ群馬縣北甘樂郡本宿郵便局區内ハ人口日日ニ増加シ各種ノ産業
發達シ物資ノ取引頻繁ヲ極メ通信ノ敏活ヲ要スルモ本宿局ニハ未電信電話
ノ取扱ナク該事務ハ遠ク下仁田郵便局ニ據ラサルヘカラス村民ノ不便不利
甚大ナルヲ以テ本宿局ニ電信並電話事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ
依リ別冊及送付候也

大正九年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願モ、請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴ
ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 明日ハ委員會ヲ進メタク存ジマスルカラ、本會ハ
休ム積リデアリマス、次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是
ニテ散會

午後四時五分散會

